

第3章 世論調査の実施

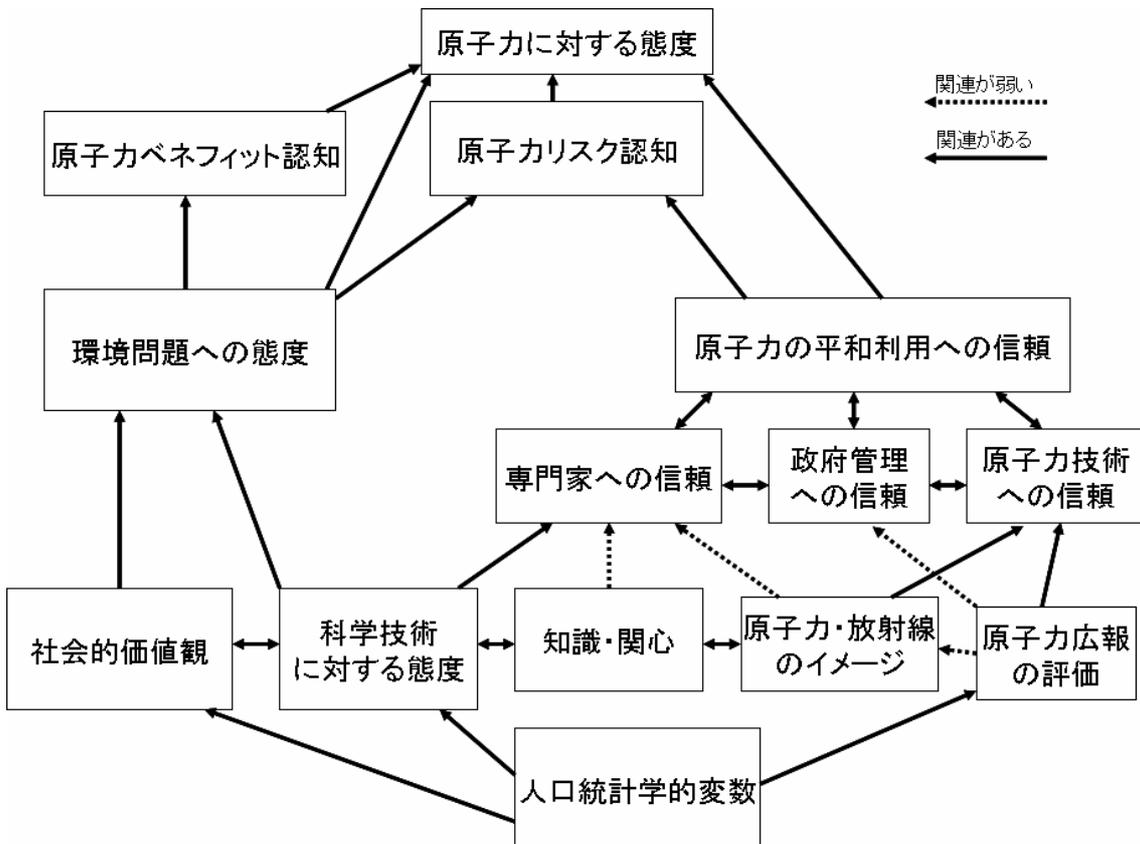
第3章 世論調査の実施

3.1 調査の目的

原子力技術は、産業や日常生活などさまざまな分野で利用されており、我々は、日々その恩恵を受けて生活を営んでいる。しかしながら、原子力の分野においては、事故や災害などトピックスとなる出来事があるごとに、原子力に対する世論が大きく変動する傾向にある。

全国規模の世論調査を経年的、定点的に実施し、原子力に関する世論の動向や情報の受け手の意識を正確に把握することにより、様々なステークホルダーが、原子力に関する知識の普及活動のあり方などを検討するために、情報の受け手が求めている情報を確実に伝える手法などに関する知見を得ることが、本調査の目的である。

3.2 調査モデル



3. 3 クロス分析について

「原子力に対する態度」や「原子力のリスク認知」「原子力のベネフィット認知」にいたる経緯がどのように形成されるのか、特に、福島第一原子力発電所事故に関して情報入手に積極的であったグループと消極的であったグループの情報入手経路に着目した分析を行うために、以下 6 項目の分類を設けた。

(1) 原子力や放射線に関するリスク認知

放射線に対する不安(問 16)

1	大地からの放射線
2	宇宙からの放射線
3	食物からの放射線
4	空気中のラドンからの放射線
5	医療で受ける放射線
6	原子力関連施設周辺の放射線
7	その他
8	あてはまるものはない
9	不安はない

リスク認知の多い層: 選択肢 1-8 の回答数平均値(1.93 個)以上(2 個以上)

リスク認知の少ない層: 選択肢 1-8 の回答数平均値(1.93 個)以下(1 個)

リスク認知のない層: 不安はないと回答

(2) 原子力や放射線に関するベネフィット認知

原子力に対するイメージ(問 4)、放射線に対するイメージ(問 5)で「役に立つ」を選択

ベネフィット認知の多い層: 役に立つという回答が平均値(1.24)以上(2 個)

ベネフィット認知の少ない層: 役に立つという回答が平均値(1.24)以下(1 個)

ベネフィット認知のない層: 役に立つという回答がない(0 個)

(3) 原子力や放射線に関する知識

知っている事柄(問 6)

1	自然界にある放射線について
2	放射線と放射能の違い
3	様々な分野での放射線の利用
4	放射線の量と人体への影響の関係
5	原子力発電と原子爆弾の違い
6	プルサーマルや核燃料サイクル
7	どれも知らない
8	無回答

知識の多い層: 選択肢 1-6 を回答数平均値(2.48 個)以上(3 個以上)

知識の少ない層:選択肢1-6の回答数平均値(2.48個)以下(1個または2個)

知識のない層:どれも知らないと回答

(4) 情報入手の積極性

情報入手を積極的に行ったか(問 22)

情報入手に積極的な層:「積極的」「どちらかといえば積極的」と回答

どちらともいえない層:「どちらともいえない」と回答

情報入手に消極的な層:「消極的」「どちらかといえば消極的」と回答

(5) 原子力に対する態度(原子力発電の必要性)

原子力発電の必要性(問 10)

原子力発電必要な層:「必要」「どちらかといえば必要」と回答

どちらともいえない層:「どちらともいえない」と回答

原子力発電不要な層:「どちらかといえば必要ない」「必要ない」と回答

(6) 福島第一事故に関する不安の変化

福島第一事故に関する不安(問 23) 食品・環境・健康

不安が増加した層:直後(3月下旬頃)に不安なし

現在(11月初旬から中旬)不安あり

不安のままの層:直後(3月下旬頃)に不安あり

現在(11月初旬から中旬)不安あり

不安が解消された層:直後(3月下旬頃)に不安あり

現在(11月初旬から中旬)不安なし

不安がないままの層:直後(3月下旬頃)に不安なし

現在(11月初旬から中旬)不安なし

3. 4 世論調査票

テーマ:「日本のエネルギー事情」についてお伺いします

【すべての方に】

問1 あなたは石油の可採年数※1はどのくらいだと思いますか。(○は1つだけ)

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1 約20年 | 2 約40年 | 3 約60年 | 4 約80年 |
|--------|--------|--------|--------|

＜※1可採年数＞石炭、石油、天然ガス、ウランなどの資源は、量に限りがあり、現在存在が確認され、生産され得る資源(確認可採埋蔵量)を、今までのように使い続けたら、あと何年くらい使い続けることができるかを示しています。

【すべての方に】

問2 あなたは二酸化炭素などのガスの増加によって地球温暖化が起きると言われていることをご存知ですか。(○は1つだけ)

- | | | |
|----------------|-----------------|--------|
| 1 詳しい内容まで知っている | 2 ある程度の内容は知っている | 3 知らない |
|----------------|-----------------|--------|

【すべての方に】

問3 あなたは東日本大震災以前に日本の発電電力量の約何割を原子力が担っていたと思いますか。

(○は1つだけ)

- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1 約1割 | 2 約3割 | 3 約5割 | 4 約7割 |
|-------|-------|-------|-------|

【すべての方に】

問4 あなたは「原子力」という言葉を聞いたときに、どのようなイメージを思い浮かべますか。

次の中からあてはまるものをすべてお選びください。(○はいくつでも)

1 明るい	13 暗い
2 悪い	14 よい
3 おもしろい	15 つまらない
4 親しみやすい	16 親しみにくい
5 複雑	17 単純
6 安全	18 危険
7 信頼できない	19 信頼できる
8 不安	20 安心
9 必要	21 不必要
10 役に立たない	22 役に立つ
11 わかりやすい	23 わかりにくい
12 気になる	24 気にならない
	25 その他（具体的に：)
	26 あてはまるものはない

【すべての方に】

問5 あなたは「放射線」という言葉を聞いたときに、どのようなイメージを思い浮かべますか。次の中からあてはまるものをすべてお選びください。(○はいくつでも)

1 暗い	13 明るい
2 よい	14 悪い
3 おもしろい	15 つまらない
4 親しみにくい	16 親しみやすい
5 単純	17 複雑
6 安全	18 危険
7 信頼できない	19 信頼できる
8 安心	20 不安
9 不必要	21 必要
10 役に立つ	22 役に立たない
11 わかりやすい	23 わかりにくい
12 気にならない	24 気になる
	25 その他（具体的に：)
	26 あてはまるものはない

【すべての方に】

問8-1 あなたは、ふだん原子力やエネルギーに関する情報を何によって得ていますか。

次の中からあてはまるものをすべてお選びください。(○はいくつでも)

1 インターネット	6 雑誌
2 ラジオ	7 本・パンフレット
3 博物館・展示館・PR施設	8 その他(具体的に:)
4 新聞	9 あてはまるものはない
5 テレビ	

【すべての方に】

問8-2 あなたは、この1年間に原子力やエネルギーに関して「有益性に関する情報」をどのような人の発言から得ましたか。次の中からあてはまるものをすべてお選びください。(○はいくつでも)

※ テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・インターネットなどのメディアから得る、もしくは直接聞くかは問いません。

1 政府関係者
2 専門家(大学教員・研究者)
3 評論家(キャスターなども含む)
4 原子力関係者(電力会社・メーカー)
5 自治体職員
6 小・中・高等学校の教員
7 テレビ・ラジオなどのアナウンサー
8 新聞・雑誌などの記者
9 オピニオンリーダー(身近な知識人)
10 政治家
11 知人や友人
12 家族や親戚
13 その他(具体的に:)
14 あてはまるものはない/この1年間に有益性に関する情報は得ていない

【すべての方に】

問8-3 あなたは、この1年間に原子力やエネルギーに関して「事故やトラブルなどに関する情報」をどのような人の発言から得ましたか。次の中からあてはまるものをすべてお選びください。

(○はいくつでも)

※テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・インターネットなどのメディアから得る、もしくは直接聞くかは問いません。

- 1 政府関係者
- 2 専門家(大学教員・研究者)
- 3 評論家(キャスターなども含む)
- 4 原子力関係者(電力会社・メーカー)
- 5 自治体職員
- 6 小・中・高等学校の教員
- 7 テレビ・ラジオなどのアナウンサー
- 8 新聞・雑誌などの記者
- 9 オピニオンリーダー(身近な知識人)
- 10 政治家
- 11 知人や友人
- 12 家族や親戚
- 13 その他(具体的に: _____)
- 14 あてはまるものはない/この1年間に事故やトラブルなどに関する情報は得ていない

【すべての方に】

問9-1 以下に挙げている「原子力やエネルギーに関するイベント・施設・情報源」の中で、参加してみたいもの、理解に役立つものはどれですか。あてはまるものをすべてお選びください。

(○はいくつでも)

【参加してみたいものはどれですか】

- 1 施設見学会
- 2 勉強会(専門家が講師として解説を行う)
- 3 工作教室
- 4 実験教室(計測器など機器を用いて実験や測定を行う)
- 5 趣味講座
- 6 講演会(少人数、双方向型)
- 7 講演会(大規模、パネリストによる討論会)
- 8 コンクール(作文やポスターなどのコンテスト)

【理解に役立つものはどれですか】

- 9 書籍
- 10 パンフレット
- 11 ビデオ・DVD
- 12 メール配信
- 13 インターネット
- 14 新聞広告・記事
- 15 テレビCM・番組
- 16 ラジオCM・番組
- 17 学校の授業
- 18 その他(具体的に: _____)
- 19 あてはまるものはない

【問9-1で「13 インターネット」とお答えの方に】

問9-2 原子力やエネルギーに関する理解に役立つ情報源として、具体的にどのサイトを閲覧していますか。あてはまるものをすべてお選びください。(○はいくつでも)

- 1 Yahoo!や Google 等の検索エンジン
- 2 インターネット上のニュースサイト
- 3 YouTube やニコニコ動画等の動画サイト
- 4 mixi や Facebook 等のソーシャルネットワーキングサービス
- 5 2ちゃんねる等の掲示板
- 6 ブログ
- 7 ツイッター
- 8 国のホームページ
- 9 自治体のホームページ
- 10 研究機関のホームページ
- 11 その他(具体的に: _____)
- 12 あてはまるものはない

【すべての方に】

問10 あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。あなたの考えに近いものをお選びください。(○はそれぞれ1ずつ)

		必要である	どちらかといえ 必要である	どちらとも いえ ない	どちらかといえ ば 必要でない	必要でない
a) 医療、工業、農業等における放射線利用	→	1	2	3	4	5
b) 原子力発電	→	1	2	3	4	5
c) 核燃料サイクル	→	1	2	3	4	5
d) プルサーマル	→	1	2	3	4	5
e) 世界唯一の被爆国として、原子力技術を平和利用に限ること、原子力利用の安全を確保することについて、もっと訴えていくこと	→	1	2	3	4	5
f) 原子力の平和利用を広報する組織は、原子力の軍事利用の反対をもっと訴えていくこと	→	1	2	3	4	5
g) できるだけたくさんの情報が国民に届くようにすること	→	1	2	3	4	5
h) わかりやすく情報を伝えること	→	1	2	3	4	5
i) 学校の授業で教えること	→	1	2	3	4	5
j) 些細なことでも隠さず伝えること	→	1	2	3	4	5
k) 都合の悪いことでも情報を外部(マスコミや国民など)に伝えること	→	1	2	3	4	5
l) 暮らしの中で活用する原子力の平和利用	→	1	2	3	4	5
m) 地球温暖化防止のために原子力発電を活用すること	→	1	2	3	4	5
n) 化石資源を使い切ることやオイルショックに備え、原子力を活用すること	→	1	2	3	4	5
o) エネルギー資源をほとんど持たない日本において原子力を活用すること	→	1	2	3	4	5

【すべての方に】

問11-1 あなたは、原子力に携わる専門家や原子力関係者を信頼できると思いますか。

(○は1つだけ)

- | | | |
|-----------------|-------------|------------------|
| 1 信頼できる | 3 どちらともいえない | 4 どちらかといえば信頼できない |
| 2 どちらかといえば信頼できる | 5 信頼できない | |

【すべての方に】

問11-2 あなたが、問11-1でそう答えた理由は何ですか。あてはまるものをすべてお選び下さい。

(○はいくつでも)

- | |
|------------------------------|
| 1 情報公開が十分されているから |
| 2 情報公開が十分されていないから |
| 3 事故の経験を踏まえて安全対策を講じることができるから |
| 4 大きな事故が起きたから |
| 5 管理体制や安全対策が十分だから |
| 6 管理体制や安全対策が不十分だから |
| 7 専門的な知識を持っている人だから |
| 8 専門家にも間違いはあるから |
| 9 信頼したいから |
| 10 信頼できないから |
| 11 その他(具体的に: _____) |

【すべての方に】

問12 今後の安全な原子力の利用を続けていくために、どのような立場の人の活躍を期待しますか。

次の中から、あなたが期待している人をすべてお選びください。(○はいくつでも)

- | |
|---------------------------------------|
| 1 国 |
| 2 自治体 |
| 3 電力会社などの事業者 |
| 4 大学や研究所 |
| 5 財団法人、社団法人などの公益法人 |
| 6 非営利組織(NPO) |
| 7 国際原子力機関(IAEA)、経済協力開発機構(OECD)などの国際機関 |
| 8 その他(具体的に: _____) |
| 9 あてはまるものはない |

【すべての方に】

問13-1 原子力の安全管理や規制は国や自治体によって行なわれています。あなたは、国や自治体を信頼できると思いますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|-----------------|-------------|------------------|
| 1 信頼できる | 3 どちらともいえない | 4 どちらかといえば信頼できない |
| 2 どちらかといえば信頼できる | 5 信頼できない | |

【すべての方に】

問13-2 あなたが、問13-1でそう答えた理由は何ですか。あてはまるものをすべてお選び下さい。

(○はいくつでも)

- | |
|------------------------------|
| 1 情報公開が十分されているから |
| 2 情報公開が十分されていないから |
| 3 事故の経験を踏まえて安全対策を講じることができるから |
| 4 大きな事故が起きたから |
| 5 管理体制や安全対策が十分だから |
| 6 管理体制や安全対策が不十分だから |
| 7 専門的な知識を持っている人だから |
| 8 専門家にも間違いはあるから |
| 9 信頼したいから |
| 10 信頼できないから |
| 11 国や公的機関は営利目的ではないから |
| 12 自分達の利益優先に感じるから |
| 13 その他(具体的に:) |

【すべての方に】

問14 原子力の安全管理を国や自治体に安心して任せるためには、どういった点が配慮されるべきだと思いますか。次の中からあてはまるものをすべてお選びください。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1 事故原因の徹底究明 | 8 見学会や説明会の開催 |
| 2 情報公開 | 9 展示館の設置 |
| 3 事故に対する未然防止策 | 10 地域振興 |
| 4 職員の姿勢 | 11 放射線管理の徹底 |
| 5 実務の公開 | 12 検査体制の強化 |
| 6 安全管理規制の強化 | 13 その他(具体的に:) |
| 7 責任の所在の明確化 | 14 特にない/わからない |

【すべての方に】

問15 日本の原子力技術のうち、あなたが信頼しているものはどれですか。次の中からあてはまるものをすべてお選びください。(○はいくつでも)

1 発電	6 非破壊検査
2 放射線の医療利用 (レントゲン、ガン治療、滅菌など)	7 食品照射
3 放射線の農業利用 (品種改良、害虫駆除など)	8 放射性廃棄物の処分
4 年代測定	9 核燃料サイクル技術
5 放射線の工業利用 (耐火ビニール、強化プラスチック)	10 その他(具体的に:)
	11 特にない/わからない

【すべての方に】

問16 あなたが、放射線に対し感じる不安についてお伺いします。次の中から不安に思うものをすべてお選びください。(○はいくつでも)

1 大地からの放射線	5 医療で受ける放射線
2 宇宙からの放射線	6 原子力関連施設周辺の放射線
3 食物からの放射線	7 その他(具体的に:)
4 空気中のラドンからの放射線	8 あてはまるものはない
	9 不安はない

【すべての方に】

問17 現在、放射性廃棄物の処分※4について検討が行なわれています。あなたは、そのことについてどのように感じますか。(○は1つだけ)

1 安心	3 どちらともいえない	4 どちらかといえば不安
2 どちらかといえば安心		5 不安

＜※4放射性廃棄物の処分＞ 原子力発電所で使い終わった燃料から、リサイクルできるウランやプルトニウムを取り出すと、放射能レベルの高い廃液(高レベル放射性廃棄物)が残ります。高レベル放射性廃棄物は、ガラス素材と混ぜてステンレス製の容器に密封し、30年～50年ほど冷やした後、私たちの生活環境に影響がないように、地下300mより深いところにある地層に埋設処分する計画が進行中です。現在、最終処分場の建設地を全国の市町村から公募しています。

【すべての方に】

問18 科学技術、環境などに対する、あなたご自身のお考えについてお伺いします。次の中からあてはまるものをすべてお選びください。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------------------|---------------------------------|
| 1 物事の判断は直感的・感覚的だ | 7 少くく生活が不便でも、省エネルギーは実践されるべき |
| 2 精神的な豊かさの方が物質的豊かさより大切 | 8 夏はクールビズに積極的に協力すべき |
| 3 便利な生活には、ある程度の破壊も仕方がない | 9 科学技術が発展することで、人は豊かになる |
| 4 ローリスク・ローリターンよりハイリスク・ハイリターンの方がよい | 10 高度な技術も科学技術で完全に制御できる |
| 5 ゴミ処理や原子力発電などの問題は専門家による委員会決定されるべき | 11 どんな科学技術を利用したとしてもリスクはゼロにはできない |
| 6 住民にとって重要な選択をするときは住民投票で決定されるべき | 12 新しい技術導入に事故はつきもの |
| | 13 その他(具体的に:) |
| | 14 あてはまるものはない |

【すべての方に】

問19 次にあげる原子力やエネルギーにまつわるニュースをご存知でしたか。ご存知のものをすべてお選びください。(○はいくつでも)

- | | |
|------------|--|
| 1 2010年9月 | ドイツが脱原発方針を軌道修正。2021年以降の原子炉稼働延長を決定 |
| 2 2010年10月 | 日本がベトナムの原子力発電所2基の建設を受注 |
| 3 2010年12月 | 日本と韓国が日韓原子力協定を締結。同国への部品輸出を視野に |
| 4 2011年3月 | 東北地方太平洋沖地震の影響で東京電力・福島第一原子力発電所で事故が発生 |
| 5 2011年3月 | 福島第一原発事故による避難地域を半径10km圏内から20km圏内に拡大 |
| 6 2011年5月 | 菅首相の要請で中部電力が浜岡原子力発電所(静岡県)の全原子炉を停止 |
| 7 2011年5月 | 国際原子力機関(IAEA)の調査団が来日し、福島第一原発を視察 |
| 8 2011年7月 | ドイツで脱原発法案が成立。2022年までに国内全原子力発電所の閉鎖を決定 |
| 9 2011年7月 | 福島第一原発で原子炉・燃料プールの安定冷却(事故収束への第1ステップ)を達成 |
| 10 2011年7月 | 出荷された牛肉から国の暫定規制値を超える放射性セシウムを検出 |
| 11 2011年8月 | 北海道電力・泊原子力発電所3号機が東日本大震災後、全国初の運転再開 |
| 12 2011年8月 | 政府が福島第一原発事故で生じた放射性物質の除去に関する方針を発表 |
| 13 2011年9月 | 福島第一原発の全原子炉内の温度が100℃以下となる |
| 14 2011年9月 | 東京電力・東北電力管内における大企業等への電力使用制限令が解除される |
| 15 | どれも知らない |

【すべての方に】

問20-1 今後日本は、どのようなエネルギーを利用・活用していけばよいと思いますか。以下にあげているエネルギーの中から、お選びください。(〇はいくつでも)

- | | | |
|----|------------|---|
| 1 | 石炭火力発電 | |
| 2 | 石油火力発電 | |
| 3 | 天然ガス火力発電 | |
| 4 | 原子力発電 | |
| 5 | 水力発電 | |
| 6 | 地熱発電 | |
| 7 | 風力発電 | |
| 8 | 太陽光発電 | |
| 9 | 廃棄物発電 | |
| 10 | バイオマス発電 | |
| 11 | その他(具体的に: |) |
| 12 | あてはまるものはない | |

【すべての方に】

問20-2 あなたが問20-1でそう答えた理由は何ですか。あてはまるものをすべてお選び下さい。

(〇はいくつでも)

- | | | |
|----|-------------------------------|---|
| 1 | エネルギーの安定供給のために多様なエネルギー源が必要だから | |
| 2 | 日本にはエネルギー資源が少ないから | |
| 3 | 化石燃料には限りがあるから | |
| 4 | 二酸化炭素を排出せず、温暖化防止に役立つから | |
| 5 | 発電価格(コスト)の面で有利だから | |
| 6 | 自然エネルギーだから | |
| 7 | 国産のエネルギーを増やすことは重要だから | |
| 8 | 安全そうだから | |
| 9 | よく聞くから | |
| 10 | 自然の力を利用すべきだから | |
| 11 | 枯渇の心配がないから | |
| 12 | その他(具体的に: |) |
| 13 | あてはまるものはない | |

【すべての方に】

問21 日本の原子力利用は、原子力発電や放射線利用等、平和利用の分野に限っており、これらを支えるために政策・規制・技術などのしくみ※5があります。

あなたはこのしくみについて信頼できると思いますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|-----------------|-------------|------------------|
| 1 信頼できる | 3 どちらともいえない | 4 どちらかといえば信頼できない |
| 2 どちらかといえば信頼できる | | 5 信頼できない |

<※5政策・規制・技術などのしくみ>

原子力や放射線を安全に利用するしくみ

テロに利用されないよう、核物質を安全に管理するしくみ

原子力発電の燃料を兵器に転用させないしくみ

人や環境への影響を防ぐしくみ

【すべての方に】

問22 あなたは、東京電力(株)・福島第一原子力発電所事故や原子力・放射線についての情報を積極的に得ようとしたか。(○は1つだけ)

- | | | |
|----------------------|-------------|---------------|
| 1 積極的に得ようとした | 3 どちらともいえない | 4 どちらかといえば消極的 |
| 2 どちらかといえば積極的に得ようとした | | 5 消極的 |

【すべての方に】

問23 東京電力(株)・福島第一原子力発電所事故に関連して心配したこと、心配していることは何ですか。事故の直後(3月下旬頃)と現在で、あてはまるものをすべてお選び下さい。(○はいくつでも)

【事故の直後(3月下旬頃)に心配したことは何ですか】

- 1 放射性物質による食品への影響
- 2 放射性物質による環境への影響
- 3 放射性物質による健康への影響
- 4 居住地の安全性
- 5 事故被災者の生活や仕事
- 6 事故の収束
- 7 風評被害
- 8 電気料金の値上げ
- 9 電力不足
- 10 全国の原子力発電所の安全対策
- 11 日本経済への影響
- 12 日本の温暖化対策
- 13 日本のエネルギー政策
- 14 海外からの日本に対する評価
- 15 その他(具体的に:)
- 16 事故の直後(3月下旬頃)に心配したことはない

【現在心配していることは何ですか】

- 17 放射性物質による食品への影響
- 18 放射性物質による環境への影響
- 19 放射性物質による健康への影響
- 20 居住地の安全性
- 21 事故被災者の生活や仕事
- 22 事故の収束
- 23 風評被害
- 24 電気料金の値上げ
- 25 電力不足
- 26 全国の原子力発電所の安全対策
- 27 日本経済への影響
- 28 日本の温暖化対策
- 29 日本のエネルギー政策
- 30 海外からの日本に対する評価
- 31 その他(具体的に:)
- 32 現在心配していることはない

【すべての方に】

問24 最後に原子力やエネルギー、放射線、またこれらに関する情報源、情報発信の手段などに対するお考えがあればお書き下さい。(ご自由に)

3. 5 世論調査結果

調査概要

<2011年11月>

■調査地域 : 全国

■調査対象者 : 15～79歳男女個人

■サンプリング : 住宅地図データベースから世帯を抽出し、個人を割当

■調査方法 : 個別訪問留置調査

■サンプル数 : 1200人

■実査期間 : 2011年11月2日(水)～14日(月)

I 章 属性、社会的価値観など

1. 性別

	(%)	
	男性	女性
全体(N=1200)	49.4	50.6

2. 年代

	(%)						
	10代*	20代	30代	40代	50代	60代	70代
全体(N=1200)	6.3	15.2	17.9	15.3	18.4	15.4	11.5

*10代は15-19歳

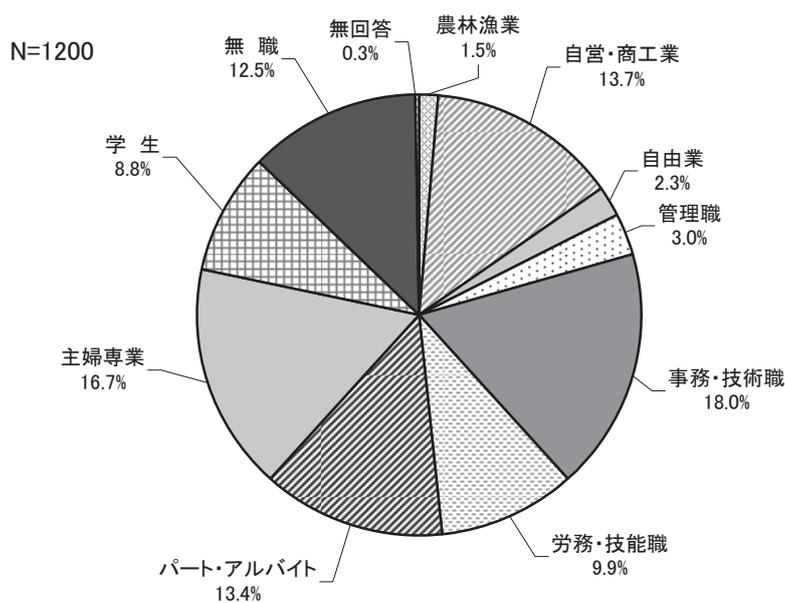
3. 居住地

全体(N=1200)			
東日本	北海道	4.5	原発立地県
	青森県	1.0	原発立地県
	岩手県	1.0	非立地県
	宮城県	2.0	原発立地県
	秋田県	1.0	非立地県
	山形県	1.0	非立地県
	福島県	1.5	原発立地県
	茨城県	1.5	原発立地県
	栃木県	2.0	非立地県
	群馬県	1.0	非立地県
	埼玉県	6.0	非立地県
	千葉県	5.5	非立地県
	東京都	10.5	非立地県
	神奈川県	6.5	非立地県
	新潟県	1.5	原発立地県
	富山県	1.0	非立地県
	山梨県	1.0	非立地県
	長野県	1.5	非立地県
静岡県	2.5	原発立地県	

原発立地県	21.0
原発非立地県	79.0

(%)			
西日本	石川県	1.5	原発立地県
	福井県	0.5	原発立地県
	愛知県	6.0	非立地県
	三重県	1.5	非立地県
	岐阜県	2.0	非立地県
	滋賀県	1.0	非立地県
	京都府	2.0	非立地県
	大阪府	6.5	非立地県
	兵庫県	4.5	非立地県
	奈良県	1.0	非立地県
	和歌山県	1.0	非立地県
	鳥取県	-	非立地県
	島根県	1.0	原発立地県
	岡山県	1.5	非立地県
	広島県	2.5	非立地県
	山口県	1.0	非立地県
	徳島県	0.5	非立地県
	香川県	0.5	非立地県
	愛媛県	1.5	原発立地県
	高知県	0.5	非立地県
	福岡県	4.0	非立地県
	佐賀県	0.5	原発立地県
	長崎県	1.0	非立地県
	熊本県	1.5	非立地県
	大分県	1.0	非立地県
	宮崎県	0.5	非立地県
	鹿児島県	1.5	原発立地県
	沖縄県	1.0	非立地県

4. 職業



5. 未既婚

(%)

	既婚	未婚	離死別	無回答
全体(N=1200)	68.7	23.3	8.0	0.1

6. 学歴

(%)

	短大卒以下	大学卒以上	無回答
全体(N=1200)	74.4	25.6	0.1

7. 子どもの有無

(%)

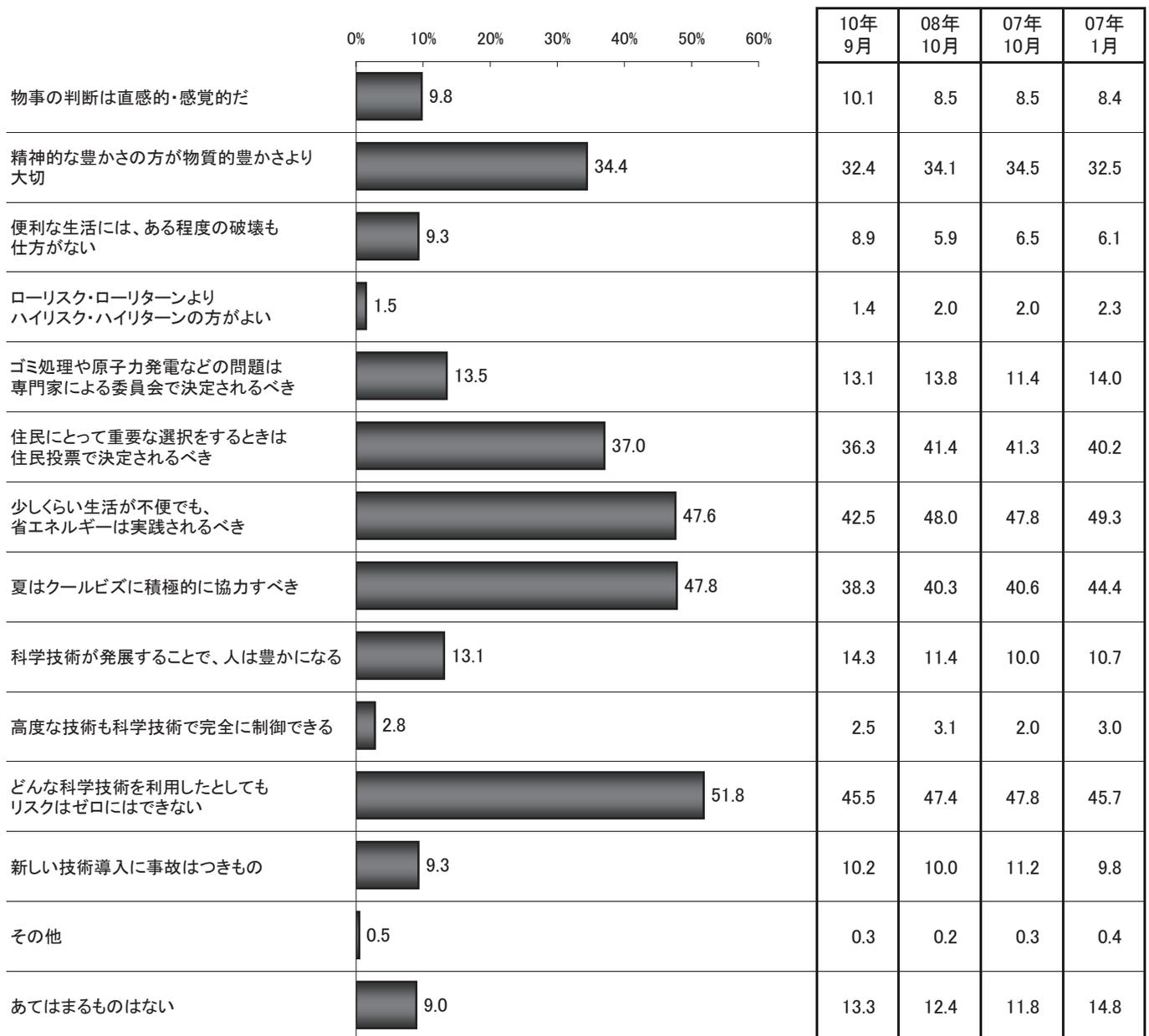
	子ども無	子ども有	その他	無回答
全体(N=1200)	27.8	63.3	8.5	0.4

●社会的価値観～科学技術、環境などに対する考え方

「科学技術、環境」などに対する考え方であてはまるという回答の割合が高い項目は、「どんな科学技術を利用したとしてもリスクはゼロにはできない」(51.8%)、「夏はクールビズに積極的に協力すべき」(47.8%)、「少しでも生活が不便でも、省エネルギーは実践されるべき」(47.6%)がトップ3。
 反対に、あてはまるという回答の割合が低い項目は、「ローリスク・ローリターンよりハイリスク・ハイリターンの方がよい」(1.5%)、「高度な技術も科学技術で完全に制御できる」(2.8%)、「便利な生活には、ある程度の破壊も仕方がない」「新しい技術導入に事故はつきもの」(9.3%)であった。
 「夏はクールビズに積極的に協力すべき」は、前回と比べて10ポイント近く増加している。

問18. 科学技術、環境などに対する、あなたご自身のお考えについてお伺いします。
 次の中からあてはまるものをすべてお選びください。(○はいくつでも)

全体 N=1200



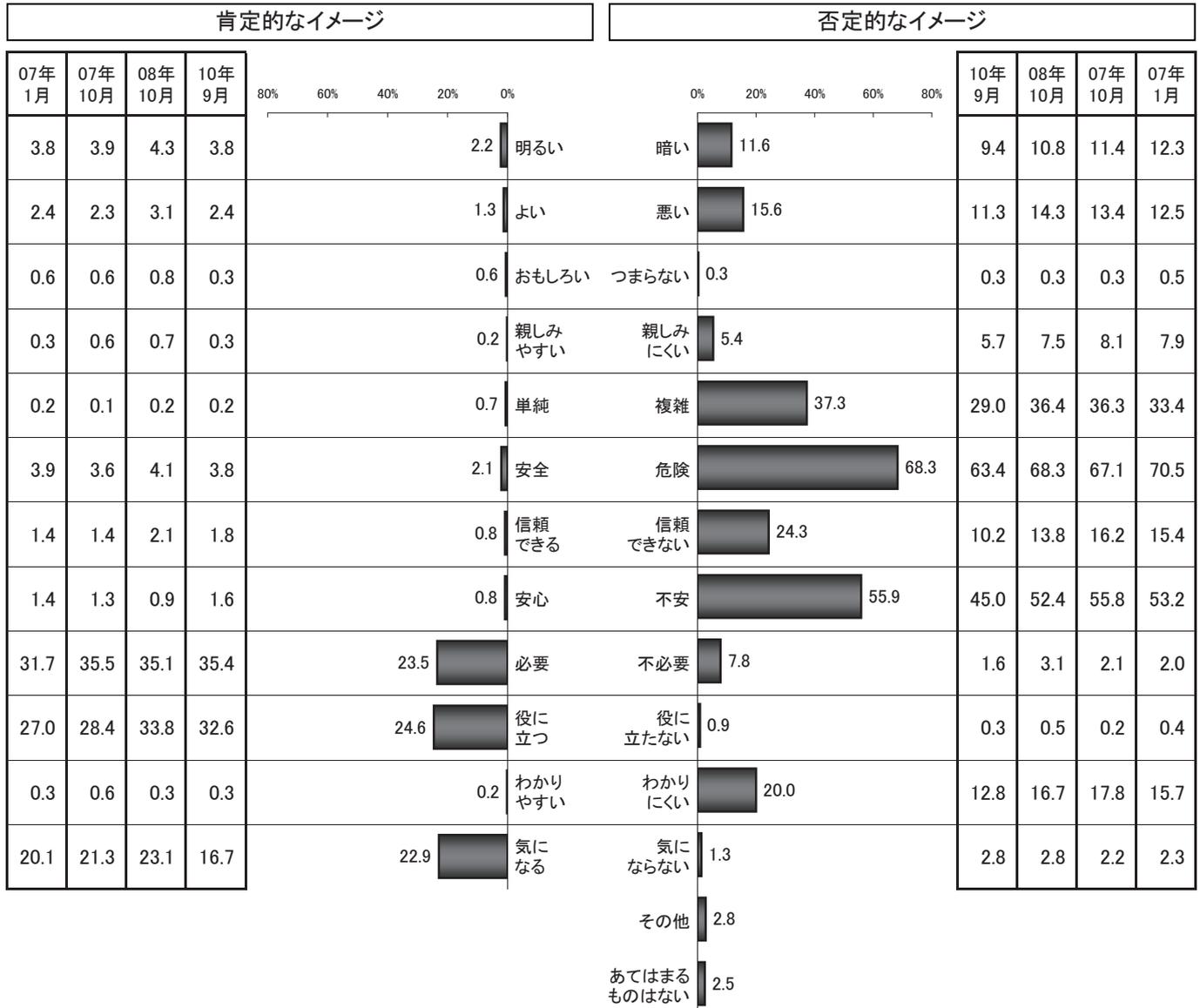
Ⅱ章 原子力・放射線・エネルギーに対する イメージと知識

●原子力・放射線・エネルギーに対するイメージと知識～原子力のイメージ

「原子力」という言葉から思い浮かぶイメージを尋ねたところ、全体として肯定的なイメージよりも否定的なイメージの反応が高く、「危険」(68.3%)、「不安」(55.9%)、「複雑」(37.3%)という回答が高い。一方、肯定的なイメージでは、「役に立つ」(24.6%)、「必要」(23.5%)、「気になる」(22.9%)という回答が高く、他の項目はきわめて低い反応水準にある。肯定的／否定的イメージとも上位3項目は前回と同様。
 前回と比較して肯定的イメージは減少、否定的イメージは増加した項目が多く、特に「信頼できない」「不安」は10ポイント以上増加、また「必要」は10ポイント以上減少した。

問4. あなたは「原子力」という言葉を聞いたときに、どのようなイメージを思い浮かべますか。
 次の中からあてはまるものをすべてお選びください。(○はいくつでも)

全体 N=1200

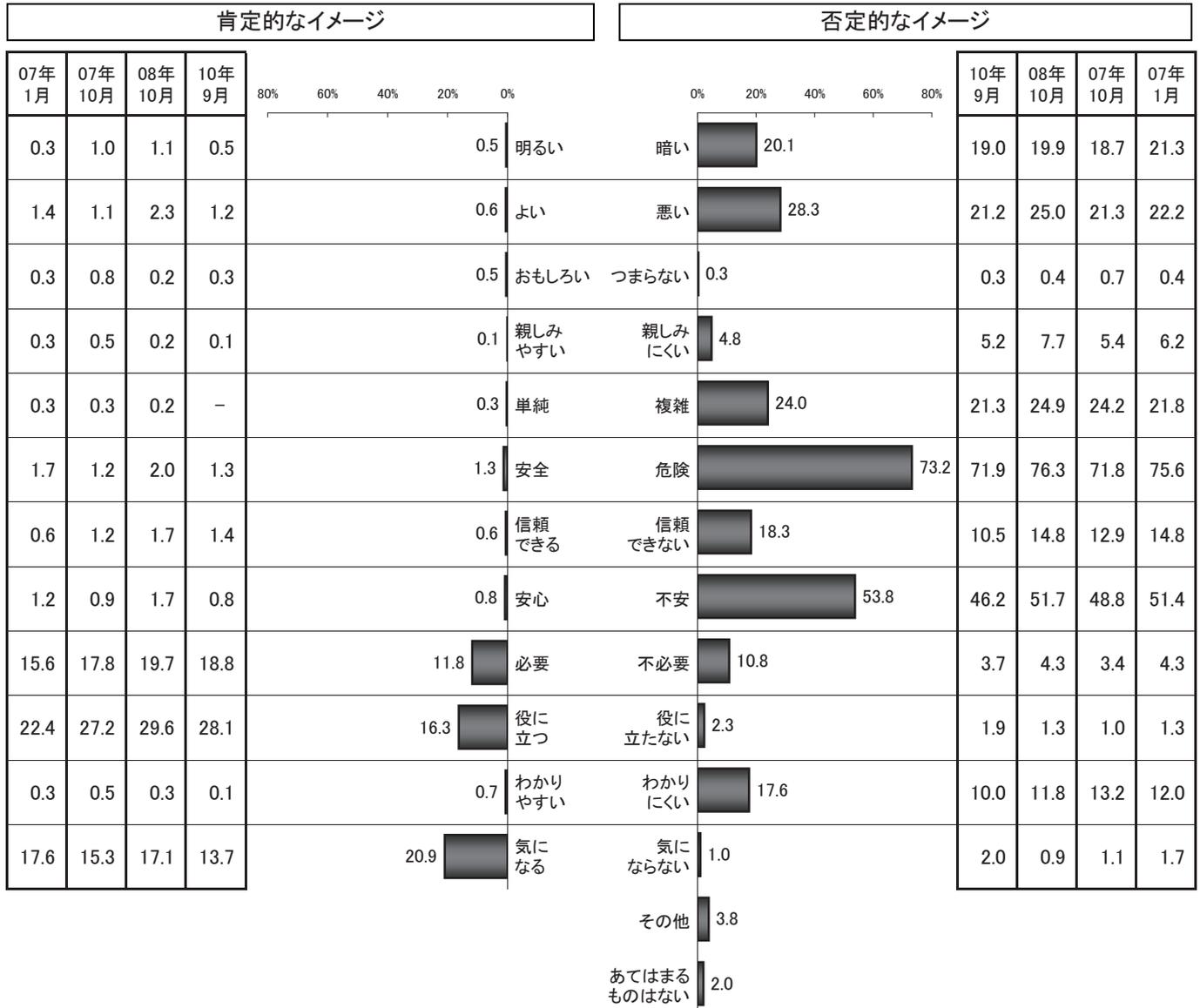


●原子力・放射線・エネルギーに対するイメージと知識～放射線のイメージ

「放射線」という言葉から思い浮かぶイメージを尋ねたところ、全体として肯定的なイメージよりも否定的なイメージの反応が高く、「危険」(73.2%)、「不安」(53.8%)という回答が突出している。一方、肯定的なイメージでは「気になる」(20.9%)、「役に立つ」(16.3%)、「必要」(11.8%)という回答が高い。
 前回と比較して否定的なイメージが増加しており、特に「悪い」「信頼できない」「不安」「不必要」「わかりにくい」では7ポイント以上増えている。一方、肯定的なイメージでは「役に立つ」が前回より10ポイント以上減少し、「必要」は7ポイント以上減少、「気になる」が7ポイント以上増加した。

問5. あなたは「放射線」という言葉を聞いたときに、どのようなイメージを思い浮かべますか。
 次の中からあてはまるものをすべてお選びください。(〇はいくつでも)

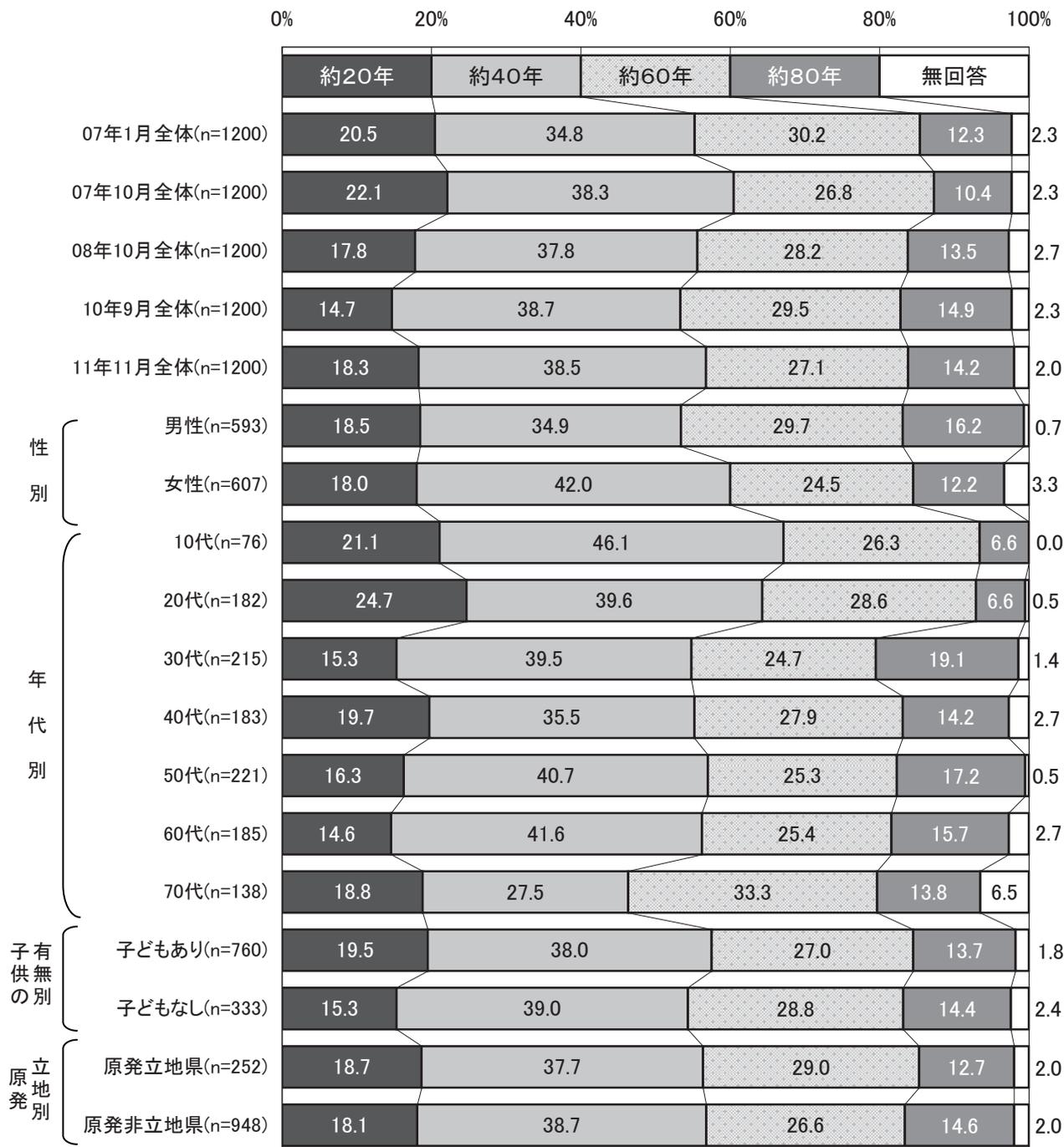
全体 N=1200



●原子力・放射線・エネルギーに対するイメージと知識～エネルギーに関する知識①

石油の可採年数を尋ねたところ、「約40年」が38.5%で最も高く、「約60年」(27.1%)、「約20年」(18.3%)、「約80年」(14.2%)の順。前回と比べて、下位2項目の順位が入れ替わった。
性別で見ると、「約40年」と回答した男性は34.9%、女性は42.0%となっており、女性の正答率が高い。
年代別で見ると、10代の正答率が46.1%と最も高く、逆に70代では27.5%と顕著に低い。

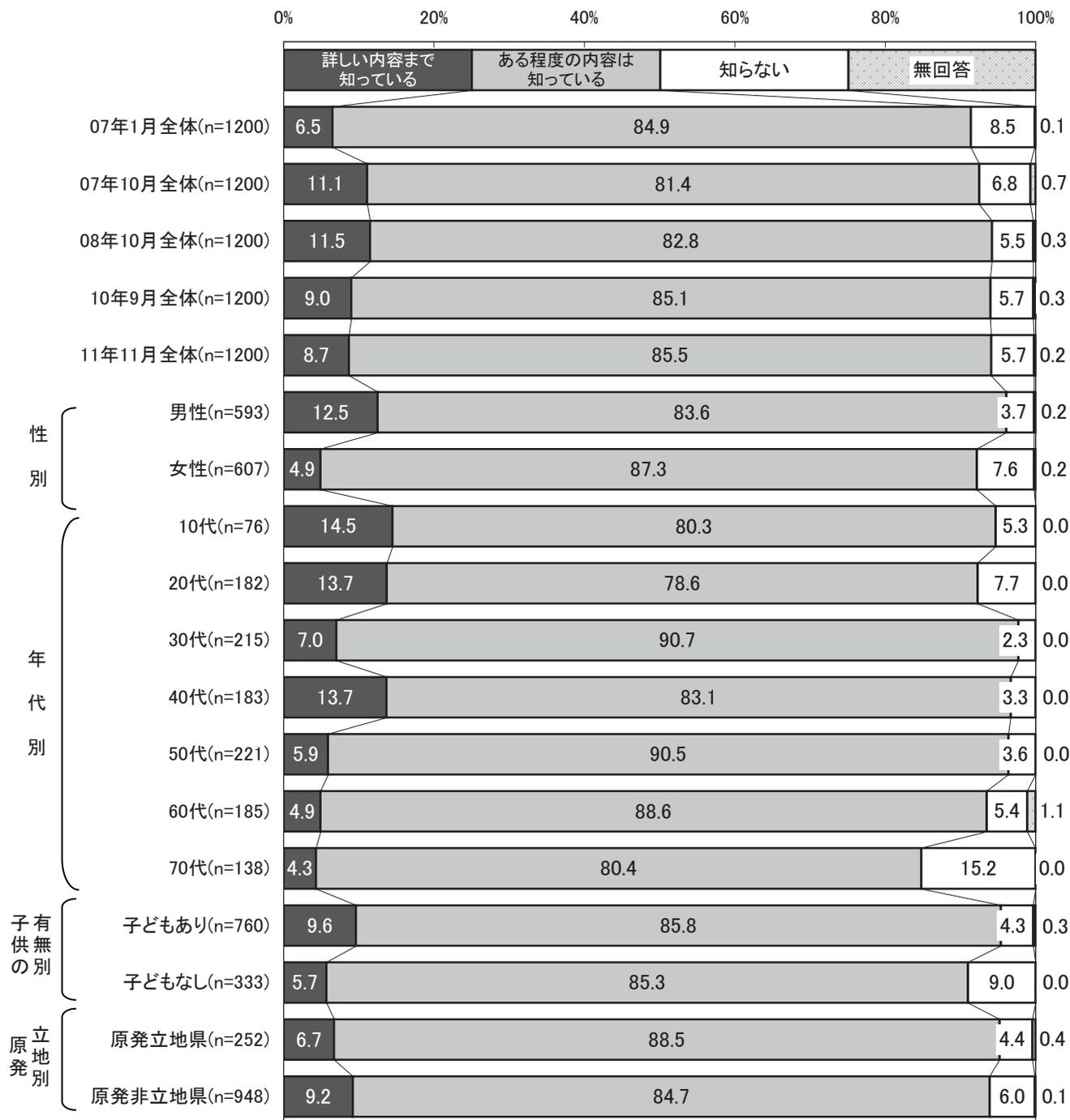
問1. あなたは石油の可採年数はどのくらいだと思いますか。(○は1つだけ)



●原子力・放射線・エネルギーに対するイメージと知識～エネルギーに関する知識②

二酸化炭素などのガスの増加によって地球温暖化が起きると言われていることを知っているか尋ねた。「詳しい内容まで知っている」(8.7%)と「ある程度の内容は知っている」(85.5%)を合わせた認知率は94.2%と、認知は浸透している。傾向は前回とおおむね同様。
性別では、「詳しい内容まで知っている」という回答は男性12.5%、女性4.9%と男性の方が高い比率を示す。
年代別でみると、「詳しい内容まで知っている」は10代で14.5%と最も高く、20代と40代が13.7%となった。

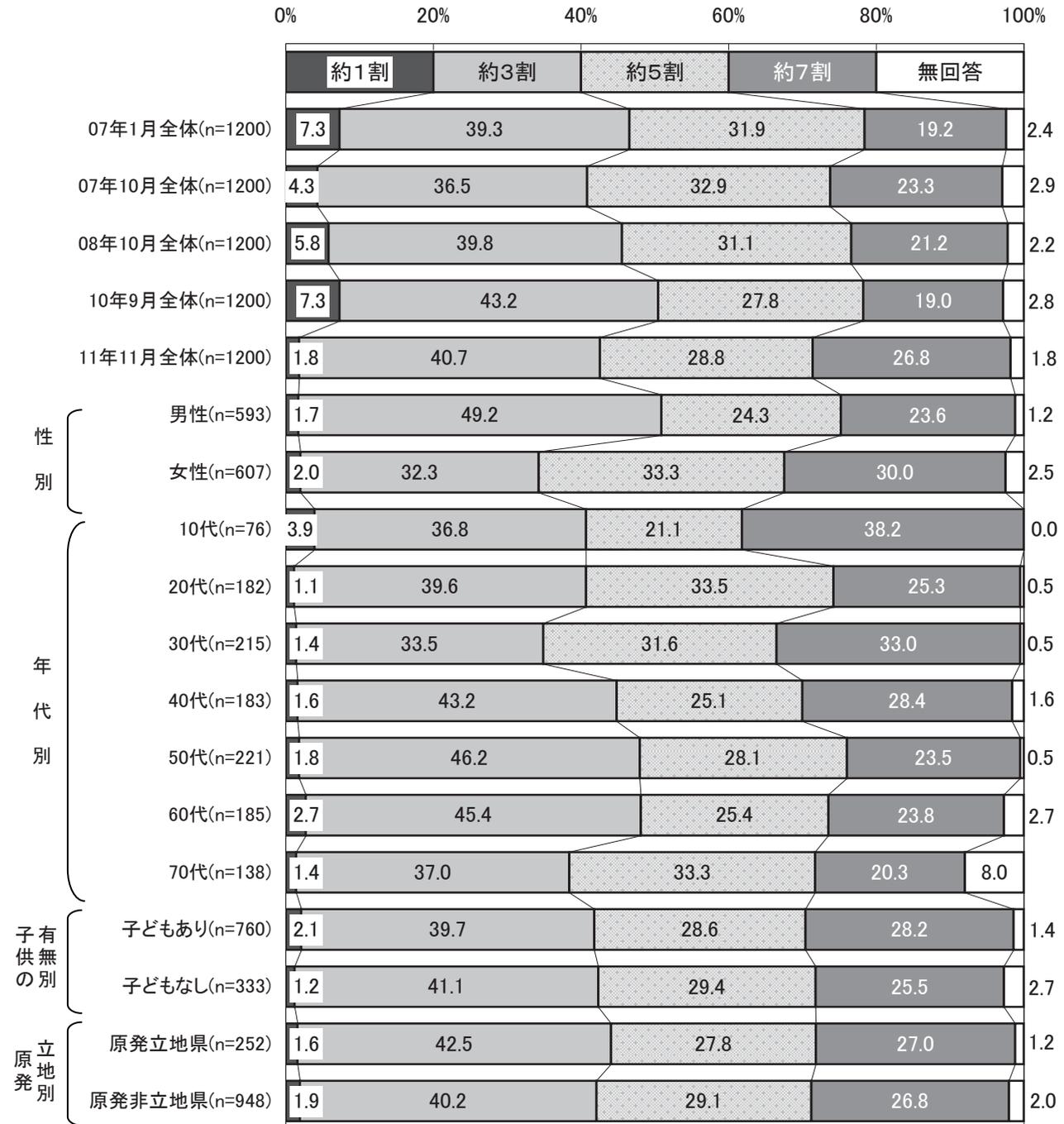
問2. あなたは二酸化炭素などのガスの増加によって地球温暖化が起きると言われていることをご存知ですか。(○は1つだけ)



●原子力・放射線・エネルギーに対するイメージと知識～原子力に関する知識

震災前に日本の発電電力量の約何割を原子力が担っていたと思うか尋ねた。
 「約3割」が40.7%で最も高く、「約5割」(28.8%)、「約7割」(26.8%)、「約1割」(1.8%)の順。
 序列は前回と同様であるが、前回まで増加傾向にあった正答率は今回やや減少。
 性別で見ると、「約3割」と回答したのは女性(32.3%)よりも男性(49.2%)の方が約17ポイント高い。
 年代別で見ると、「約3割」の回答は50代が46.2%と最も高い。

問3. あなたは東日本大震災以前に日本の発電電力量の約何割を原子力が担っていたと思いますか。
 (○は1つだけ)



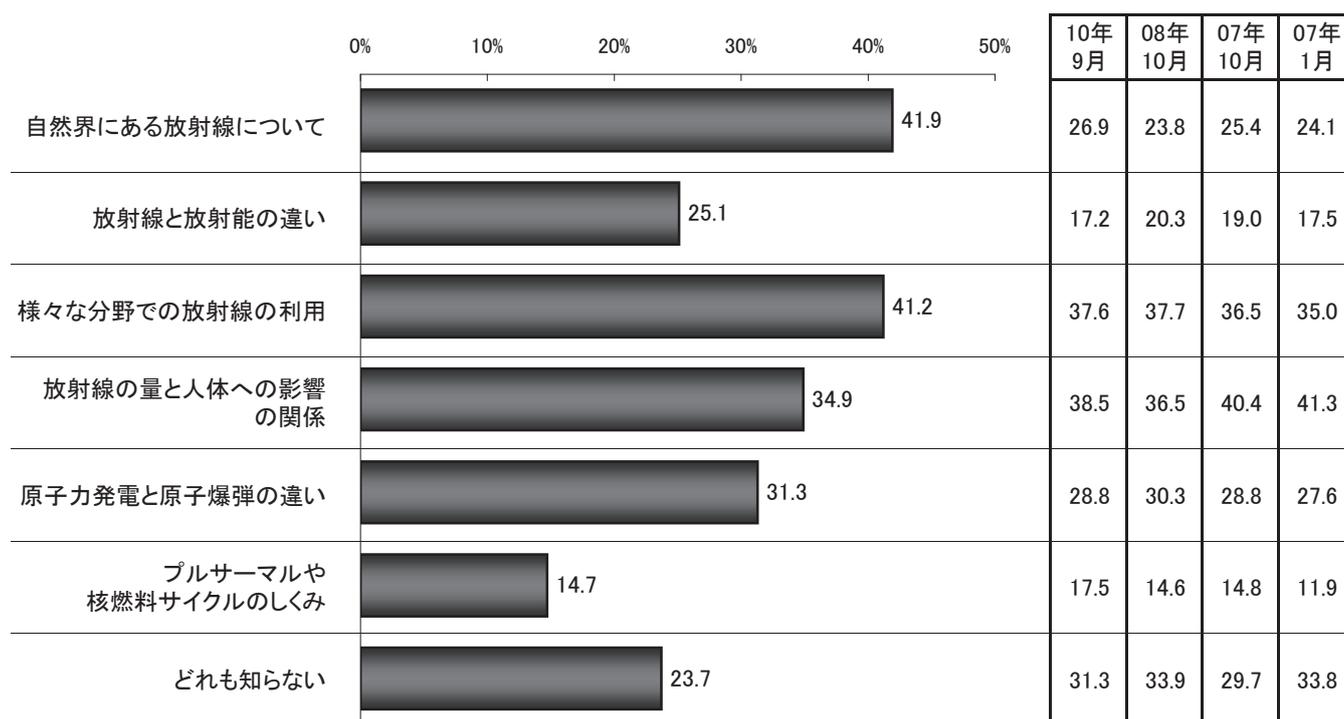
* 10年9月までの質問文は、「あなたは日本の発電電力量の約何割を原子力が担っていると思いますか」として聴取

●原子力・放射線・エネルギーに対するイメージと知識～放射線に関する知識

原子力・放射線・エネルギーについての認知率が高い項目は、「自然界にある放射線について」(41.9%)、「様々な分野での放射線の利用」(41.2%)。次いで「放射線の量と人体への影響の関係」(34.9%)、「原子力発電と原子爆弾の違い」(31.3%)で3割を超えている。
 前回4位の「自然界にある放射線」のスコアは15ポイント増加して、今回1位。

問6. 以下にあげる事柄について、あなたをご存知のものはどれですか。
 ご存知のものをすべてお選びください。(○はいくつでも)

全体 N=1200



Ⅲ章 原子力・放射線・エネルギーについての関心

●原子力・放射線・エネルギー分野への関心～原子力やエネルギーへの関心①

原子力やエネルギーの分野について関心のあることを尋ねた。
 突出して関心が高い項目は「地球温暖化」(55.8%)。次いで「太陽光発電の開発状況」(44.2%)、「日本のエネルギー事情」(41.0%)、「放射線による人体の影響」(40.5%)への関心が4割を超える。
 前回と比較して、「放射性廃棄物の処分」「放射線による人体の影響」は9ポイント前後の増加。また、「風力発電の開発状況」「バイオマス発電の開発状況」「太陽光発電の開発状況」といった新エネルギーへの関心も前回に比べて6ポイント以上増加している。
 今回から聴取した「原子力施設のリスク」は3割を超える関心度。

問7-1. 原子力やエネルギーの分野において、あなたが関心のあることはどれですか。
 次の中からあてはまるものをすべてお選びください。(○はいくつでも)

全体 N=1200

	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	10年 9月	08年 10月	07年 10月	07年 1月
石油や石炭など化石資源の消費	22.3							23.3	24.1	23.3	13.3
地球温暖化	55.8							62.8	64.7	65.3	60.1
世界のエネルギー事情	27.0							25.9	25.3	23.1	25.3
日本のエネルギー事情	41.0							36.1	39.1	35.4	35.9
太陽光発電の開発状況	44.2							37.8	38.9	32.9	35.5
風力発電の開発状況	29.8							21.9	23.8	25.0	25.3
バイオマス発電の開発状況	15.5							8.6	9.9	9.2	7.8
核分裂のしくみ	5.3							3.3	4.0	4.9	4.3
原子力発電の安全性	23.8							24.3	25.5	25.8	25.6
プルサーマル・核燃料サイクル	7.3							10.6	9.8	9.6	10.1
放射線による人体の影響	40.5							32.0	32.3	31.7	32.8
放射線の工業利用	5.0							5.1	5.0	6.3	5.9
放射線の医療利用	29.8							36.0	36.2	33.9	35.9
放射線の農業利用	5.8							5.2	5.3	4.8	6.1
核不拡散	7.4							8.3	8.3	9.8	10.2
高速増殖炉「もんじゅ」のしくみ	5.0							7.6	5.6	4.8	4.0
「もんじゅ」の安全性	8.4							10.9	11.8	11.8	10.9
核燃料の製造加工	4.2							3.4	4.0	4.3	3.2
省エネルギー	24.0							28.1	30.9	30.0	30.2
放射性廃棄物の処分	32.8							23.3	27.4	30.3	28.5
使用済燃料の貯蔵	18.1							14.5	16.8	16.3	18.0
原子力施設のリスク(事故・トラブルなど)	32.4										
その他	0.8							0.2	0.3	0.3	0.4
特にない／わからない	11.2							14.8	14.8	14.6	19.3

* 07年1月の選択肢は「化石資源の消費」、07年10月は「石油や石炭など化石資源の消費」に変更

* 07年1月、07年10月の選択肢は「高速増殖炉のしくみ」、08年10月からは「高速増殖炉「もんじゅ」のしくみ」に変更

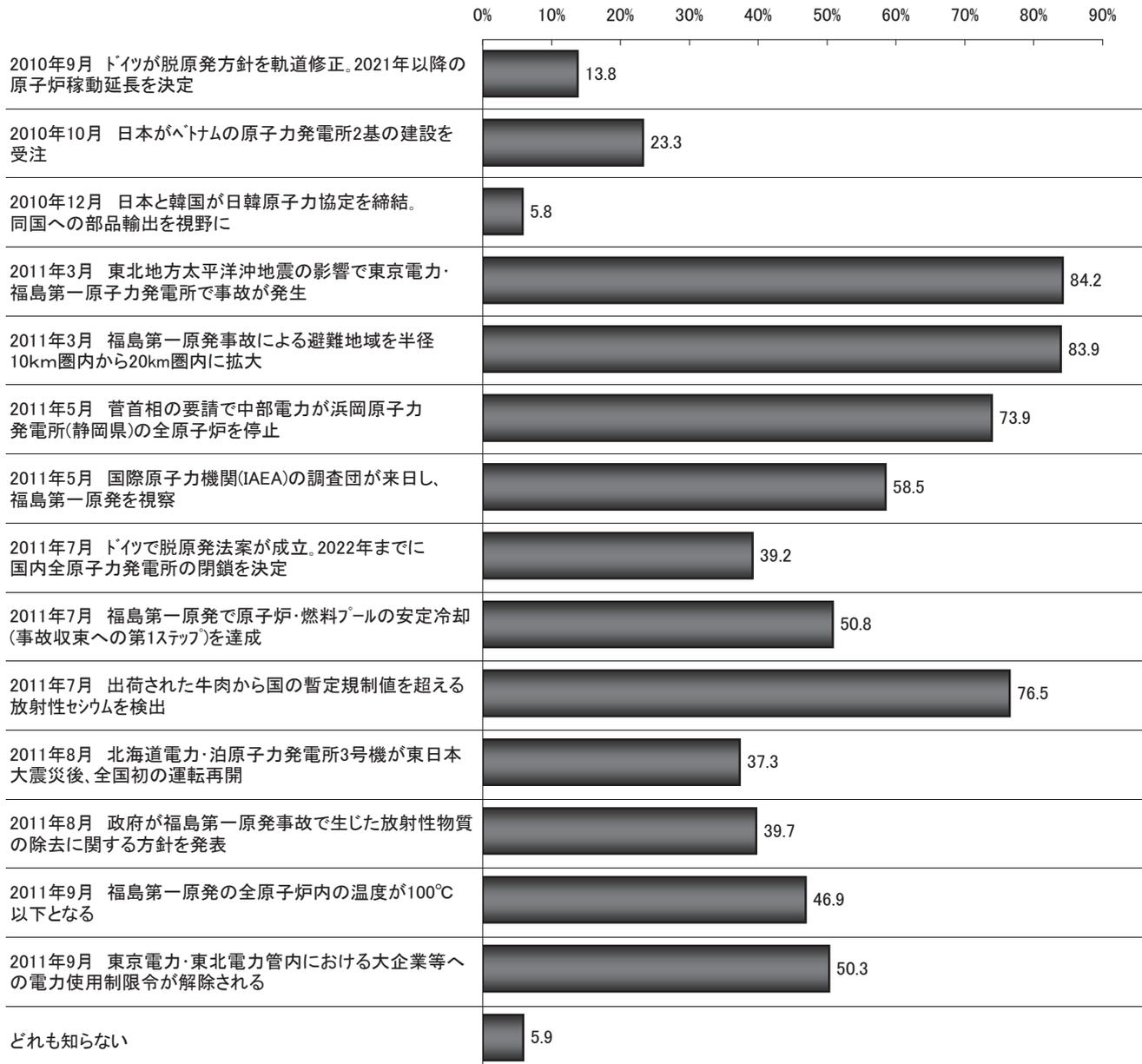
* 「原子力施設のリスク(事故・トラブルなど)」は、11年11月から追加

●原子力・放射線・エネルギー分野への関心～原子力やエネルギーへの関心②

2010年9月～2011年9月に報じられた、原子力やエネルギーにまつわる国内外のニュースの認知を尋ねた。認知率の高い項目は「2011年3月 東北地方太平洋沖地震の影響で東京電力・福島第一原子力発電所で事故が発生」(84.2%)、「2011年3月 福島第一原発事故による避難地域を半径10km圏内から20km圏内に拡大」(83.9%)で8割を超える。次いで「2011年7月 出荷された牛肉から国の暫定規制値を超える放射性セシウムを検出」(76.5%)、「2011年5月 菅首相の要請で中部電力が浜岡原子力発電所(静岡県)の全原子炉を停止」(73.9%)が7割超で続いている。

問19. 次にあげる原子力やエネルギーにまつわるニュースをご存知でしたか。ご存知のものをすべてお選びください。(○はいくつでも)

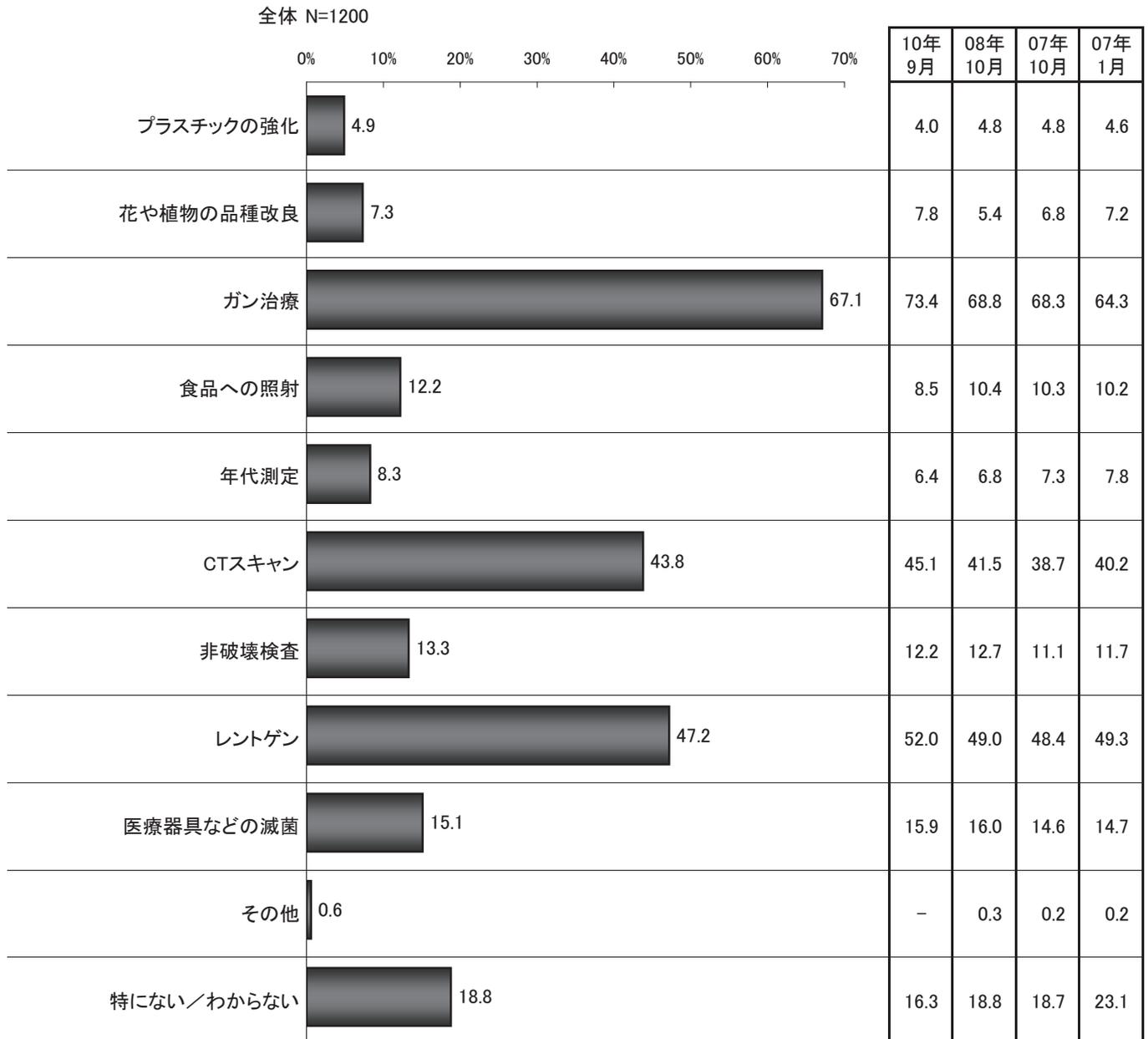
全体 N=1200



●原子力・放射線・エネルギー分野への関心～放射線利用への関心

放射線利用の分野について関心のあることを尋ねた。
 突出して関心が高い項目は「ガン治療」67.1%、次いで「レントゲン」(47.2%)、「CTスキャン」(43.8%)が続いている。
 前回と同じく医療分野での関心が高いが、上位3項目ともスコアはやや減少気味。
 医療以外の分野についての関心は低めにとどまっている傾向も前回と変わらない。

問7-2. 放射線利用の分野において、あなたが関心のあることはどれですか。
 次の中からあてはまるものをすべてお選びください。(○はいくつでも)



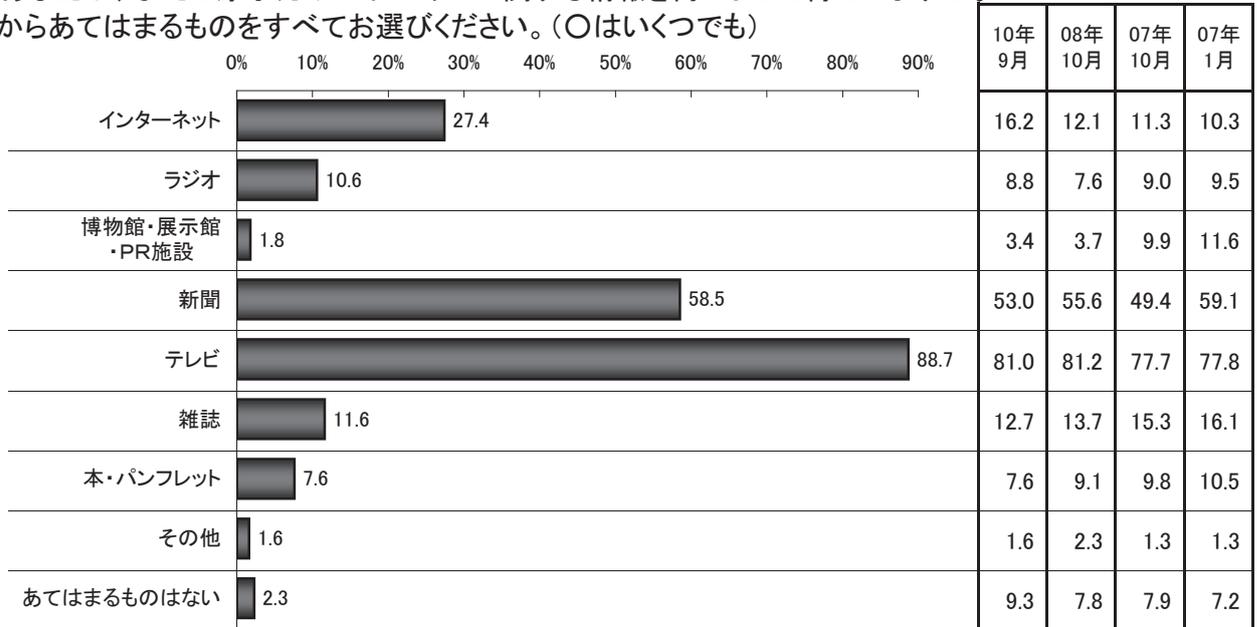
IV章 原子力広報評価

●原子力広報評価～原子力やエネルギーに関する情報源①

原子力やエネルギーに関する日頃の情報源を訪ねたところ、「テレビ」(88.7%)、「新聞」(58.5%)が主な情報源となっており、前回と同様の傾向。また、近年上昇傾向にあるインターネットは、今回10ポイント以上増加した。年代別で見ると、20～40代では「インターネット」、50～70代では「新聞」を情報源として挙げる率が他の年代と比較して高くなっている。また、60～70代では「ラジオ」、70代では「雑誌」も高い割合となっている。子供の有無別で見ると、「インターネット」は子どもなし(21.0%)より子どもあり(30.7%)の方が高い。

問8-1. あなたは、ふだん原子力やエネルギーに関する情報を何によって得ていますか。

次の中からあてはまるものをすべてお選びください。(○はいくつでも)



	インターネット	ラジオ	博物館・展示館 PR施設	新聞	テレビ	雑誌	本・パンフレット	その他	あてはまるもの	
全体 (N=1200)	27.4	10.6	1.8	58.5	88.7	11.6	7.6	1.6	2.3	
性別	男性 (n=593)	32.2	10.8	1.5	59.7	85.7	13.3	8.1	0.8	2.4
	女性 (n=607)	22.7	10.4	2.1	57.3	91.6	9.9	7.1	2.3	2.1
年代別	10代 (n=76)	21.1	5.3	2.6	23.7	89.5	2.6	2.6	5.3	5.3
	20代 (n=182)	41.8	2.2	0.5	34.6	86.3	6.0	4.9	2.2	4.4
	30代 (n=215)	43.3	8.8	0.5	47.0	88.8	7.4	2.8	1.4	1.9
	40代 (n=183)	32.8	8.7	1.6	58.5	84.2	12.6	11.5	0.5	2.7
	50代 (n=221)	26.2	11.3	3.2	76.5	89.6	15.4	8.6	1.8	0.5
	60代 (n=185)	11.4	16.8	1.6	78.9	93.0	16.2	10.3	0.5	1.1
	70代 (n=138)	3.6	20.3	3.6	71.0	89.9	16.7	10.9	1.4	2.2
子供有無別	子どもあり (n=760)	30.7	9.7	1.6	57.1	87.8	10.7	6.8	1.4	2.4
	子どもなし (n=333)	21.0	12.6	3.0	62.2	90.1	12.3	8.7	1.2	1.8
立地別	原発立地県 (n=252)	28.2	10.7	2.4	60.3	93.3	10.7	9.5	2.0	0.8
	原発非立地県 (n=948)	27.2	10.5	1.7	58.0	87.4	11.8	7.1	1.5	2.6

* 網掛けは全体値より5ポイント以上高いセグメントを示す

* 07年10月までの選択肢は「国や電力会社などのPR施設」、08年10月からは「博物館・展示館・PR施設」に変更

●原子力広報評価～原子力やエネルギーに関する情報源②

原子力やエネルギーに関する有益性に関する情報と、事故やトラブルなどに関する情報の入手経路を尋ねた。有益性に関する情報、事故やトラブルなどに関する情報とも、「テレビ・ラジオなどのアナウンサー」が最も高く、次いで「評論家」「専門家」の順。前回と比較してどちらもすべての項目でスコアが上昇しているが、特に事故やトラブルなどに関する情報で20～30ポイント以上増加した項目が多数みられる。今回から聴取した「知人や友人」「家族や親戚」は、それぞれ1割前後の反応率。

問8-2. あなたは、この1年間に原子力やエネルギーに関して「有益性に関する情報」をどのような人の発言から得ましたか。次の中からあてはまるものをすべてお選びください。(〇はいくつでも)

問8-3. あなたは、この1年間に原子力やエネルギーに関して「事故やトラブルなどに関する情報」をどのような人の発言から得ましたか。次の中からあてはまるものをすべてお選びください。(〇はいくつでも)

※ テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・インターネットなどのメディアから得る、もしくは直接聞くかは問いません。

有益性に関する情報			事故やトラブルなどに関する情報												
07年10月	08年10月	10年9月	80%	60%	40%	20%	0%	0%	20%	40%	60%	80%	10年9月	08年10月	07年10月
8.8	5.1	5.8	23.3			政府関係者			36.0			3.3	4.1	8.7	
19.3	13.0	16.8	43.5			専門家 (大学教員・研究者)			46.3			11.4	11.2	17.5	
20.8	20.3	23.1	45.2			評論家 (キャスターなども含む)			55.8			23.7	24.8	28.3	
10.9	9.4	9.8	21.1			原子力関係者 (電力会社・メーカー)			31.1			3.8	4.1	6.8	
1.1	0.8	0.6	1.0			自治体職員			1.9			0.4	0.6	1.1	
2.2	1.8	1.8	2.0			小・中・高等学校の教員			2.1			2.0	1.8	2.3	
42.3	43.4	44.9	53.8			テレビ・ラジオなどの アナウンサー			75.8			54.2	59.3	64.5	
25.8	21.9	20.0	29.1			新聞・雑誌などの記者			40.6			25.1	30.3	35.8	
3.1	2.3	1.9	3.1			オピニオンリーダー (身近な知識人)			2.9			1.3	2.4	2.7	
5.3	3.1	1.8	8.9			政治家			13.2			2.3	2.8	5.0	
			8.5			知人や友人			11.8						
			8.2			家族や親戚			10.8						
0.8	1.3	1.5	0.7			その他			0.7			0.9	0.6	0.5	
34.1	35.9	34.0	11.4			あてはまるものはない/この 1年間に情報は得ていない			2.8			29.9	25.8	18.0	

全体 N=1200

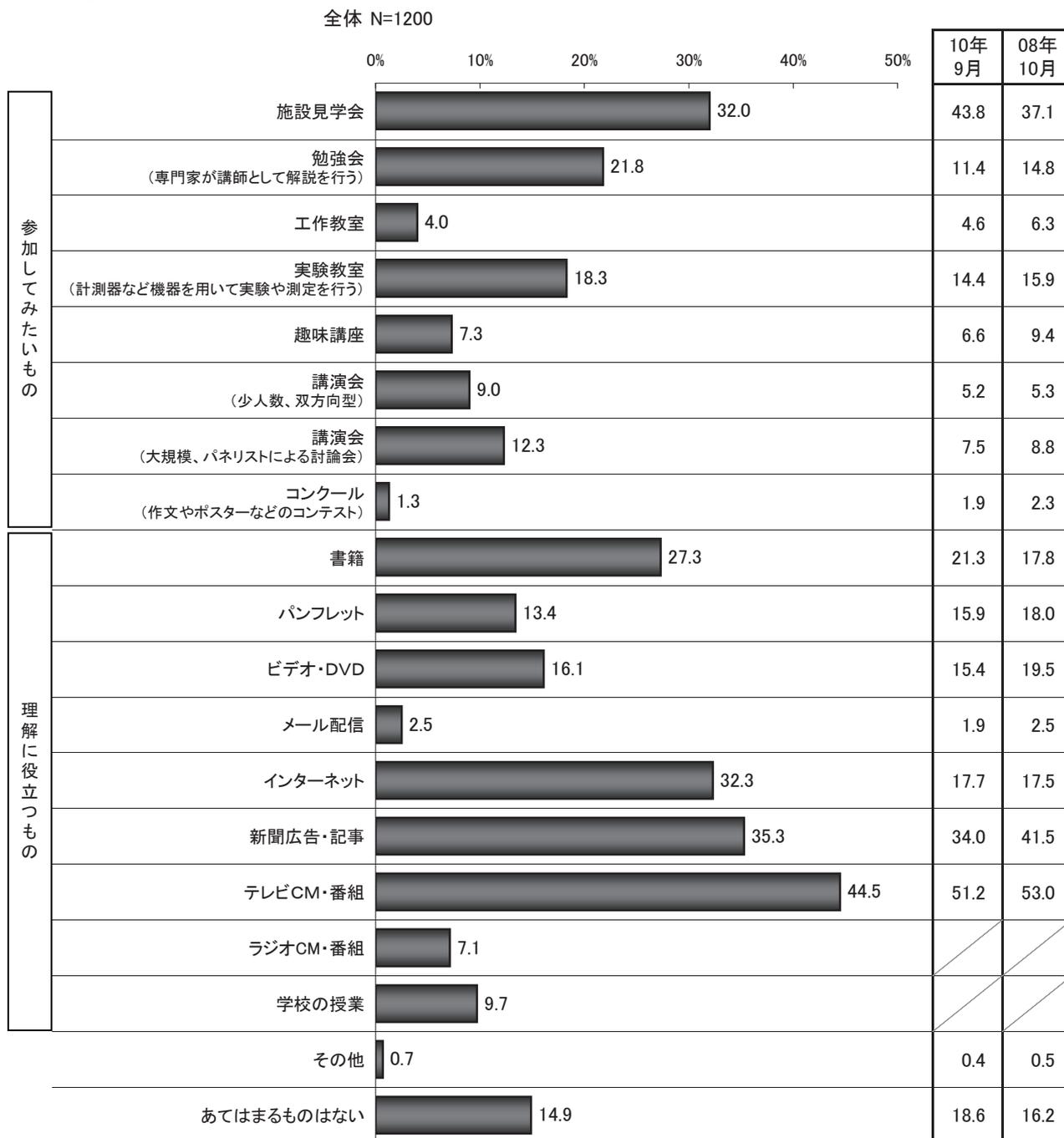
- * 07年10月は、全ての選択肢に「の発言」を付けた表記で聴取
- * 07年10月は、「テレビ」は「TV」の表記で聴取
- * 「知人や友人」「家族や親戚」は11年11月から追加
- * 10年9月までの質問文は、「原子力やエネルギーに関する「よい情報(安全性、有益性に関する情報)」を～」「原子力やエネルギーに関する「悪い情報(トラブルなどに関する情報)」を～」として聴取

●原子力広報評価

～原子力やエネルギーに関するイベント・施設・情報源で参加してみたいもの・理解に役立つもの

原子力やエネルギーに関するイベント・施設・情報源の中で参加してみたいもの、理解に役立つものを尋ねたところ、参加してみたいものでは「施設見学会」(32.0%)、次いで「勉強会」(21.8%)。前回と比べて「施設見学会」は約12ポイント減少。一方、「勉強会」は約10ポイント増加し、前回2位だった「実験教室」と順位が入れ替わっている。理解に役立つものでは、「テレビCM・番組」(44.5%)、「新聞広告・記事」(35.3%)、「インターネット」(32.3%)の順。今回「インターネット」は約15ポイント増加し、前回3位だった「書籍」と順位が入れ替わった。

問9-1. 以下に挙げている「原子力やエネルギーに関するイベント・施設・情報源」の中で、参加してみたいもの、理解に役立つものはどれですか。あてはまるものをすべてお選びください。(〇はいくつでも)



*「インターネット」は、10年9月まで「ホームページ」として聴取

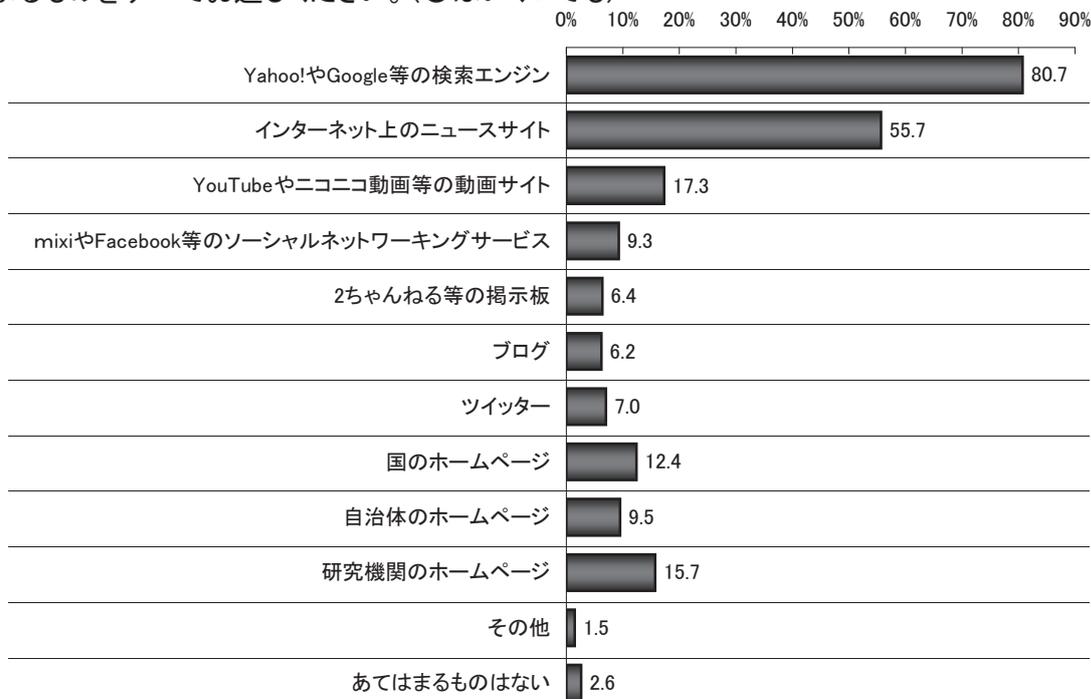
*「ラジオCM・番組」「学校の授業」は、11年11月から追加

●原子力広報評価～原子力・エネルギーに関する理解に役立つ情報源としての閲覧サイト

原子力やエネルギーに関する理解に役立つ情報源として、具体的にどのサイトを閲覧しているか尋ねたところ、「Yahoo!やGoogle等の検索エンジン」(80.7%)がトップ。次いで「インターネット上のニュースサイト」(55.7%)が続く。年代別にみると、10代では「動画サイト」「掲示板」「ブログ」、20代では「ソーシャルネットワーキングサービス」「ツイッター」、50代では「ニュースサイト」、60代では「自治体のホームページ」「研究機関のホームページ」が全体に比べて高くなっている。

問9-2.【問9-1で「13インターネット」とお答えの方に】

原子力やエネルギーに関する理解に役立つ情報源として、具体的にどのサイトを閲覧していますか。あてはまるものをすべてお選びください。(〇はいくつでも)



		等 Y a h o o ! や G o o g l e 等の検索エンジン	サイ イン ター ネット 上 の ニュース	動 画 等 の 動 画 サイト や ニ コ ニ コ	ン グ の m i x i や F a c e b o o k 等のソーシャルネットワーキングサービス	2 ちゃんねる等の掲示板	ブ ログ	ツイ ッ ター	国 の ホーム ページ	自 治 体 の ホーム ページ	研 究 機 関 の ホーム ページ	そ の 他	あ て は ま る も の は な い
全体 (N=388)		80.7	55.7	17.3	9.3	6.4	6.2	7.0	12.4	9.5	15.7	1.5	2.6
性別	男性 (n=214)	81.3	53.7	18.2	7.9	5.6	5.1	6.1	13.6	10.7	17.8	1.9	1.9
	女性 (n=174)	79.9	58.0	16.1	10.9	7.5	7.5	8.0	10.9	8.0	13.2	1.1	3.4
年代別	10代 (n=34)	85.3	47.1	26.5	11.8	14.7	14.7	5.9	5.9	2.9	8.8	-	2.9
	20代 (n=90)	84.4	57.8	18.9	23.3	11.1	5.6	13.3	8.9	4.4	14.4	1.1	2.2
	30代 (n=92)	80.4	51.1	19.6	5.4	6.5	4.3	7.6	12.0	12.0	13.0	3.3	1.1
	40代 (n=74)	81.1	52.7	13.5	1.4	4.1	5.4	4.1	16.2	10.8	16.2	2.7	4.1
	50代 (n=67)	77.6	68.7	14.9	6.0	1.5	7.5	4.5	14.9	10.4	17.9	-	1.5
	60代 (n=24)	75.0	50.0	8.3	-	-	4.2	-	12.5	16.7	20.8	-	8.3
	70代 (n=7)	57.1	57.1	14.3	14.3	-	-	-	28.6	28.6	57.1	-	-
子有無の別	子どもあり (n=281)	84.3	56.2	19.9	10.3	8.2	6.8	8.2	11.0	9.6	14.9	1.1	2.1
	子どもなし (n=71)	74.6	54.9	9.9	5.6	2.8	5.6	4.2	16.9	9.9	18.3	-	2.8
立地別	原発立地県 (n=82)	84.1	57.3	17.1	6.1	7.3	6.1	4.9	7.3	11.0	13.4	2.4	1.2
	原発非立地県 (n=306)	79.7	55.2	17.3	10.1	6.2	6.2	7.5	13.7	9.2	16.3	1.3	2.9

* 網掛けは全体値より5ポイント以上高いセグメントを示す

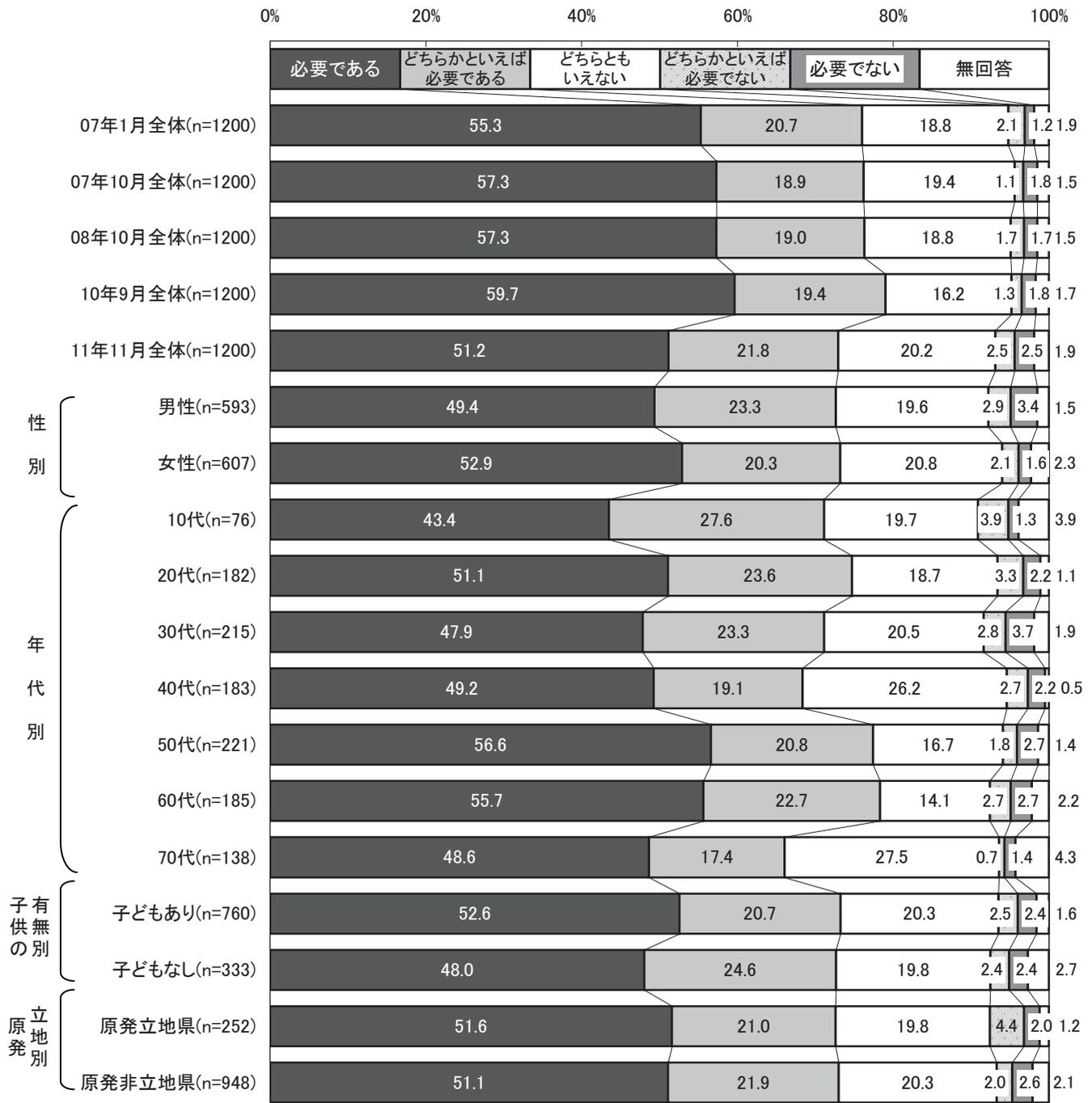
* 「70代」はサンプル数が少ない(N=7)ので注意

●原子力広報評価～知識普及啓発活動のあり方①

「世界唯一の被爆国として、原子力技術を平和利用に限ること、原子力利用の安全を確保することについて、もっと訴えていくこと」に対し、「必要である」という回答は51.2%、「どちらかといえば必要である」は21.8%で、この考え方に肯定的な回答(「必要である」+「どちらかといえば必要である」)は73.0%。前回と比較すると「必要である」は約9ポイント減少している。
年代別にみると、「必要である」という回答は50～60代で5割半ばと高い割合。

問10-e. あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。
あなたの考えに近いものをお選びください。(○はそれぞれ1つずつ)

【世界唯一の被爆国として、原子力技術を平和利用に限ること、原子力利用の安全を確保することについて、もっと訴えていくこと】



* 07年1月の選択肢は「そう思う／どちらかといえばそう思う」、07年10月は「必要である／どちらかといえば必要である」

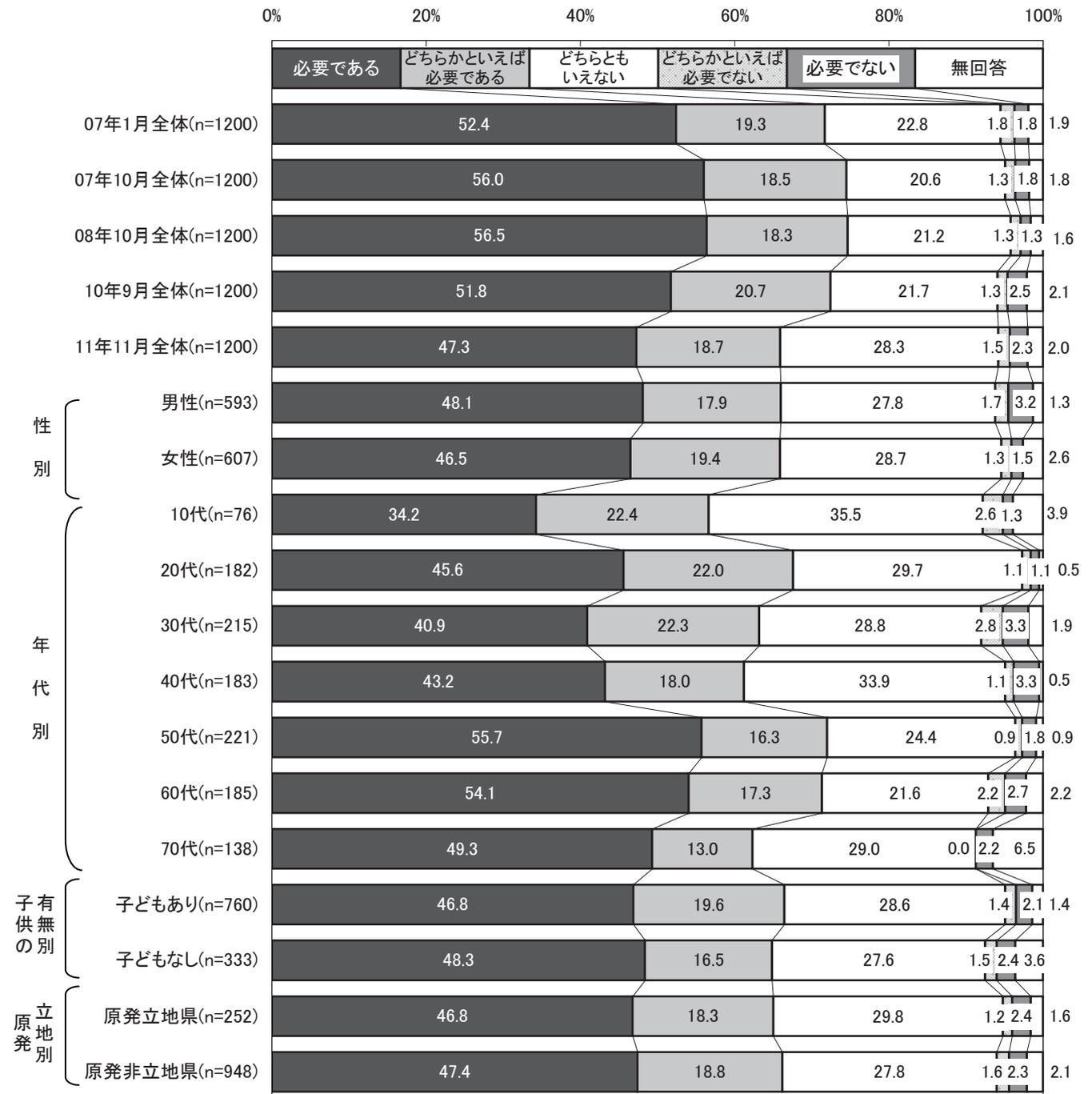
* 質問文「もっと訴えていくこと」は、10年9月まで「～もっとアピールすること」として聴取

●原子力広報評価～知識普及啓発活動のあり方②

「原子力の平和利用を広報する組織は、原子力の軍事利用の反対をもっと訴えていくこと」に対し、「必要である」という回答は47.3%、「どちらかといえば必要である」は18.7%。この考え方に肯定的な回答（「必要である」+「どちらかといえば必要である」）は66.0%で、前回と比較すると肯定的な回答の割合が約7ポイント減少している。
年代別にみると、「必要である」という回答は50～70代では5割前後であるのに対し、10代では3割台と差が大きい。

問10-f. あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。
あなたの考えに近いものをお選びください。(○はそれぞれ1つずつ)

【原子力の平和利用を広報する組織は、原子力の軍事利用の反対をもっと訴えていくこと】



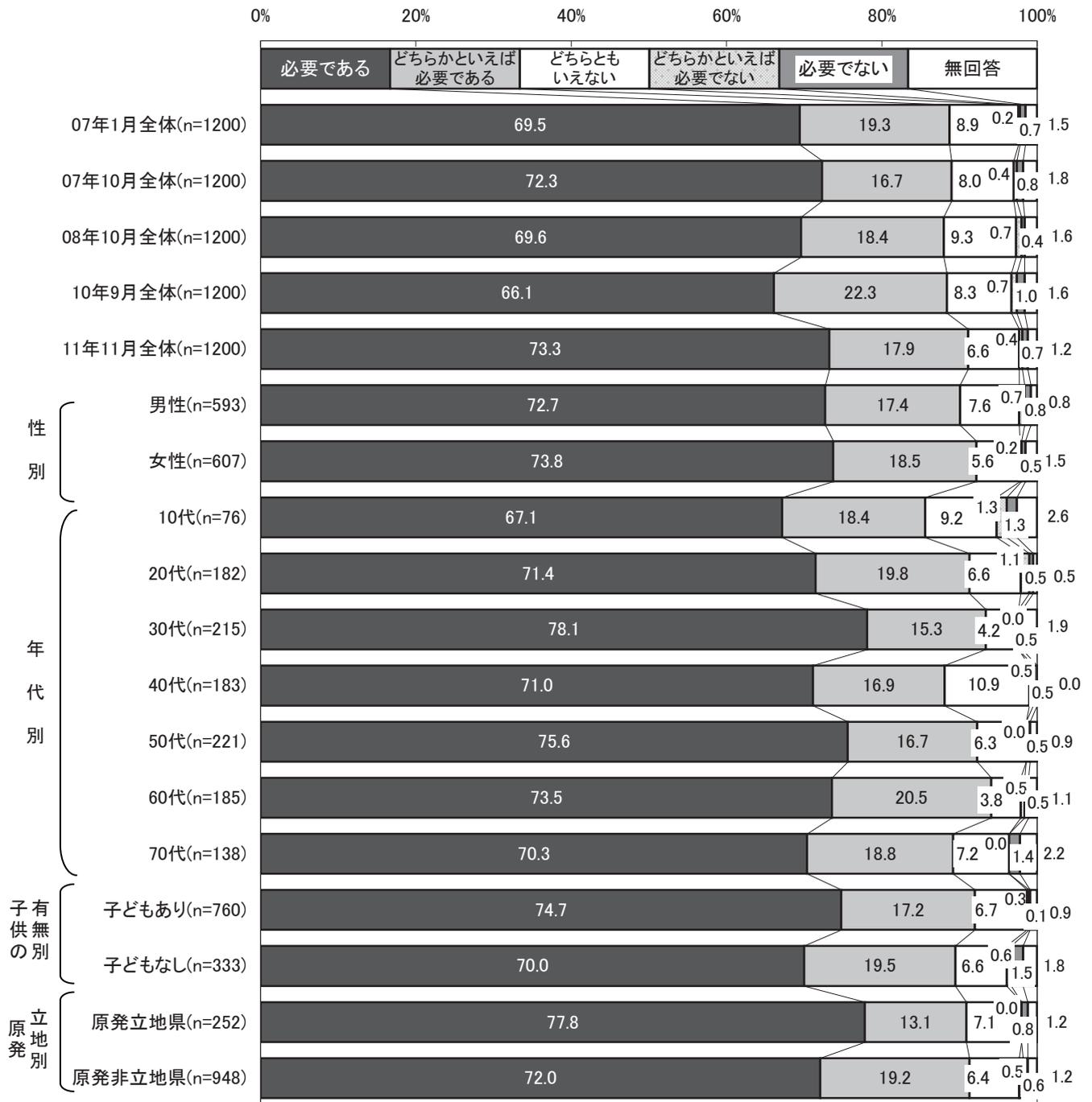
* 07年1月の選択肢は「そう思う／どちらかといえばそう思う」、07年10月は「必要である／どちらかといえば必要である」

●原子力広報評価～知識普及啓発活動のあり方③

「(原子力に関して)できるだけたくさんの情報が国民に届くようにすること」に対し、「必要である」という回答は73.3%、「どちらかといえば必要である」は17.9%で、この考え方に肯定的な回答(「必要である」+「どちらかといえば必要である」)は91.2%。前回と比べて「必要である」は、約7ポイント増加。
 年代別にみると、「必要である」という回答は10代を除くすべての層で7割を超えている。
 原発立地別でみると、「必要である」という回答は原発立地県で77.8%と高く、非立地県を5ポイント以上上回る。

問10-g. あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。
 あなたの考えに近いものをお選びください。(○はそれぞれ1つずつ)

【できるだけたくさんの情報が国民に届くようにすること】



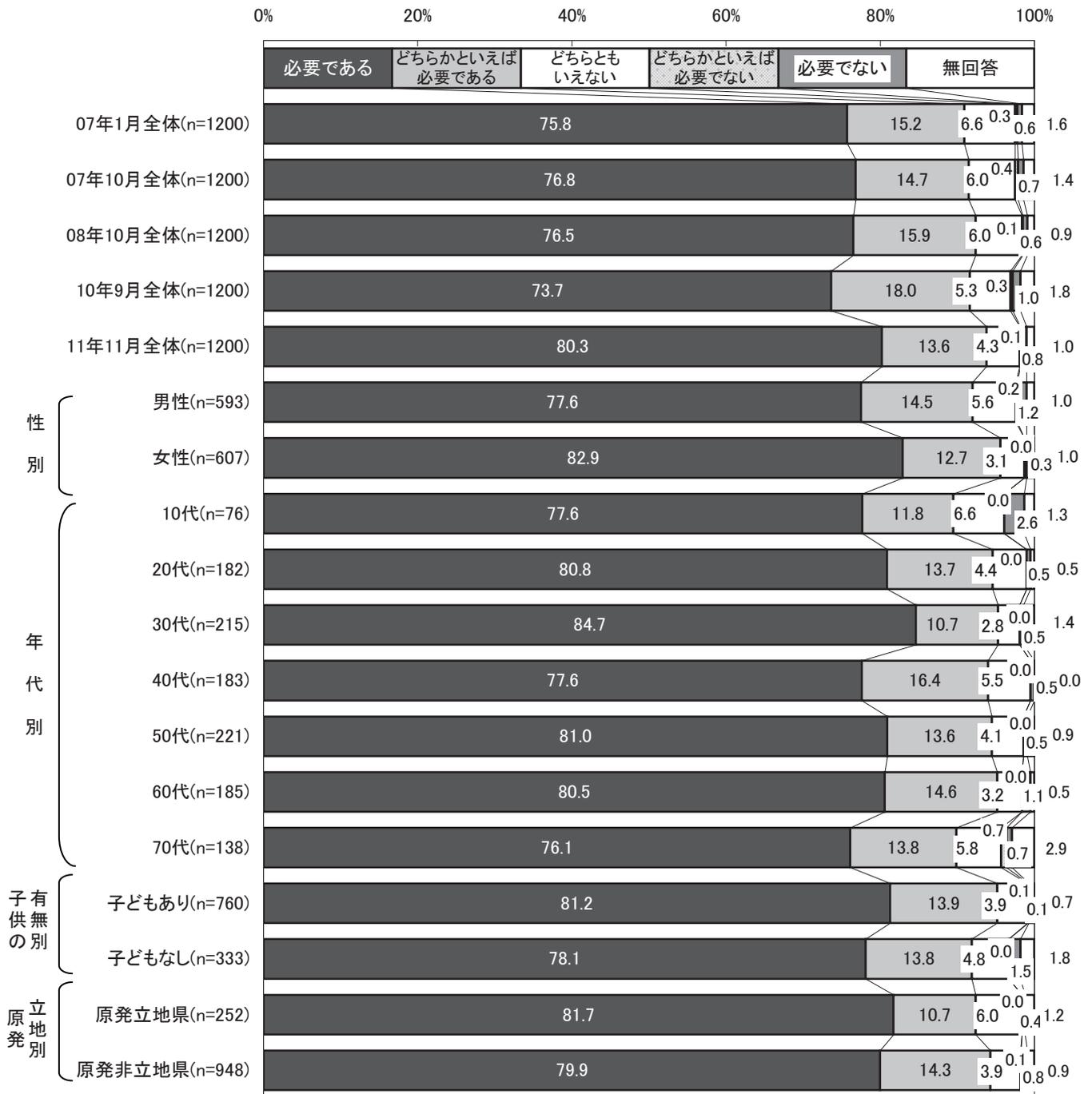
* 07年1月の選択肢は「そう思う/どちらかといえばそう思う」、07年10月は「必要である/どちらかといえば必要である」

●原子力広報評価～知識普及啓発活動のあり方④

「(原子力に関して)わかりやすく情報を伝えること」に対し、「必要である」という回答は80.3%、「どちらかといえば必要である」は13.6%。この考え方に肯定的な回答(「必要である」+「どちらかといえば必要である」)は93.9%。前回より「必要である」は、6ポイント以上増加。
性別でみると、「必要である」という回答は、男性(77.6%)に比べて女性(82.9%)の方が多く、5ポイント以上高い。
年代別でみると、30代で84.7%と最も高い。

問10-h. あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。
あなたの考えに近いものをお選びください。(○はそれぞれ1つずつ)

【わかりやすく情報を伝えること】



* 07年1月の選択肢は「そう思う/どちらかといえばそう思う」、07年10月は「必要である/どちらかといえば必要である」

●原子力広報評価～知識普及啓発活動のあり方⑤

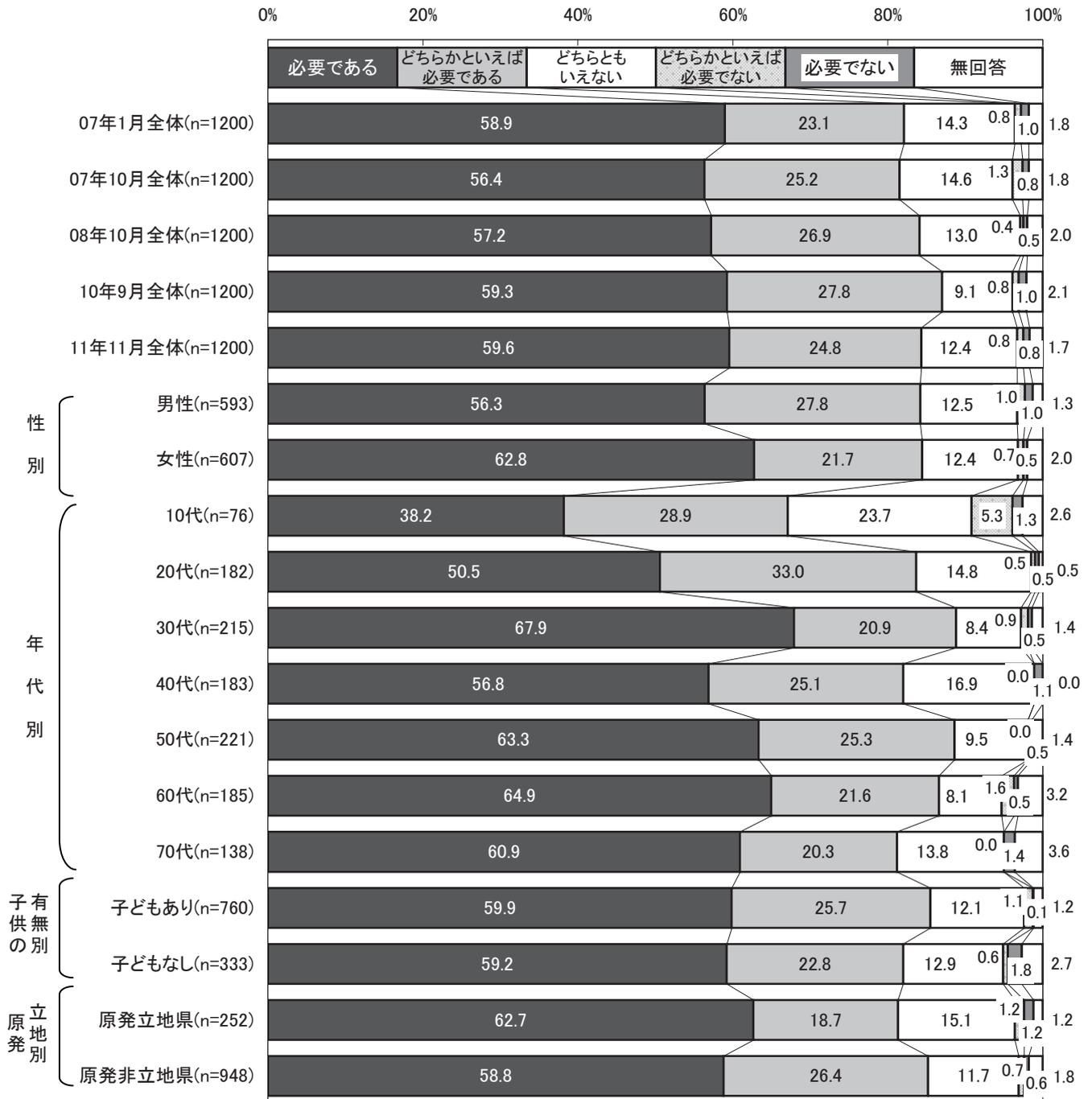
「(原子力に関して)学校の授業で教えること」に対し、「必要である」という回答は59.6%、「どちらかといえば必要である」は24.8%で、この考え方に肯定的な回答(「必要である」+「どちらかといえば必要である」)は84.4%。前回と比較して同水準のスコア。

性別で見ると、「必要である」という回答は男性(56.3%)よりも女性(62.8%)の方が5ポイント以上高い。

年代別で見ると、「必要である」という回答は30代で67.9%と高い割合であるのに対し、10代では4割に満たない。

問10-i. あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。
あなたの考えに近いものをお選びください。(○はそれぞれ1つずつ)

【学校の授業で教えること】



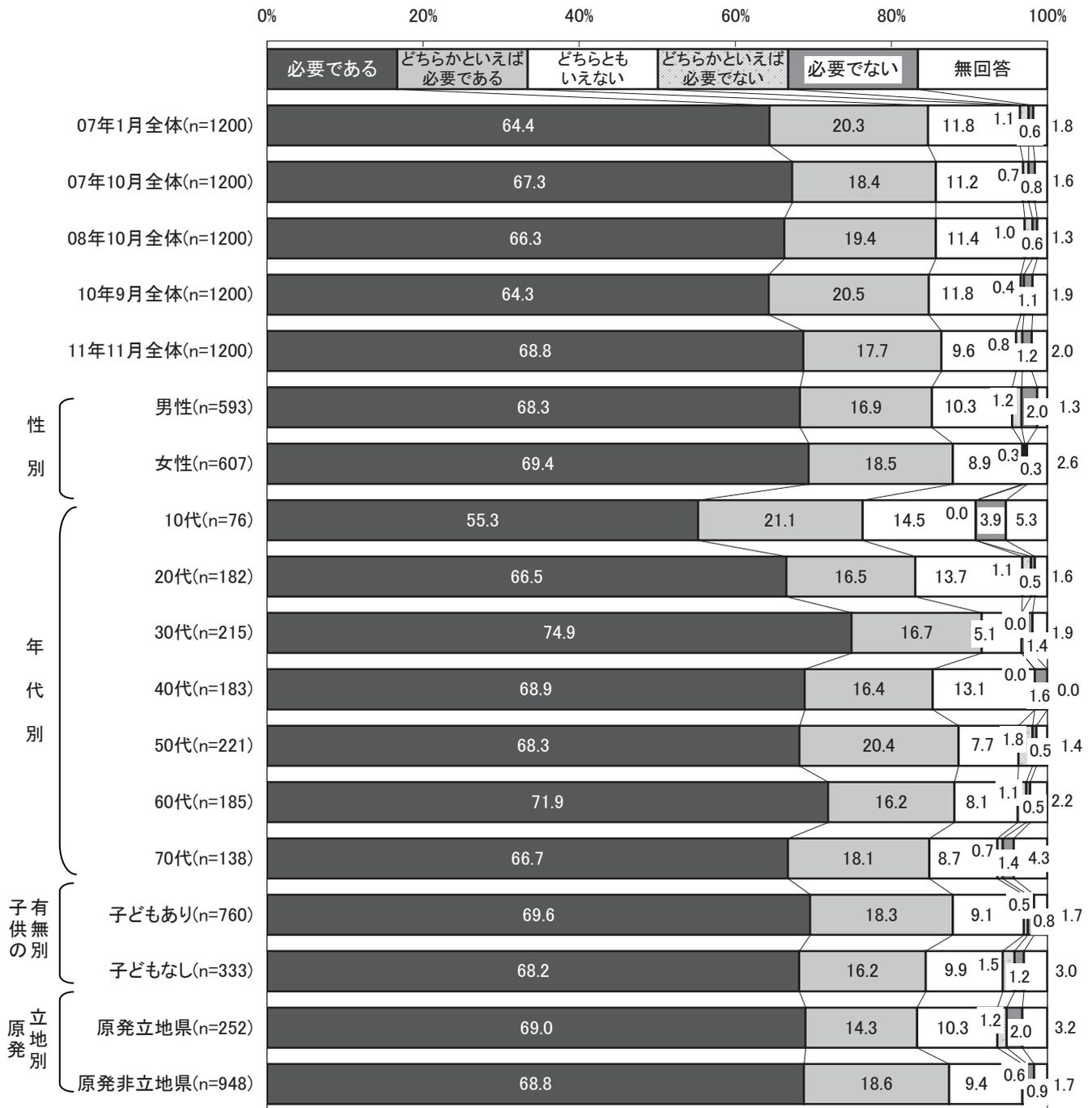
* 07年1月の選択肢は「そう思う/どちらかといえばそう思う」、07年10月は「必要である/どちらかといえば必要である」

●原子力広報評価～知識普及啓発活動のあり方⑥

「(原子力に関して)些細なことでも隠さず伝えること」に対し、「必要である」という回答は68.8%、「どちらかといえば必要である」は17.7%で、この考え方に肯定的な回答(「必要である」+「どちらかといえば必要である」)は86.5%。前回と比較して、ほぼ同様の水準。
年代別でみると、「必要である」という回答は30代と60代で7割を上回る。

問10-j. あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。
あなたの考えに近いものをお選びください。(○はそれぞれ1つずつ)

【 些細なことでも隠さず伝えること】



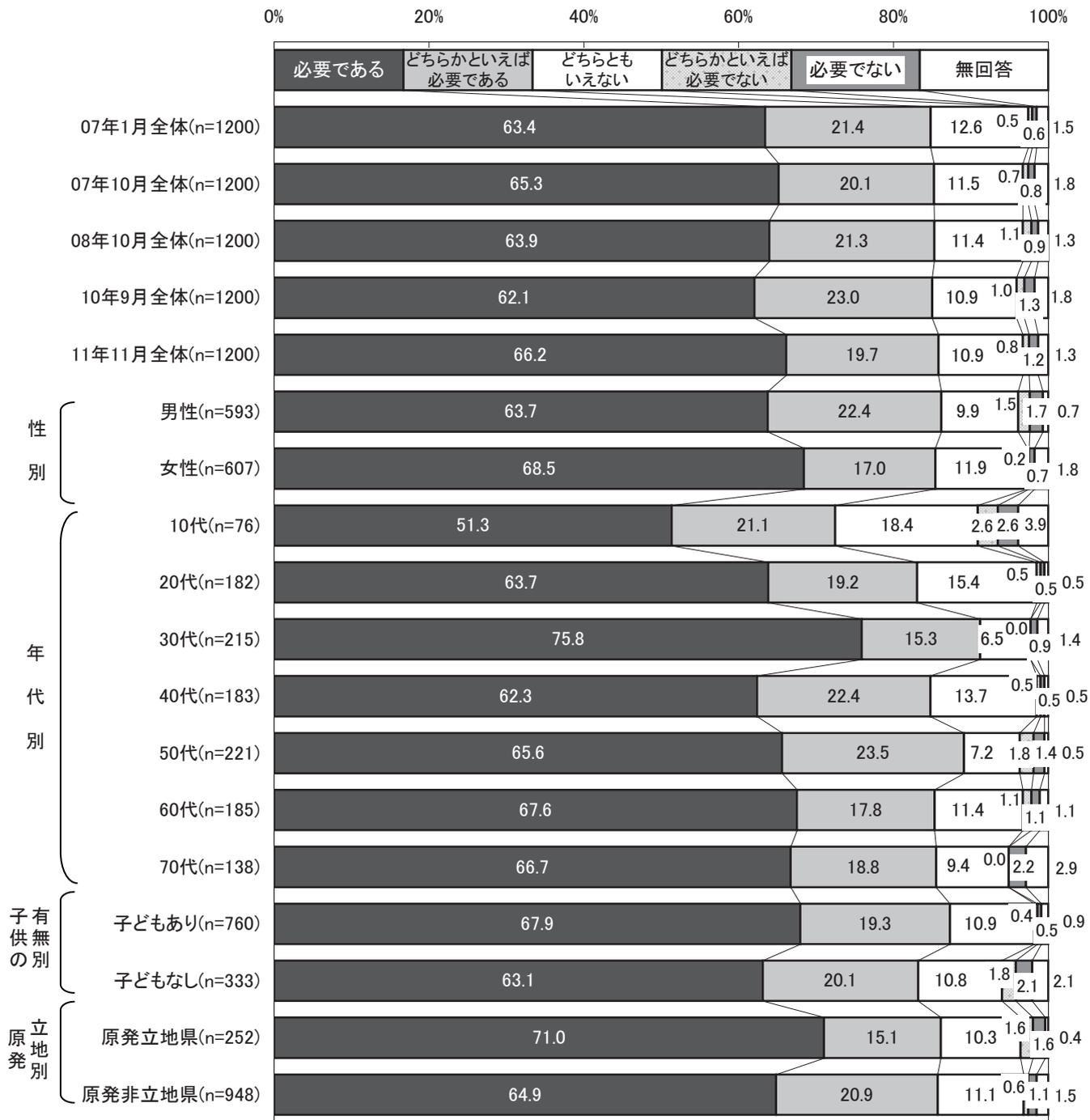
* 07年1月の選択肢は「そう思う/どちらかといえばそう思う」、07年10月は「必要である/どちらかといえば必要である」

●原子力広報評価～知識普及啓発活動のあり方⑦

「(原子力に関して)都合の悪いことでも情報を外部(マスコミや国民など)に伝えること」に対し、「必要である」という回答は66.2%、「どちらかといえば必要である」は19.7%で、この考え方に肯定的な回答(「必要である」+「どちらかといえば必要である」)は85.9%。前回と比較して、ほぼ同様の水準。
 年代別でみると、「必要である」という回答は30代で75.8%と最も高い。
 原発立地別でみると、「必要である」という回答は非立地県(64.9%)より立地県(71.0%)の方が約6ポイント上回る。

問10-k. あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。
 あなたの考えに近いものをお選びください。(○はそれぞれ1つずつ)

【都合の悪いことでも情報を外部(マスコミや国民など)に伝えること】



* 07年1月の選択肢は「そう思う/どちらかといえばそう思う」、07年10月は「必要である/どちらかといえば必要である」

●原子力広報評価～原子力やエネルギーに関する情報についての所感

原子力やエネルギーに関する情報について感じることを自由に記入してもらった結果は以下の通り。

問24. 原子力やエネルギー、放射線、またこれらに関する情報源、情報発信の手段などに対するお考えがあればお書き下さい。(ご自由に)

回答内容
(1)これら情報の管理や発信は、国や当事者や協力関係先以外の第三者機関が行うべきである。(2)時系列的な数値やマップ、グラフなどはDB化し、インターネット上に公開するのが有効である。(男性、70歳、東京)
「情報は公開すべき」という人がいるが、自分はこれに賛同できない。知識のない私達に、細かいことを知らせても、理解できない場合が考えられるし、余計な恐怖をあおり、更に混乱してしまうと思うからだ。(女性、17歳、秋田)
・情報をわかりやすく伝えること。・小・中学校等で子供達にもわかりやすい情報の授業をすることが大切だと思う。(女性、40歳、埼玉)
・テレビ、ラジオ、新聞での情報。・国がその度、情報を発表する。・市町村が毎日、放射能の値などアナウンスする。(女性、48歳、神奈川)
・電力会社の経営陣の姿勢がなっていない、隠そう隠そうとしている。・原子力安全委員会等が機能していない。(男性、77歳、岐阜)
・放射線イコール原発と考える方が多い様なので、国(専門家)がきちんと説明すべき！・自然エネルギーをといいつつ、その自然を壊し生態系を変えてはいけぬ…と思います。・今までさんざん原子力エネルギーの恩恵を受けておきながら、いざ事故が起こるとたんに悪者扱いされるのは原子エネルギーや関わってきた方々に気の毒だと思う。人はエゴじゃ！原子力反対～！という方々は、自分からきちんとエコ生活してから反対～と言って欲しい。(女性、53歳、東京)
①利害関係にとらわれず、安全安心を叶える管理体制を構築してもらいたい。②将来を見据えた安全な都市計画を設計、施工して欲しい。その際は特にエネルギーのみにとらわれず、せめて社会インフラ全般を視野に総合的なバランスに気配りしてもらいたい(※日本的縦割り行政の壁は絶対排除した上で…)。(男性、57歳、東京)
TV(男性、35歳、新潟)
TV、新聞で、正しい情報を早く正しく伝えてもらいたい。良いことも、悪いことも、適切にわかりやすく伝えてもらいたい。(女性、50歳、和歌山)
TVとか新聞からの情報になっているが関係者は偏らない情報を流して欲しい。隠されていることがたくさんあると大いに感じるから。(女性、79歳、岩手)
TVのCM(AC)などを利用して、放射線の情報を得る機会を増やして欲しい。(女性、29歳、千葉)
TVのニュースは信用できない。ネットも信用できない。圧力を感じる。(男性、44歳、広島)
yes、noの両極ではなく段階的に原子力発電を廃止すべき。原子力にける予算は他の自然エネルギーの研究、実用化にわけるべき。政治、専門家、役所に対しての不信感もあるがマスコミの偏向報道もうんざりする。(女性、44歳、埼玉)
あのような大事故を起こした原発を見直していくのは当然のことである。日本のためだけでなく、世界のために。他の原発も安全であるとはいきれないし、現在の人間の力ではどうすることもできない放射性廃棄物を作り続け子孫たちにつけを残すようなことは、一刻もはややくめるべきである。政府の要請を受け浜岡原発を停止させた中部電力は、評価できるのでそれを継続して欲しいし、他の原発も強い指導力をもって停止させることを望む。でも、その代わりに、私たちが今までのような電力使いつぱなしの生活を改めていく覚悟がある。夜遅くは店をしめるなど。(女性、50歳、愛知)
改めて原発の恐ろしさを実感しました。(女性、75歳、栃木)
ある程度の知識があれば生活に支障はない。従って現在の新聞、テレビ、インターネットで十分です。(男性、53歳、福井)
安全、安心。(男性、41歳、奈良)
安全性を一番に。情報は包み隠さず公表すべき。(男性、28歳、東京)
安全と言うなら国会議事堂の地下にでも埋めてくれ。(男性、25歳、千葉)
安全に絶対はないので、原子力はやめた方がいい！？(男性、64歳、埼玉)
いくらエネルギー不足と言っても処理できない物質を作り出すエネルギーには反対です。そのつけは必ず後になって出てくると思います。マスコミも一つの問題点に集中して非難するだけではなく、一緒に解決の糸口を探す努力をした方がいいと思います。(女性、51歳、群馬)
以前から安全保安院について(つまり国)国民の側に立っているか、疑問であった。原子力発電所には設計年限(初期のもの30年)があり、それに沿って廃炉すべき。巨大技術では何が起こるか分からない。(男性、69歳、福岡)
いつまで続くかわからない放射線に対しての問題。気にはなるけど、生活もしていかなければならない現状。子供達が大きくなるに連れて(何年、10年、20年)病気に発症していなければ良いのだが、今後のことが心配です。テレビで情報を細かく知らせていただければ幸いですね!!(女性、45歳、宮城)
今、すぐにやめることはできないと思いますが、危険をとまなう作業で体を悪くする人も多くいると聞きます。なるべく原子力に頼らない電力を望みます。(女性、48歳、千葉)
今まであまり考えたことはなく、福島での事故で初めて知ることも多かったです。中部圏に住む者としてはあまり興味はなく、TVで難しいことを話されても理解できません。1号機がどうのこうの…ということは全くわからないので、自分たちの住む地域がどういう状況なのかだけ伝えてくれたら良いです。(女性、30歳、三重)
今迄はあまり原子力の危険性は報道されなかったがもっと原子力の良し悪しを報道して国民の判断を仰ぐべきだと思う。(女性、72歳、東京)
色々な事を言われていますが、どれもはっきり言ってわかりません。(女性、70歳、東京)
いわゆるマスコミの報道姿勢に疑問。役割を果たしていない。(女性、55歳、東京)
インターネット(男性、19歳、愛媛)

●原子力広報評価～原子力やエネルギーに関する情報についての所感

原子力やエネルギーに関する情報について感じることを自由に記入してもらった結果は以下の通り。

問24. 原子力やエネルギー、放射線、またこれらに関する情報源、情報発信の手段などに対するお考えがあればお書き下さい。(ご自由に)

回答内容
インターネットで、デマの広がりや、風評被害の恐ろしさ。(女性, 52歳, 秋 田)
インターネットや新聞等によって、定期的に情報の提供を行う。(男性, 49歳, 広 島)
インターネットを使って、発信して欲しい。“you tube”など。(女性, 52歳, 埼 玉)
嘘が多い。TVに出てくる各界のトップがしていることすべて今の子供たちには悪影響になるから嘘は止めて欲しい。(男性, 77歳, 岩 手)
嘘をつかないで情報を発信して欲しい。(女性, 66歳, 岩 手)
うまく言葉で表せない。(女性, 64歳, 北海道)
エネルギー、電力は必要であり、私たちの暮らしの大切な要素となっているので、これから先のことを考えると安定した安全なエネルギーに対して、いろいろ情報(TV、新聞)などで得て、自分なりの生活の仕方を考えていきたい、便利であることばかりにとらわれたくない。(女性, 60歳, 岡 山)
エネルギーとしては、必要と思うので、もっとわかりやすく教えて欲しい。(男性, 38歳, 秋 田)
エネルギーの確保について、もっと国をあげて、取り組む必要があると感じます。(男性, 40歳, 東 京)
オープンにする事。(女性, 64歳, 千 葉)
起こしてはならない、とてつもない大事故を起こしておいて、安全管理を誰に委ねるかなど、考えもつかない。解毒剤のない毒薬をどう扱うかなど、根本的なことから見直し、管理できないものは即刻中止すべきと考える。原発停止に向けての工程表を考えるべきと思う。(男性, 53歳, 宮 城)
科学的でない反応や便乗した過剰反応も多く、報道機関も無責任にそれをあおっている。結果、風評被害の拡大など二次被害を拡大している。厳罰に処すなど規制が必要。(男性, 71歳, 神奈川)
隠さずすべて話してほしい!(女性, 39歳, 岩 手)
隠し過ぎ。(女性, 60歳, 徳 島)
関東に娘一家が生活しているので、テレビの情報をよく気にしてみている。子供達の健康がとても気になります。(女性, 63歳, 愛 媛)
国の組織である、保安院が保身主義で信用できない。また今回のようにパフォーマンス中心で、真のリーダーがいなかったのが残念!(男性, 68歳, 兵 庫)
国の発表の情報源は訂正が多く正確な情報が得られないのが残念。(男性, 52歳, 埼 玉)
国や行政の情報源は信頼できません。私たち一人ひとりができることを考えなくてはならないのかもしれないかもしれませんが、新しいエネルギーに関して、今の利益ではなく、将来を見据えたこと地球環境全体で考えることが必要ではないかと思います。(女性, 50歳, 新 潟)
原子力は安全面で無理があるので、すべて廃止すべきだ。(男性, 64歳, 愛 知)
原子力は現代社会の発展の為に必要なものと思うが、一番大切なものは(生命)人間または生きとし生きる動物、植物の命だと思う。このことが地球より重いと思いました。(女性, 70歳, 福 岡)
原子力は怖い。しかし怖いものを遠ざけることで解決できる程、生活の浅い所にある訳ではない。やみくもに否定する人はおろかだと思う。(女性, 21歳, 兵 庫)
原子力は利用すべき。オープンにして。(男性, 70歳, 神奈川)
原子力発電を止めろと言うのはいいが、他に原発で足りなくなった発電量をどうするのかと言う代替案を言って欲しい。また、もっと政府は対応を早くするべきだ。(男性, 19歳, 福 岡)
健康への不安がある。政府の安全への対策が全くダメ。情報公開をもっとすべき。(男性, 39歳, 東 京)
現在において、信頼できる情報が無い。色々な情報を見聞きして自分で判断するしか方法がない。(男性, 39歳, 東 京)
現在はTV、新聞に限られているが、国のエネルギーに関する広報誌の発行を願いたい。それを自治体経由で広く国民に周知させる努力が必要。また、中学の教育における課題も必要。(男性, 70歳, 北海道)
現在はまだ原子力の平和利用に対する安全性が確立していない為に、全世界の頭脳を結集して安全性を高めると共に、将来性には技術的な絶対安全性に持っていきべきであろう。研究により達成は可能と考えます。期間等はいまだ不明でありますか????(男性, 71歳, 北海道)
原子力エネルギーに頼らないニューエネルギーの開発に、国家予算を設けて真剣に研究して欲しい。(男性, 67歳, 東 京)
原子力エネルギーを制御できる手段の確立への研究。(男性, 64歳, 東 京)
原子力が私たちの生活を便利に豊かにしていたのは事実だと思いますが、今回の震災によって起きた事故は、やはり色々な面でダメージが大きかったと思います。すべてを原子力に頼っているわけではないにしても、新しいエネルギー、他のエネルギーの開発がすすめばいいなと思います。ただし新しいエネルギーであればなおのこと、安全面などをしっかり調査し、情報の公開などをしっかり国民に届くようにしてもらいたい。(女性, 32歳, 神奈川)
原子力等(医療分野含む)を考える時、核物質の最終処分まで考えてから行動をおこすべき(安全な最終処分までの道筋が描けるまで、行動すべきではない)。(男性, 67歳, 長 野)
原子力なくて、電気は作れないと思う。(男性, 63歳, 埼 玉)
原子力に代わるエネルギー源がすぐには出てこない。不安や危険に対する情報(安全)を第三者(大学等)からもっと発信すべき。(男性, 52歳, 千 葉)

●原子力広報評価～原子力やエネルギーに関する情報についての所感

原子力やエネルギーに関する情報について感じることを自由に記入してもらった結果は以下の通り。

問24. 原子力やエネルギー、放射線、またこれらに関する情報源、情報発信の手段などに対するお考えがあればお書き下さい。(ご自由に)

回答内容
原子力の事故が起こってから原子力反対の主張をよくメディアで見えるようになった。普段から賛成も反対もメディアに出ている必要があり、今さらどこが悪い、良いと言われてもどちらも信用できない。極端すぎてどの情報も信用できない。(女性, 19歳, 北海道)
原子力は、安全面に十分配慮しながら、これからも活用していくべき。(男性, 64歳, 千葉)
原子力はあまりにもリスクが大きすぎる。はっきりと決別すべき。人類にも及ばないものがあったとしても良い(自由にならない)。(男性, 55歳, 広島)
原子力はいらぬ!!!(男性, 39歳, 北海道)
原子力はすぐにやめること。太陽発電、水力発電、地熱発電、風力発電に切り替えること。(男性, 50歳, 長野)
原子力発電所事故の際、政府の専門機関の情報への信頼性が感じられませんでした。現場からの直接的な情報が欲しいと思いました。(女性, 30歳, 東京)
原子力発電は100%安全になるまで利用しない。特に日本の地形、地盤から考慮すると、近い将来含めて安全な利用技術確保は困難と思う。それでは原子力発電に頼る電力事情を、どのようにこれから原子力に変わるものとして備えるか、①原子力を除く、有限エネルギーでの生活に向かう方針、実施を！②①をやりやすくする為にあらゆる改善を実施。(男性, 68歳, 山梨)
原子力発電はすべて停止！(男性, 46歳, 北海道)
原子力発電は必要不可欠と考える。今回の災害を授業料として、世界に誇れる原発の安全システムを構築することこそ日本の技術力の証明となる。何でもかんでも否定的なジャーナリストに情報公開する必要はない。きれいごとのみのニュースキャスターにはほとんど嫌気がさしている。情報公開はNHKのみに行ってはどうか。現実的なことも考えての報道が必要である。甘えきっている被災地の住民への批判も正々堂々と報道してはどうか。復興は自分の手で行うものだ。激甚災害の法令文も報道し、現地公務員の指導力、行動力のなさも批判する必要がある。(男性, 47歳, 愛知)
原子力は日本のような小さく、被曝経験もある国では不要だし、使用してはいけなと思う。すごく不便になったとしても、日本から原子力がなくなることを祈る。(女性, 25歳, 東京)
原子力は人間の扱える物ではない。(男性, 44歳, 愛知)
原子力は有事の時にあまりにもリスクが大きい。環境・健康・食品等、被爆国である日本がもっと原子力に対して慎重であるべきで、想定外という言葉で片付ける体質に問題がある。もっと国民の側に立った情報、国民を守るという国の体質にならないといけなと思う。(男性, 42歳, 山形)
原子力反対(男性, 39歳, 東京)
原子力利用反対(男性, 22歳, 東京)
原子力を推進する側からの情報では、信用できない。(男性, 39歳, 愛知)
原発事故に対する報道もずいぶん少なくなって、大阪と離れた所に住んでいるので、いろいろ感じるものが、少なくなりました。もっといろいろな問題があるはずなので、いろいろな方向からの報道があればいいのと思います。(女性, 46歳, 大阪)
原発反対派も含めた、監視委員会等、ガラス張りにするべき。(男性, 53歳, 愛知)
原発について…研究レベルでは、続けるべきだが、実用(原発稼働)はやめるべき。リスクが大きすぎる。(女性, 62歳, 兵庫)
原発は廃止の方向で考えるべきだが、原発の技術を維持するため数基は残すべき。また、核兵器作製の可能性も含めて原子力技術は高めてもらいたい。(男性, 34歳, 東京)
高齢者でもわかりやすい文で、ページ数が少なくてもノートくらいのもので、行政区に配布していただければありがたいです。(女性, 69歳, 茨城)
国民のことを第1に思ってやって欲しい。(男性, 42歳, 東京)
言葉が難しく、理解するのに時間がかかるので、メディアや専門の人達は、もっとわかりやすく説明して欲しい。(女性, 40歳, 埼玉)
このまま原子力を使わず、他のエネルギー源のみで、エネルギーを得ていくのは安全だが、衰退だと思う。原子力を完全に支配し、人間が100%操れる知識を得てから使用すべきだと思う。(女性, 32歳, 滋賀)
細かい放射線量の公開をして欲しい。(男性, 51歳, 神奈川)
細かな現状についての情報でなく原子力やエネルギーといったものについての根本的考え方、情報について皆で考えていく姿勢が必要。例えば原子力を利用した場合の最終的な廃棄物処理はどうなるのか、どんな方法が考えられるのかといったようなこと。(男性, 61歳, 福井)
これからの子供達が幸せに生きられることが最優先であることを前提に、すべてのことを決めて欲しいし、自分もそう考えて生きたい。(男性, 59歳, 福岡)
今回の大震災では情報公開の遅れや、あやふやな情報が多かったのできちんとしたルールを作り国民に報告すべきである。(女性, 51歳, 埼玉)
今後は、脱原発の方向で考えて行くべき。また、電力は自然エネルギーをもっと積極的に取り入れ、安心・安全であって欲しい。(男性, 26歳, 神奈川)
最近テレビ等でもよく見ますが、やはり難しいと感じます。(女性, 60歳, 鹿児島)
最新の情報をきちんとホームページなどすぐに発信して、いつでも見られるようにして欲しい。(男性, 43歳, 千葉)

●原子力広報評価～原子力やエネルギーに関する情報についての所感

原子力やエネルギーに関する情報について感じることを自由に記入してもらった結果は以下の通り。

問24. 原子力やエネルギー、放射線、またこれらに関する情報源、情報発信の手段などに対するお考えがあればお書き下さい。(ご自由に)

回答内容
様々な情報のうち、どれが真実なのかわからない。(男性, 20歳, 東京)
事故が起きてしまえば、国や企業の信用はなくなる。そのため、平常時に国や企業はその地域の住民の信頼を得られる「専門知識を持った民間人」を育成すべき。(男性, 21歳, 神奈川)
事故の収束を早急にして欲しい。(男性, 62歳, 北海道)
事故の処理が、遅々として進まないのが辛い。日本の能力を駆使すれば、もっと早くできる気がするけれど、どうにもならないのだろうか。原子力は必要だと思う。(女性, 59歳, 愛知)
事実をオープンにする姿勢が重要だと思います。(男性, 57歳, 熊本)
地震の震源地の上に原発を建てたり、核廃棄物をもともと処理できないのに原発を40基も作ったりどうして原発に依存したのか理解できない。安全であって初めて利用できるものであって欲しい。地熱や波のエネルギーなど新技术を開発してもらいたい。100円ショップであれだけいろいろ作れるのに、エネルギーだって技術競争すればすぐできるのではないか？(女性, 44歳, 神奈川)
地震の時のテレビのACのコマーシャルのように、自然に入ってくるような手段。(女性, 50歳, 千葉)
自然の力をもっと大切に利益でなく安全に。(女性, 57歳, 長野)
しっかりと情報統制と正確な情報開示。独占している電力会社への第三者の監視。(男性, 35歳, 静岡)
自分の近くには、発電所がないので、不安なところは、多くあると思うがなかなか身近に感じてないので、もう少し、わかりやすく教えて欲しい。(危険性、安全性)(女性, 44歳, 岡山)
収束までに、どれくらい時間がかかるのか心配。(男性, 31歳, 京都)
需要に対してのエネルギー源が確保できるなら何でも良い。現状はまだ原子力エネルギーなしでは足りない。批判する前に対策を検討すべき。また、現代社会はエネルギーががかり過ぎ。ろうそくで暮らす生活なら、原子力はいらぬはず。(男性, 36歳, 大阪)
正直に！(男性, 47歳, 東京)
正直に伝えて欲しい。(女性, 72歳, 茨城)
情報が、一部の専門家、占有されていた。そのことが事故を機に、明るみに出たが、非公開体質改善されていない。(男性, 72歳, 兵庫)
情報が不十分な部分が多いので、週刊誌などを読むととんでもない事が多く書いてあるので、信頼できる知識をどこから得れば良いか不安。(女性, 58歳, 東京)
情報源は、絶対に信用性のあるものにして欲しい。(女性, 40歳, 三重)
情報源はマスコミのみで、手段等は他にありません。(男性, 72歳, 石川)
情報公開が後手後手で信頼ができないこと。(女性, 69歳, 東京)
情報公開を確実に。(男性, 56歳, 埼玉)
情報そのものが本当なのか疑うようになっていたので、1つの情報に対して何通りかの専門家の意見を知りたいと思います。新聞を一番信用してしまいます。何社か読むと考えさせられます。(女性, 39歳, 山形)
情報と言うことで言えば、過去の具体的な検証も提示しながら事実を最新の情報で、できるだけ細かに知ることができれば良いと思いますし、偏らない様々な視点で知りたいと思います。(女性, 50歳, 広島)
情報の発信について、国民にわかりやすく全ての人々に伝わるような方法や仕組みを考えて欲しい。特に問題が起こった時の、各部署のなすり合いは最低。(女性, 68歳, 奈良)
情報発信を数多くして、必ず、国、自治体の結論付けを実行する事。(男性, 64歳, 滋賀)
情報は何に対しても公開すべき。(女性, 47歳, 兵庫)
情報を開示すべき。(男性, 19歳, 山梨)
将来に核のゴミをこれ以上増やさないためにも原子力発電から日本は手を引くべきだと思う。これからも大きな地震がある可能性が高く、福島のような原発があれば日本は滅びると思う。子供たちのためにも日本は今決断すべき時だと思う。(女性, 51歳, 栃木)
将来の研究に頼る原子力のようなエネルギーからは、脱却して、太陽光、風力や水力といった、自然を上手に利用していくべきだと思う。原子力については、以前、タレントや知識人を起用した、コマーシャルを放送していたが、デメリットについては、十分に伝えていないと思う。自分の周りでも、何も知識がない人が多くいるし、自分も知らなければならぬことはたくさんあると思う。それに、シンポジウム等でのやらせも、記憶に新しい。原子力を正とする側からの情報源は、正直あまり信用していない。(女性, 34歳, 長崎)
将来の子供たち(奇形児が生まれるとか)への影響が心配。(男性, 18歳, 岩手)
情報が遅過ぎる。(男性, 75歳, 埼玉)
情報が本当に正しいか判断しにくい。確実な情報を入手できる機関があればいい。(女性, 32歳, 東京)
震災の時に首相や大臣を通じての発表や経過報告をずっとTVで見っていたけど、それまでのロスタイムが不満だった。専門の独断でもいい。現地はもっと早い指示を待っていたはずだし、助ける命や防げる被害ももっとあった。どこまで行けばいいか事前に知ればいい。浜岡原発で何かあったら自分達はどこへ行けばいいかさっぱりわからない。(女性, 25歳, 静岡)
震災前、原子力の研究者たちは「安全」を前提とし、原子力の危険性について議論するのはタブーとなっていたとテレビのニュースで聞いた。今後は現在の福島第一原発の姿を見据えて、国益、経済、企業利益などには反する形であっても、地震などのリスクを十分検証した上で研究者たちは原子力発電について議論して欲しい。(女性, 45歳, 北海道)

●原子力広報評価～原子力やエネルギーに関する情報についての所感

原子力やエネルギーに関する情報について感じることを自由に記入してもらった結果は以下の通り。

問24. 原子力やエネルギー、放射線、またこれらに関する情報源、情報発信の手段などに対するお考えがあればお書き下さい。(ご自由に)

回答内容
真実を速やかに知りたい。(男性、25歳、茨城)
迅速に正直に全てを公開して欲しい。(男性、30歳、京都)
新聞やテレビ等で、詳細な記事を報道して、定期的にどのようになっているかがわかると良いと思う。(男性、56歳、山口)
新聞やテレビをつけていると、毎日のように情報が入ってきているので未来ある子供達が安心して暮らしていけるようにして欲しい。(女性、60歳、宮城)
推進派も反対派もイデオロギー的な発表が多く、少なくともTVは情報源としては偏りすぎている。インターネットで自分で正しいと思われる情報を探す方が良いと考えている。(男性、37歳、北海道)
すべて専門家の方がわかりやすく情報を発信して素人は誤った発言をすることがあるから口を出さないで欲しい。(男性、24歳、岩手)
すべての情報の公開をして頂きたいです(つつみ隠さず)。(女性、29歳、佐賀)
全ての情報を開示する必要はなし！但し、利害関係のない専門家の判断が必要。(男性、54歳、愛媛)
すべてを公開するべき。(女性、51歳、山梨)
正確な情報の伝達。(男性、76歳、愛知)
正確な情報を公表して欲しい。(女性、35歳、宮城)
正確な情報を早く出して欲しい。(男性、44歳、福岡)
正確な情報を早く出すようにしてほしい。(男性、30歳、千葉)
生活や健康に関わることで、なるべく正確にタイミングも見極めて情報発信して欲しいと思う。(女性、31歳、島根)
政治家、企業上層部の責任所存を明確にして、問題解決に支障がないようにして欲しい。(女性、39歳、大分)
政府、電力会社は、もっと正確に情報を公開すべきである。(女性、44歳、福島)
政府、東電、専門委員会が一本にならないと、ごちゃごちゃし過ぎるし、本当に専門家が入っているのか？(女性、70歳、大阪)
政府・電力会社にしろ、もっと本当のことを。後で変わる。今でも。(男性、56歳、福岡)
政府などがきちんと正しく隠すことなく情報を伝えないので、色んなことを言う人が出て、よくわからなくなってしまったのだと思います。とにかく正確な情報が欲しいです。(女性、49歳、千葉)
政府の情報発信、東電の情報発信には大変不満です。(男性、41歳、神奈川)
政府の正規チャンネルをつくる。(男性、29歳、宮城)
政府は学者などの指示に従うべき。(男性、56歳、神奈川)
政府はより確かな情報を早く公開するべきだ。まずは地域住民の安全、安心を優先させるべき。(男性、32歳、福岡)
全国民に届く発信の方法を検討して欲しい。(男性、53歳、福岡)
専門家によって正逆の意見があり、信頼に欠ける。国がしっかりと集約し、速やかに方向性を出すべき。(男性、53歳、大阪)
専門用語が多く、わかりにくい。もっと、わかりやすい説明。(女性、32歳、愛知)
専門用語は一般人にはわかりにくいのでわかりやすく伝えて欲しい。(男性、29歳、石川)
専門用語を使った情報が多くてわかりにくい。もっとわかりやすい言葉で伝えて欲しい。(男性、21歳、東京)
対策の甘さ、不確実(政治家はダメ)。すべて原点に戻り対策。日本国土の利点を活かせ。(男性、75歳、千葉)
太陽光発電が安く設置できると良い。(女性、31歳、埼玉)
太陽光発電や風力発電に切り替えたら良いと思う。太陽光の場合には、各個人住宅、会社の屋根に設備する費用を国がもっと補助するように。(女性、72歳、福岡)
正しい知識を持たない人が、情報の発信源になるのは不快だ。(男性、50歳、神奈川)
誰も責任を取らない。この無責任な日本人に誰がいた。東京電力は一旦国有にすべし。(男性、70歳、東京)
地域情報誌にシリーズ化する、等。(男性、43歳、大阪)
できるだけニュースや新聞等で情報を集めようとは思っていますが、専門家の間でも言うことが違って、誰を信じたらいいのかわからないです。専門家の間で何が正解なのか意見をまとめて大々的に発表してもらえたらいいのに、と思います。(女性、23歳、大阪)
テレビ(女性、38歳、富山)
テレビ、インターネット、雑誌(男性、45歳、神奈川)
テレビ、新聞記事で知る。(女性、69歳、山形)
テレビ、特に民放は全く信用していない。(男性、38歳、愛知)
テレビ、ラジオ等で、放送する。(男性、59歳、愛知)
テレビだけでなく、新聞等、各家庭に伝達すべきである。(男性、68歳、福島)
テレビなどで、もっとわかりやすく情報を流して欲しい。(女性、35歳、大阪)
テレビなどでの情報が少なくなっているように感じます。大切なことなのでもう少し時間をとって情報を教えて欲しいと思います。(女性、55歳、広島)
テレビの情報は偏っていて、しかも遅れている。(男性、33歳、京都)
テレビの中で1日に1回は何もなかったとしても触れて欲しい。(男性、20歳、東京)

●原子力広報評価～原子力やエネルギーに関する情報についての所感

原子力やエネルギーに関する情報について感じることを自由に記入してもらった結果は以下の通り。

問24. 原子力やエネルギー、放射線、またこれらに関する情報源、情報発信の手段などに対するお考えがあればお書き下さい。(ご自由に)

回答内容
テレビはあまりにも難しく伝えている。もう少し国民全体がわかりやすいように安全性、人体への影響などを伝えるべき。(男性, 30歳, 北海道)
テレビ番組の報道やワイドショーなどで不安を助長させるような内容ではなく、正確な情報と、私達はどうか対応するべきなのか教えて欲しい。(女性, 64歳, 神奈川)
テレビや新聞でしか情報を得ることができない人のため各自治体はもっと情報を発信するべき。ホームページなどでは情報を得られない方はたくさんいます。地方局や刊行物などをもっと利用してはどうでしょう。(女性, 56歳, 千葉)
原子力も必要かと思えます。事故は大変怖いです。(女性, 77歳, 富山)
電力会社に責任のある対応をして欲しい。(女性, 61歳, 大阪)
東京電力、原子力保安院の発表が信用できないのできちっと納得できる説明が欲しい。(女性, 60歳, 千葉)
東電の迅速かつ正確に発表して欲しい。放射線の健康に対する数値を明確にして欲しい。(男性, 65歳, 大阪)
特にないが、テレビで正しい情報を流して欲しい。(男性, 37歳, 岐阜)
特になし。完全に放射線をコントロールできないのに、利用しようとするのはおかしい。(男性, 63歳, 千葉)
どのようなことでも包み隠さずメディアなどを通じ国民にわかりやすく伝達すべし！(男性, 67歳, 石川)
どのような手段でも良いから、正確な情報を伝えて欲しいと思う。(男性, 39歳, 東京)
とりあえず首相は原発を見放さないように。投げ出して他国にお金を貸している場合ではない。(女性, 20歳, 埼玉)
どんな手段を使っても、最終的に安心まではつながらない。出来事を過去のものとしないうように伝える、情報を広める努力は必要。(女性, 33歳, 埼玉)
何が本当なのか、何が事実なのか判断が不可能。各委員会、電力関係者、政府の話が事実なのか不安。マスコミの情報はその場限りのたれ流し意見が多い気がする。(男性, 31歳, 愛知)
なにが本当の情報なのか不安。(うそ 本当)(女性, 46歳, 三重)
何も隠さず話して欲しいと思う。(女性, 18歳, 沖縄)
日本人はあまりにも贅沢(電気、物)。色々なものに豊かすぎたので、罰がきたと思います。放射線がなければ生きていけない世の中なので、もっと頼らないエネルギーがほしいと思います。(女性, 65歳, 岡山)
日本全国にある原子力発電所をなくし、これに変わる発電を早くみつけて実施してもらいたい。(女性, 69歳, 静岡)
日本にとり原子力発電が要用です。日本は核兵器を、持たない国ですからいつでも核兵器を作れる状態にしておく要用あり。* 中国、北朝鮮、ロシア(男性, 65歳, 秋田)
日本の原子力エネルギー政策は、電力会社・官僚主導であり、全国に及ぶ発電所建設は、安全が主な議論となり安全の対義語(危険)に対する対策に不備があったのではなからうか？津波による被害とはいえ、電力の全てがストップする等は、あまりにもお粗末過ぎるのでは。発電所建設を優先するあまり、御用学者や天下り官僚を集め、核エネルギーのリスクについての開示情報を国民や善良な(居るのだろうか)政治家等に説明されなかったのでは。(男性, 66歳, 埼玉)
日本の人口はこれからどんどん下降していくので、原発は不必要になってくると思います。(女性, 42歳, 千葉)
日本は火山国だからもっと地熱発電を利用していくことはできないものでしょうか。外国で地熱発電を利用している国がありますが発電機は日本製のものでした。テレビで見ました。(女性, 56歳, 北海道)
ニュースで取りあげられることも少なくなり、せめて、テレビで決まった時間にも情報公開すればいいと思う。天気予報の前とか！(男性, 46歳, 埼玉)
ニュースや新聞で詳しく報道して欲しい。(男性, 44歳, 福岡)
人間が造ったものなので100%の可能(安全)はないので政府はいつも情報公開と管理体制を強化する。(男性, 24歳, 奈良)
人間のすることだから絶対安全はない！これから先電力不足で不自由をしても原子力などに頼るべきではない。(女性, 60歳, 愛媛)
発表の方法を再度考えてください。また、これに対する方法を(手順書等)を十分に検討を。政治家、地方自治体、大学の先生、メーカー、オールジャパンで英短を決算してください。(男性, 66歳, 茨城)
原発の意見ばかり大きく取り上げられ過ぎているので、もっと平等にするべき。(男性, 45歳, 新潟)
東日本大震災での情報発信に誤りが多く(当初原発には問題ない等)、メディアの発信等も頼りにならないと感じた。(男性, 33歳, 神奈川)
必要以上に細かな数値などは、あえて報道しなくてもよい。(男性, 47歳, 岡山)
必要とさせる理由が必要とされない理由と等しくあるのであれば、すべてを否定はしないと思います。必要であるならばなぜ必要なのかということを理解してもらおう努力をするべきだと感じました。現在の日本において原子力などの技術の恩恵を受けていない人間は少ないと思うので、すべて否定するような極端な対応ではなく時間をかけてしっかりとした対応をするべきだと思います。また一人一人の認識と自覚も必要かなと。(男性, 30歳, 石川)
人が管理不能な物質、安全に扱えるのは不可能です。日本人、大地が侵されます。(女性, 26歳, 愛知)
広島は原子爆弾を投下された土地であり、70年は草木も生えないと言われましたが、現在よみがえっています。60年以上長い期間がかかっているし、人生の長さには比べれば長過ぎるかもしれません。目に見えない物でもあるし、計量数ばかり気にしながらで大変かもしれません。情報は公平な面ばかりではありません。何が正しいかは見方による物であり、どれが正しいかはわかりません。いろんな見方をしましょう。(女性, 62歳, 広島)

●原子力広報評価～原子力やエネルギーに関する情報についての所感

原子力やエネルギーに関する情報について感じることを自由に記入してもらった結果は以下の通り。

問24. 原子力やエネルギー、放射線、またこれらに関する情報源、情報発信の手段などに対するお考えがあればお書き下さい。(ご自由に)

回答内容
福島県の(放射線レベルの高い所にいる)子供や妊婦さんたちを、早く強制的にでも遠くへ疎開させて欲しい。(女性, 47歳, 東京)
福島県民に、一日も早く安心できる幸せな暮らしをしてもらいたい。福島の子供たちがこれからどんな検査を何年受けて行くのか、もっともっと全国に知らせて欲しい。(女性, 38歳, 兵庫)
福島第一、第二原発事故は原子力が人間に制御できない非常に危険なエネルギーであることを再認識させることになった。このような状況において、発電力が落ちるとはいえ、より安全にコントロール可能なエネルギーへの転換を促す動きが高まってくるのは当然のことである。しかし、いまだに原発維持を主張し続ける政財界が原子力の安全性を高めるという実現可能性の低い信頼性も担保されない情報を発信し続けることは非常に問題である。リスクについての説明もなく、安全を強調するのはサギと同じである。(男性, 46歳, 神奈川)
福島第一原子力発電所を早く、どうにかして欲しい。何もかも遅すぎると思う。(女性, 50歳, 神奈川)
福島第一原発事故の直後は、報道(TV、新聞等)でニュースが盛んにあったが、少し落ち着いた頃から、取り上げられる数も減り、情報を入手できない。TVでの特番のような説明のある情報発信の機会を定期でやるべきだと思う。(男性, 35歳, 東京)
放射性物質による健康への影響が出るのが、20年後、30年後と聞いたが、あまり信頼性がない。信頼できる情報を知りたい。(女性, 38歳, 千葉)
放射線に関する居住地域への情報発信がない。たとえ安全であっても、回覧板等の手段をとって発信すべきかと思う。(男性, 73歳, 千葉)
ホームページや料金票と一緒にチラシを配るなど。(女性, 32歳, 大阪)
他のエネルギーを考えるべき。(男性, 51歳, 岩手)
ポスター、TV(女性, 23歳, 山形)
本当に必要な情報が伝えられているのか。どこまで本当なのか。何か隠しているのではないかなど気になる。また、結局のところ、どこまでが安全でどこまでが危険なのかの基準がわからないので、TVでOMSV(マイクロシーベルト)とか数字ばかり言われてもわからない。判断しようがない。(女性, 28歳, 徳島)
本当のことを、包み隠さず、迅速に教えて欲しい。(男性, 46歳, 千葉)
本当のことを正確に伝えて欲しい。(女性, 23歳, 千葉)
マスコミに左右され、どこから得る情報が正しいのか信頼できない!(男性, 41歳, 栃木)
マスコミの報道について考え直す機会を全ての人が持つべき。(男性, 20歳, 千葉)
マスコミの報道の仕方がおかしい。国民の不安をあおる視点での報道の仕方としか見えない。(男性, 58歳, 千葉)
万一事故がおきた時、全国民に、すぐ全て情報を伝える事。(女性, 68歳, 東京)
自ら利のある立場の人間を排し、常に平等たる人物に決定権を持たせ包み隠すことなく情報公開をすることを行いかつ「原子力は次へのつなぎに過ぎない」と考える機関が行うべき。(男性, 36歳, 栃木)
未知の技術に対して挑戦することは重要なことだが、その利点とリスクは常に同じだけ公開、公表する必要があり、それを一般市民を含めて共有しなければならない。発信は多くの手段だ。知識レベルの低い人は理由のない不安で反対することもあり、技術開発への足枷になるだろう。そのために教育も含めた長期的な広範囲のしくみを作っていかなければならない。一部の利益のみに固執しても先はない。(男性, 49歳, 愛媛)
みんな平等にすればなんとかなる。(男性, 21歳, 広島)
難しい言葉が多すぎて理解できないことが多数ある。理解できる言葉ですべてを話して欲しい。(女性, 28歳, 山梨)
難しい問題だと考えまた、身近に起きた問題がないのでピンとこない。(女性, 71歳, 北海道)
難しい問題なので、答えられない。(男性, 50歳, 東京)
メタンハイドレートの使用や、燃料電池の開発を、もっと活発に研究し、TVや、インターネットを使い、積極的に発言すればいい。(男性, 40歳, 大阪)
メディアがもっと取り上げるべきだと思う。(男性, 45歳, 京都)
メディアの報道が下げすぎる、正確に伝えて欲しい、政府の発表も正確に二転三転して欲しくない。(女性, 24歳, 神奈川)
メディアやインターネットを通して、良いことも悪いことも真実を報道できる仕組みを徹底して欲しい。(男性, 23歳, 福岡)
もっと現在の状況を教えて欲しい。(男性, 44歳, 千葉)
もっと正直に早く公開、開示して欲しい。(男性, 70歳, 埼玉)
もっと本当のことをメディアは伝えていくべき。(女性, 18歳, 岐阜)
やはり何らかの統制がかかっているように感じる。正しい情報は我々が努力しないと得ることは難しい。(男性, 38歳, 神奈川)
良いこと悪いことすべてを隠さず公表する組織を設置すること。(男性, 66歳, 静岡)
ラジオ、テレビなどのニュースでももう少し詳しく説明して欲しい。(男性, 68歳, 富山)
若い人でも知られるように、ケータイサイトとかにわかりやすく書いて欲しい。(男性, 16歳, 福岡)
若い人はくわしく知らない人が多いと思う。だからTVで伝えるにしても、ニュースばかりでなく、キャストとかもう少し考えて、専門家だけの堅苦しいニュースだと情報が入りにくいのは、もうやめた方がいいと思う。(女性, 18歳, 京都)

●原子力広報評価～原子力やエネルギーに関する情報についての所感

原子力やエネルギーに関する情報について感じることを自由に記入してもらった結果は以下の通り。

問24. 原子力やエネルギー、放射線、またこれらに関する情報源、情報発信の手段などに対するお考えがあればお書き下さい。(ご自由に)

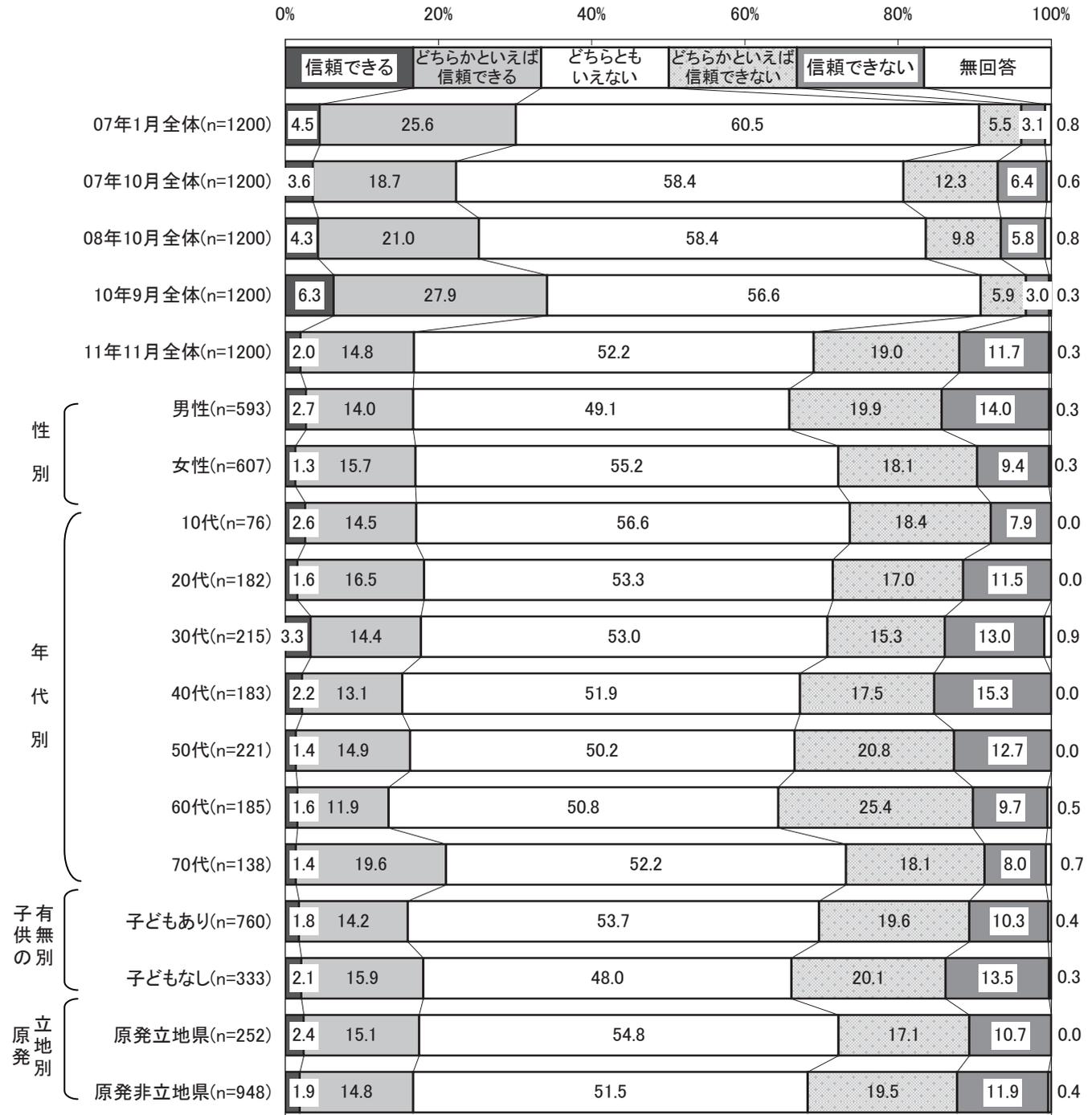
回答内容
我が家はすべて理科系なのでデータに対する考え方がある程度できていますが、一般家庭ではデータだけ与えられても情報処理する力がないので大変だと思います。(女性, 55歳, 神奈川)
わかりやすく正確に統一した情報を!(男性, 17歳, 兵庫)
私は昔、自衛官でしたが、自衛隊では、相当詳しく放射能に関する報告をしています。放射能を、充分に利用すべきです。(男性, 75歳, 愛知)
悪い情報こそ発信すべき。(男性, 61歳, 愛知)

V章 原子力に対する信頼について

●原子力に対する信頼～原子力に携わる専門家に対する信頼①

原子力に携わる専門家や原子力関係者を信頼できると思うか尋ねた。信頼できる(「信頼できる」(2.0%)+「どちらかといえば信頼できる」(14.8%))という回答は16.8%であるのに対し、信頼できない(「信頼できない」(11.7%)+「どちらかといえば信頼できない」(19.0%))という回答は30.7%と、否定派が上回る。一方、「どちらともいえない」という態度保留者が52.2%と多数を占める。前回に比べて肯定派は15ポイント以上減少、否定派は20ポイント以上増加している。経年変化でみると、近年増加傾向にあった肯定派が今回減少。逆に、減少傾向にあった否定派は増加している。年代別に見ると、60代の否定派が35.1%と最も高い。

問11-1. あなたは、原子力に携わる専門家や原子力関係者を信頼できると思いますか。(○は1つだけ)



●原子力に対する信頼～原子力に携わる専門家に対する信頼②

原子力に携わる専門家や原子力関係者を信頼できると思うか、についての回答理由を尋ねたところ、「信頼できる」と回答した理由は、「専門的な知識を持っている人だから」(67.3%)、「信頼したいから」(42.1%)が高い。
 「どちらともいえない」理由は、「情報公開が十分されていないから」(59.4%)がトップ。
 「信頼できない」理由は、「情報公開が十分されていないから」(74.5%)、「管理体制や安全対策が不十分だから」(60.1%)、「信頼できないから」(57.9%)、「大きな事故が起きたから」(44.6%)の順。

問11-2. あなたが、問11-1でそう答えた理由は何ですか。あてはまるものをすべてお選び下さい。(○はいくつでも)

N→	全体 1200	専門家を信頼できるかどうか			10年9月 1200
		信頼 できる 202	どちらとも いえない 626	信頼 できない 368	
情報公開が十分されているから	2.7	8.4	1.0	2.4	5.6
情報公開が十分されていないから	55.4	9.4	59.4	74.5	34.9
事故の経験を踏まえて安全対策を講じることができるから	6.3	30.2	1.9	0.8	
大きな事故が起きたから	35.8	14.4	37.7	44.6	
管理体制や安全対策が十分だから	1.5	4.0	1.3	0.5	5.7
管理体制や安全対策が不十分だから	39.8	6.4	39.0	60.1	17.3
専門的な知識を持っている人だから	13.3	67.3	3.7	0.3	17.0
専門家にも間違いはあるから	27.4	5.4	31.9	32.1	20.5
信頼したいから	9.8	42.1	4.5	1.1	20.1
信頼できないから	27.0	1.0	17.4	57.9	10.8
その他	4.6	1.5	4.0	7.1	3.4

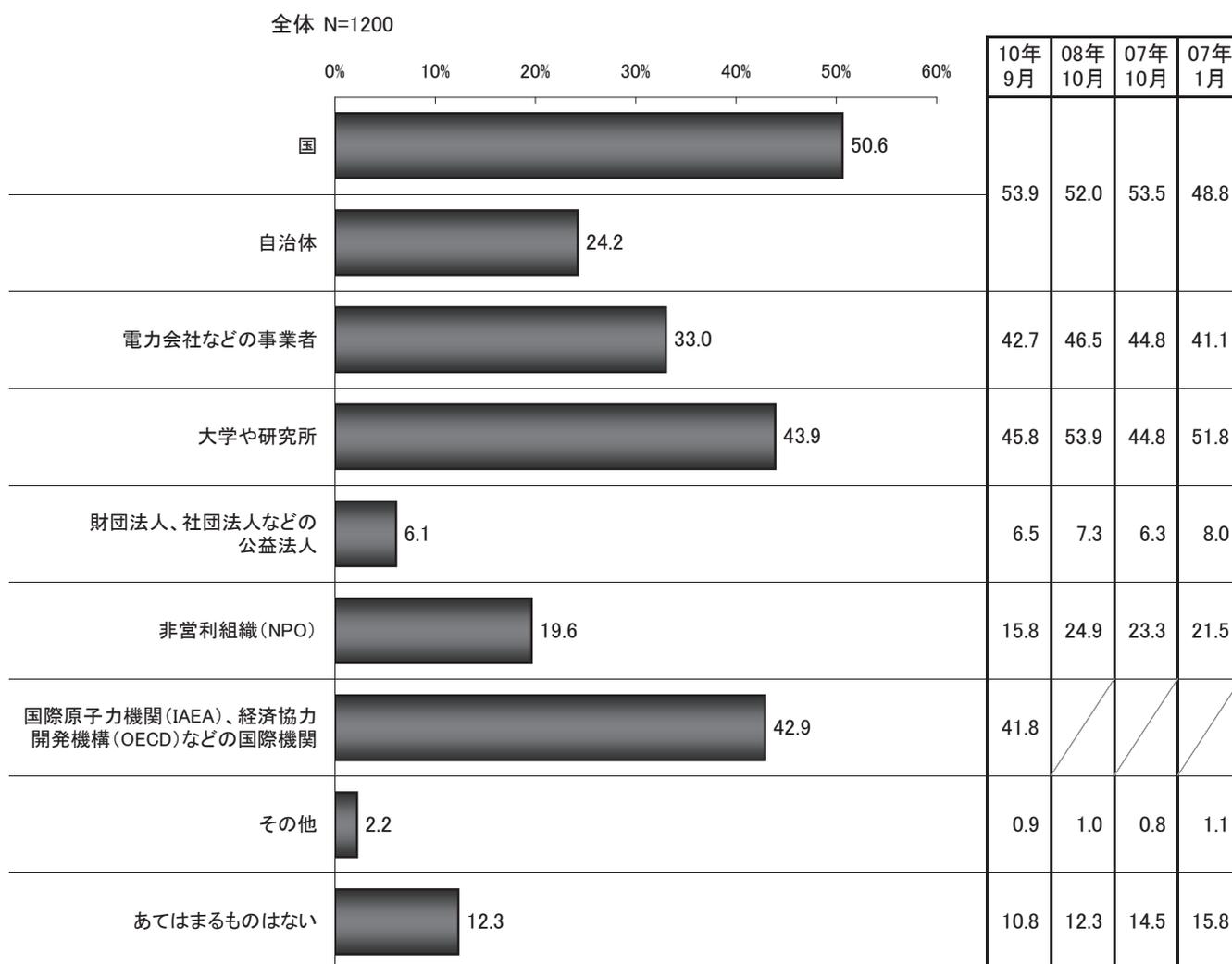
(%)

*「事故の経験を踏まえて安全対策を講じることができるから」「大きな事故が起きたから」は、11年11月から追加

●原子力に対する信頼～活躍を期待する人物

今後の安全な原子力の利用を続けていくために、どのような立場の人の活躍を期待するか尋ねた。「国」が50.6%と最も高く、次いで「大学や研究所」(43.9%)、「国際原子力機関(IAEA)、経済協力開発機構(OECD)などの国際機関」(42.9%)の順である。前回と比べると、「電力会社などの事業者」は約10ポイント減少。

問12. 今後の安全な原子力の利用を続けていくために、どのような立場の人の活躍を期待しますか。次の中から、あなたが期待している人をすべてお選びください。(○はいくつでも)



* 08年10月までの選択肢は「公益法人(財団法人、社団法人)」、10年9月は「財団法人、社団法人などの公益法人」に変更

* 08年10月までの選択肢は「NPO(非営利組織)」、10年9月は「非営利組織(NPO)」に変更

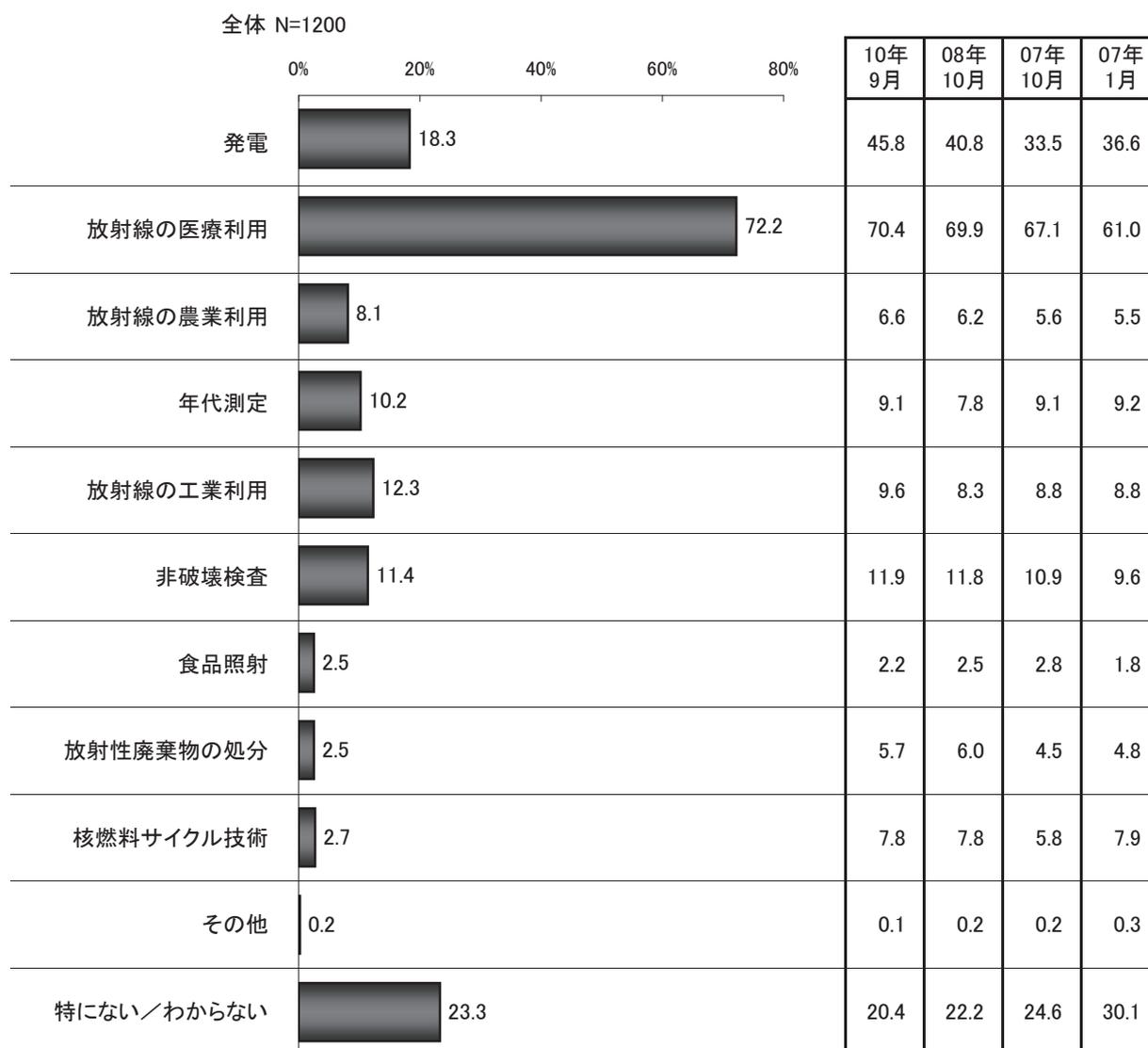
* 「国際原子力機関(IAEA)、経済協力開発機構(OECD)などの国際機関」は10年9月から追加

* 「国」「自治体」は、10年9月まで「国や自治体」として聴取。「国」「自治体」の10年9月までの数値は、参考として「国や自治体」の数値を掲載。

●原子力に対する信頼～信頼できる原子力技術

日本の原子力技術のうち信頼しているものを尋ねたところ、「放射線の医療利用」が72.2%と突出して高く、それ以外の項目は1割前後と低水準である。
前回5割近い回答のあった「発電」は、今回大きく減少し2割に満たない。

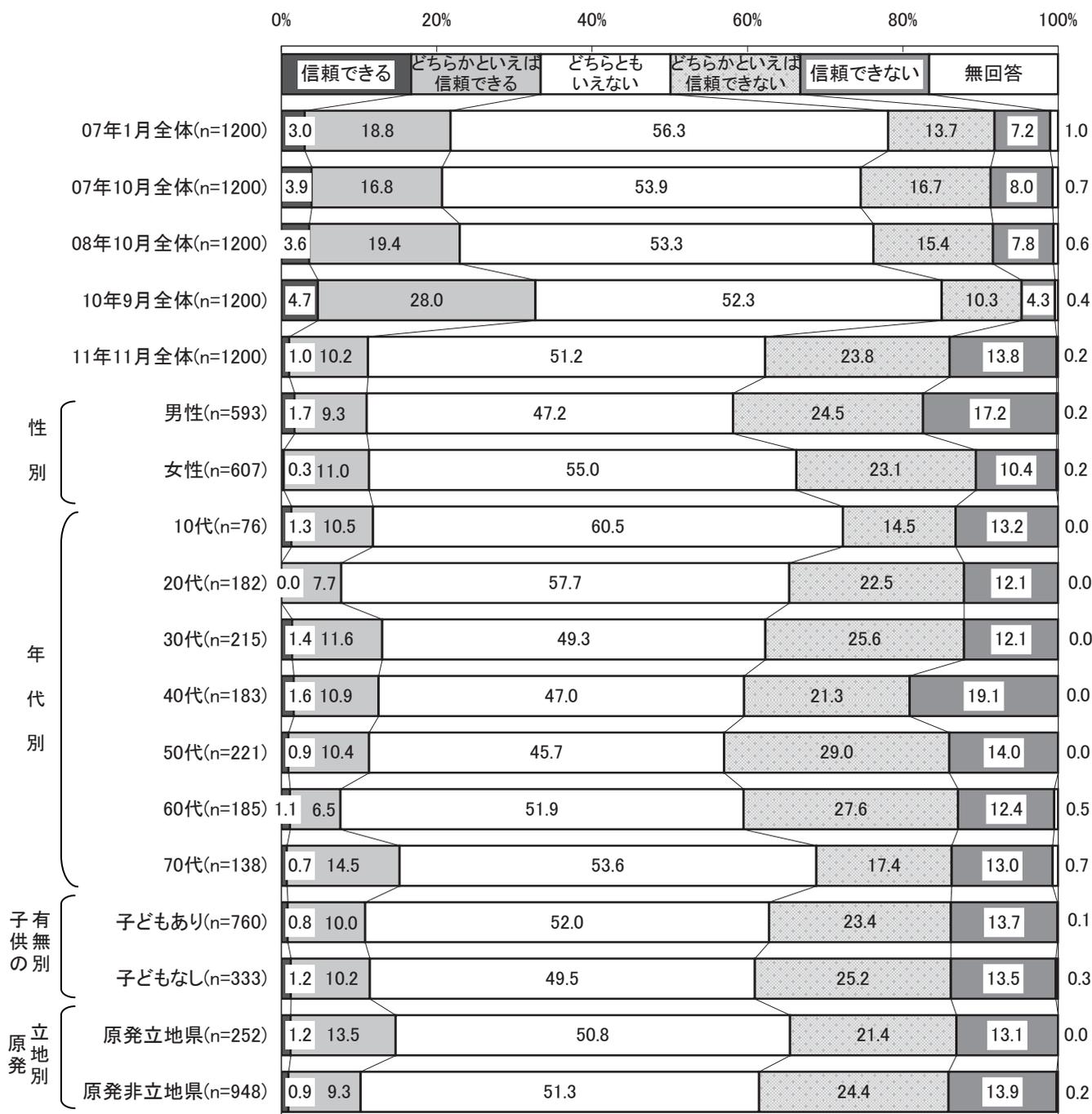
問15. 日本の原子力技術のうち、あなたが信頼しているものはどれですか。
次の中からあてはまるものをすべてお選びください。(〇はいくつでも)



●原子力に対する信頼～国や自治体に対する信頼①

原子力の安全管理や規制を行なっている国や自治体を信頼できるか尋ねた。信頼できる(「信頼できる」(1.0%)+「どちらかといえば信頼できる」(10.2%))という回答は11.2%にであるのに対し、信頼できない(「信頼できない」(13.8%)+「どちらかといえば信頼できない」(23.8%))という回答は37.6%と高い。また、「どちらともいえない」という態度保留者が51.2%と多数を占める。前回に比べて肯定派は20ポイント以上減少。一方、否定派は20ポイント以上増加。
 経年変化でみると、近年増加傾向にあった肯定派は減少。逆に、減少傾向にあった否定派は増加している。
 性別でみると、否定派は女性(33.5%)に比べて男性(41.7%)の方が多い。
 年代別では、10代の「どちらともいえない」という割合が6割を超え、他層に比べて高くなっている。また、40～60代では否定派の割合が高めで、4割以上となっている。

問13-1. 原子力の安全管理や規制は国や自治体によって行なわれています。あなたは、国や自治体を信頼できると思いますか。(○は1つだけ)



●原子力に対する信頼～国や自治体に対する信頼②

原子力の安全管理や規制を行なう国や自治体を信頼できると思うか、についての回答理由を尋ねたところ、「信頼できる」と回答した主な理由は、「信頼したいから」(52.2%)、「事故の経験を踏まえて安全対策を講じることができるから」(34.3%)。
 「どちらともいえない」理由は、「情報公開が十分されていないから」(63.4%)、「管理体制や安全対策が不十分だから」(42.2%)。
 「信頼できない」理由は、「情報公開が十分されていないから」(71.1%)、「管理体制や安全対策が不十分だから」(61.1%)、「自分達の利益優先に感じるから」(51.6%)、「信頼できないから」(50.0%)が5割を超えている。

問13-2. あなたが、問13-1でそう答えた理由は何ですか。あてはまるものをすべてお選び下さい。
 (○はいくつでも)

N→	全体 1200	国や自治体を信頼できるかどうか			10年9月 1200
		信頼 できる 134	どちらとも いえない 614	信頼 できない 450	
情報公開が十分されているから	2.5	11.9	1.1	1.6	6.9
情報公開が十分されていないから	59.8	6.0	63.4	71.1	40.0
事故の経験を踏まえて安全対策を講じることができるから	5.2	34.3	2.3	0.4	
大きな事故が起きたから	36.3	11.9	37.5	42.2	
管理体制や安全対策が十分だから	1.3	6.7	0.2	1.3	6.2
管理体制や安全対策が不十分だから	45.1	5.2	42.2	61.1	17.1
専門的な知識を持っている人だから	4.3	28.4	1.8	0.7	10.0
専門家にも間違いはあるから	20.8	5.2	21.5	24.4	17.6
信頼したいから	8.8	52.2	5.7	0.2	21.5
信頼できないから	27.0	0.7	16.0	50.0	13.3
国や公的機関は営利目的ではないから	3.4	13.4	2.8	1.3	7.5
自分達の利益優先に感じるから	30.3	1.5	21.2	51.6	14.1
その他	2.5	3.0	2.0	3.1	1.8

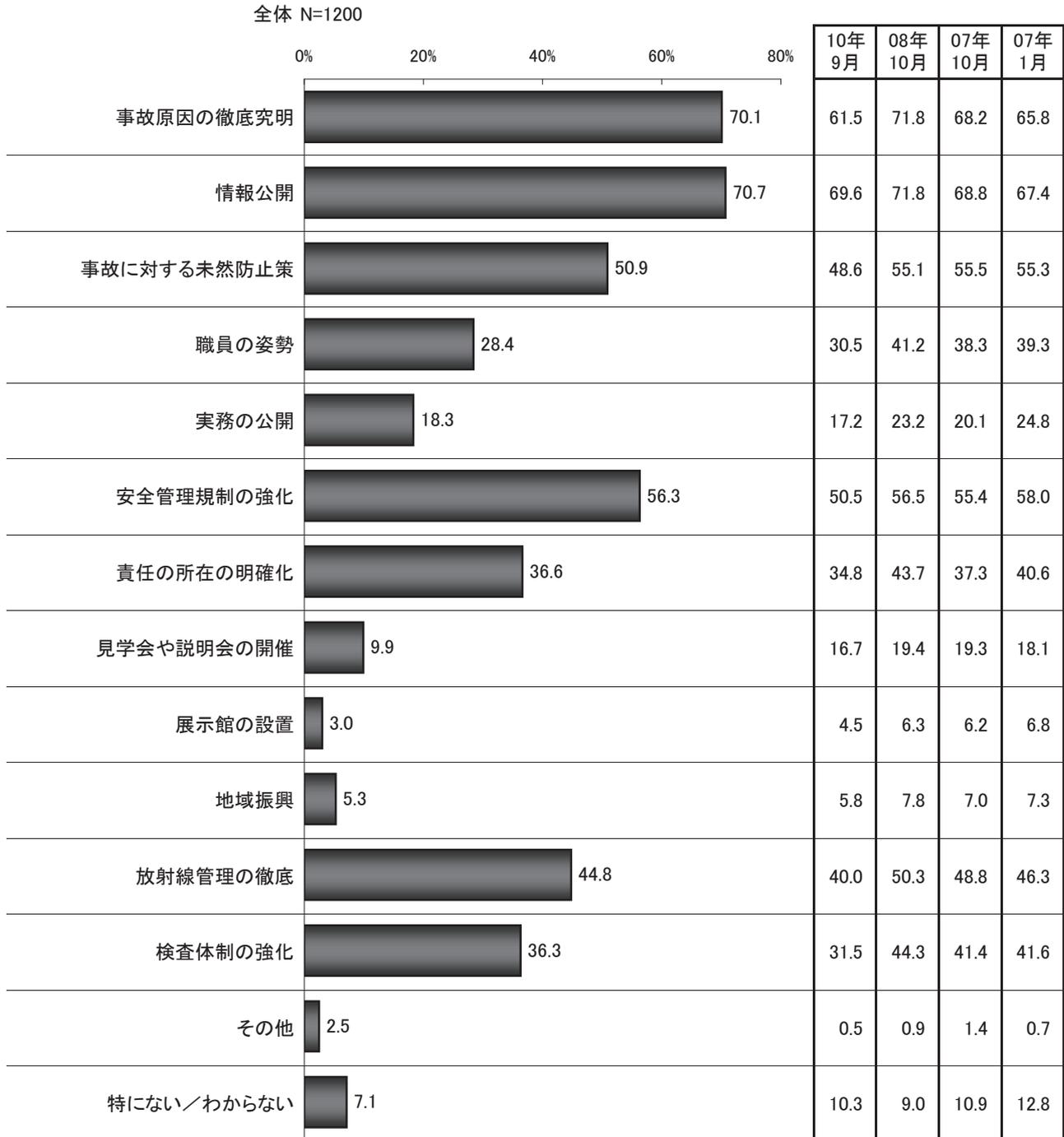
(%)

*「事故の経験を踏まえて安全対策を講じることができるから」「大きな事故が起きたから」は、11年11月から追加

●原子力に対する信頼～原子力安全管理主体を国や自治体に任せるうえで配慮すべき点

原子力の安全管理を国や自治体に安心して任せるためには、どういった点が配慮されるべきかと思われた。回答が5割を超える項目は、「情報公開」(70.7%)、「事故原因の徹底究明」(70.1%)、「安全管理規制の強化」(56.3%)、「事故に対する未然防止策」(50.9%)。前回と比べて、「事故原因の徹底究明」「安全管理規制の強化」は5ポイント以上増加。一方、「見学会や説明会の開催」は約7ポイント減少。

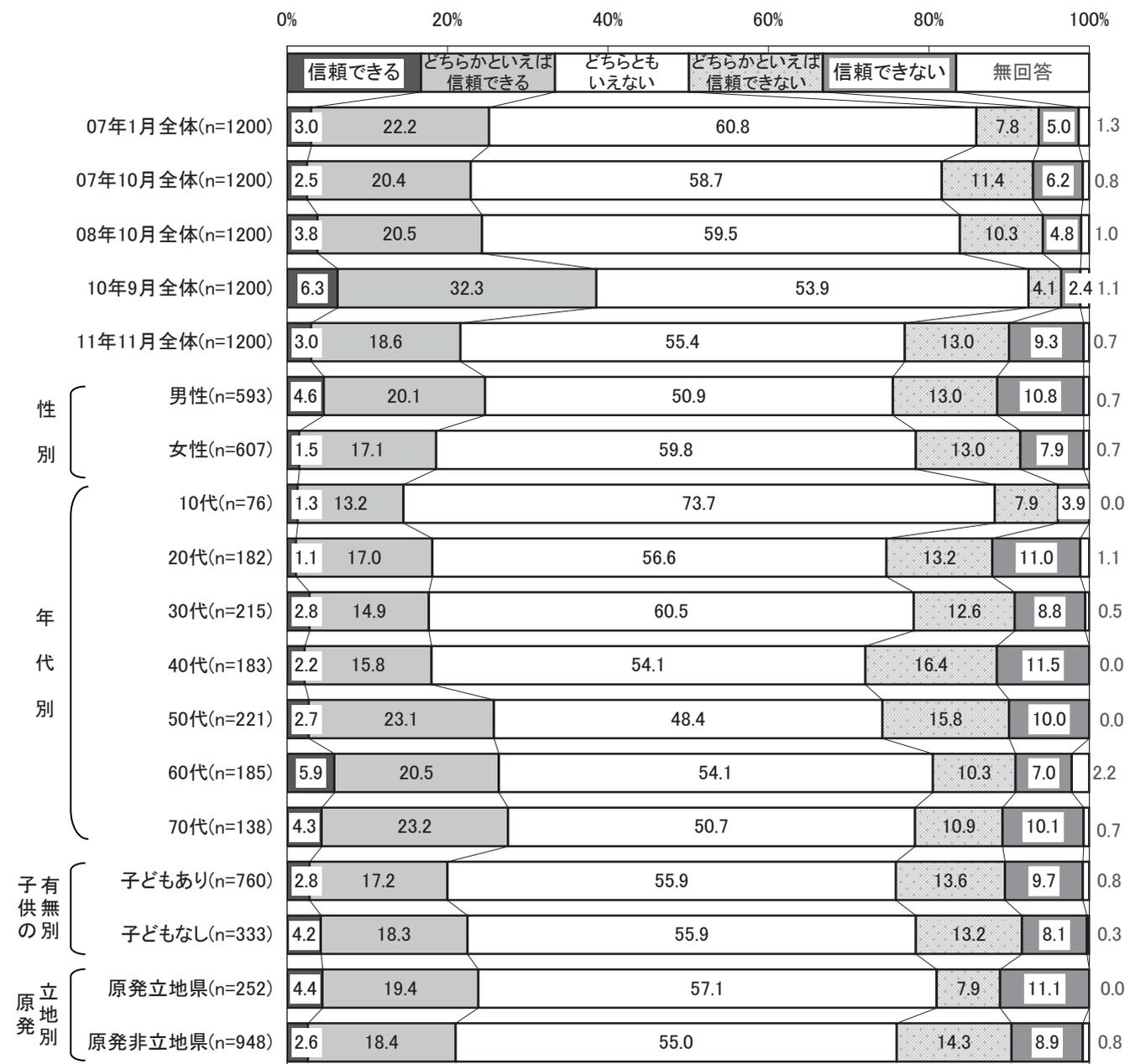
問14. 原子力の安全管理を国や自治体に安心して任せるためには、どういった点が配慮されるべきかと思えますか。次の中からあてはまるものをすべてお選びください。(○はいくつでも)



●原子力に対する信頼～原子力の平和利用に対する信頼

日本の原子力利用は、原子力発電や放射線利用等、平和利用の分野に限っており、これらを支えるための政策・規制・技術などのしくみについて、信頼できると思うか尋ねた。
 信頼できる(「信頼できる」(3.0%)+「どちらかといえば信頼できる」(18.6%))という回答は21.6%に対し、信頼できない(「信頼できない」(9.3%)+「どちらかといえば信頼できない」(13.0%))という回答は22.3%と、ほぼ同率。「どちらともいえない」という態度保留者が55.4%と多数を占める。
 前回に比べて肯定派は17ポイント減少。一方、否定派は15ポイント以上増加している。
 年代別では、肯定的な回答は50代以上で2割半ばを超えるが、40代以下では2割に満たない水準。また10代では「どちらともいえない」とする割合が73.7%と顕著に高い。

問21. 日本の原子力利用は、原子力発電や放射線利用等、平和利用の分野に限っており、これらを支えるために政策・規制・技術などのしくみがあります。あなたはこのしくみについて信頼できると思いますか。(○は1つだけ)



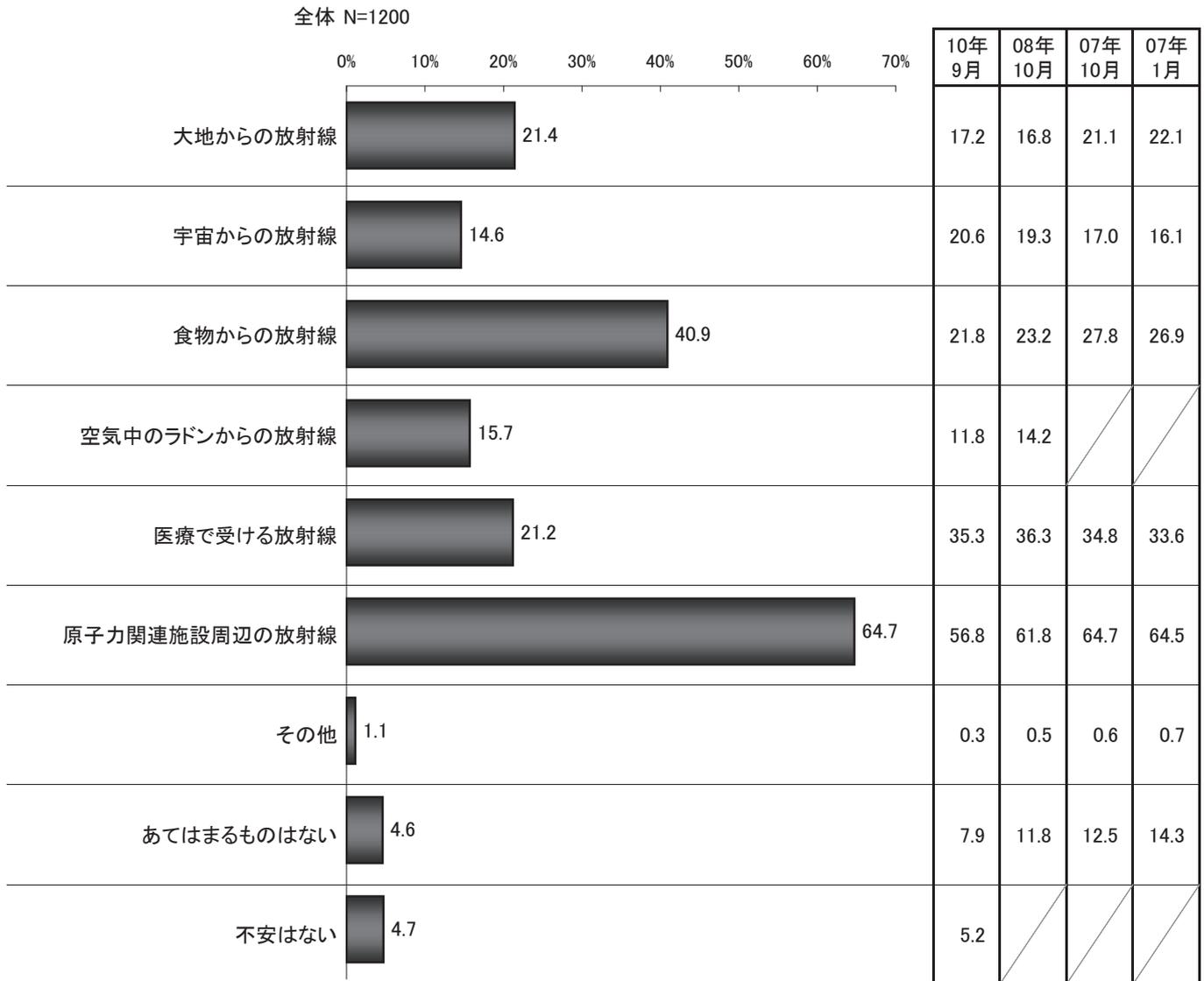
* 08年10月までの質問文は、「現在日本が進めている原子力発電、再処理、放射線利用などの原子力の平和利用について、あなたは信頼できると思いますか」で聴取
 * 10年9月までの質問文は、「日本の原子力利用は、原子力発電や放射線の平和利用の分野に限っており、これらは政策・規制・技術などのしくみで支えられています」で聴取

VI章 環境・原子力・放射線に対するリスク認知

●環境・原子力・放射線に関するリスク認知～放射線に対し不安に思う事柄

放射線に対して感じる不安について尋ねたところ、「原子力関連施設周辺の放射線」が64.7%と突出している。次いで「食物からの放射線」(40.9%)、「大地からの放射線」(21.4%)、「医療で受ける放射線」(21.2%)と続く。前回に比べて、「食物からの放射線」が約19ポイント増加。一方、「医療で受ける放射線」は約14ポイント減少。

問16. あなたが、放射線に対し感じる不安についてお伺いします。
次の中から不安に思うものをすべてお選びください。(○はいくつでも)



* 07年1月、07年10月の選択肢は「地上からの放射能」、08年10月は「大地からの放射能」に変更

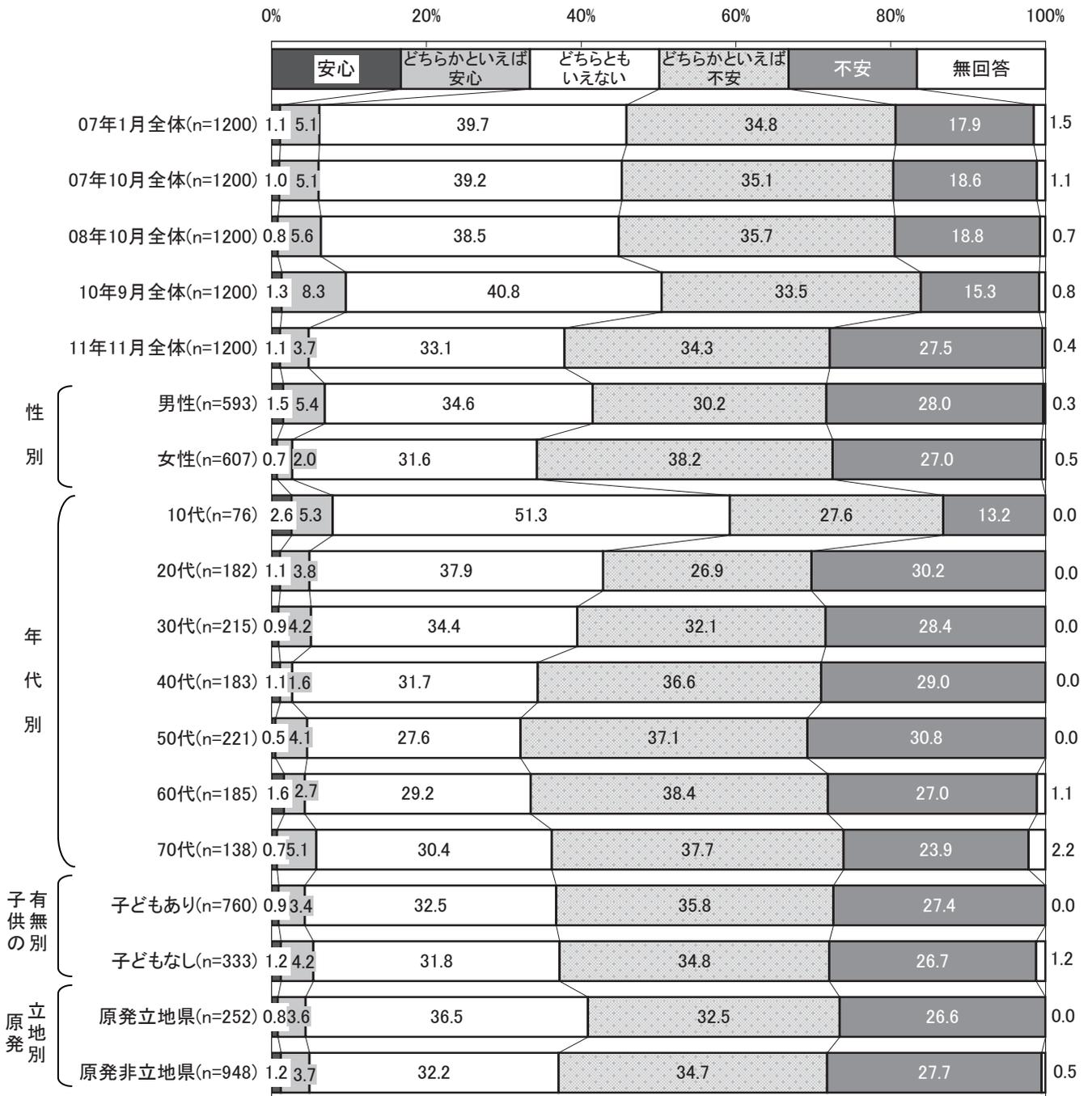
* 「空気中のラドンからの放射線」は08年10月から追加

* 「不安はない」は10年9月から追加

●環境・原子力・放射線に関するリスク認知～放射性廃棄物の処分に対する安心度

放射性廃棄物の処分について、どの程度安心(不安)に感じるか尋ねたところ、安心(「安心」(1.1%)+「どちらかといえば安心」(3.7%))という回答は4.8%であるのに対し、不安(「不安」(27.5%)+「どちらかといえば不安」(34.3%))という回答は61.8%と、不安層が圧倒的に高い。前回と比べて不安層は13ポイントと大幅に増加。
 性別で見ると、不安層は男性(58.2%)よりも女性(65.2%)で割合が高め。
 年代別にみると、10代では「不安」という回答が13.2%と低く、「どちらともいえない」という回答が5割を超えているのが特徴的。また、40～60代では不安層が6割半ばを占めている。

問17. 現在、放射性廃棄物の処分について検討が行なわれています。あなたは、そのことについてどのように感じますか。(○は1つだけ)



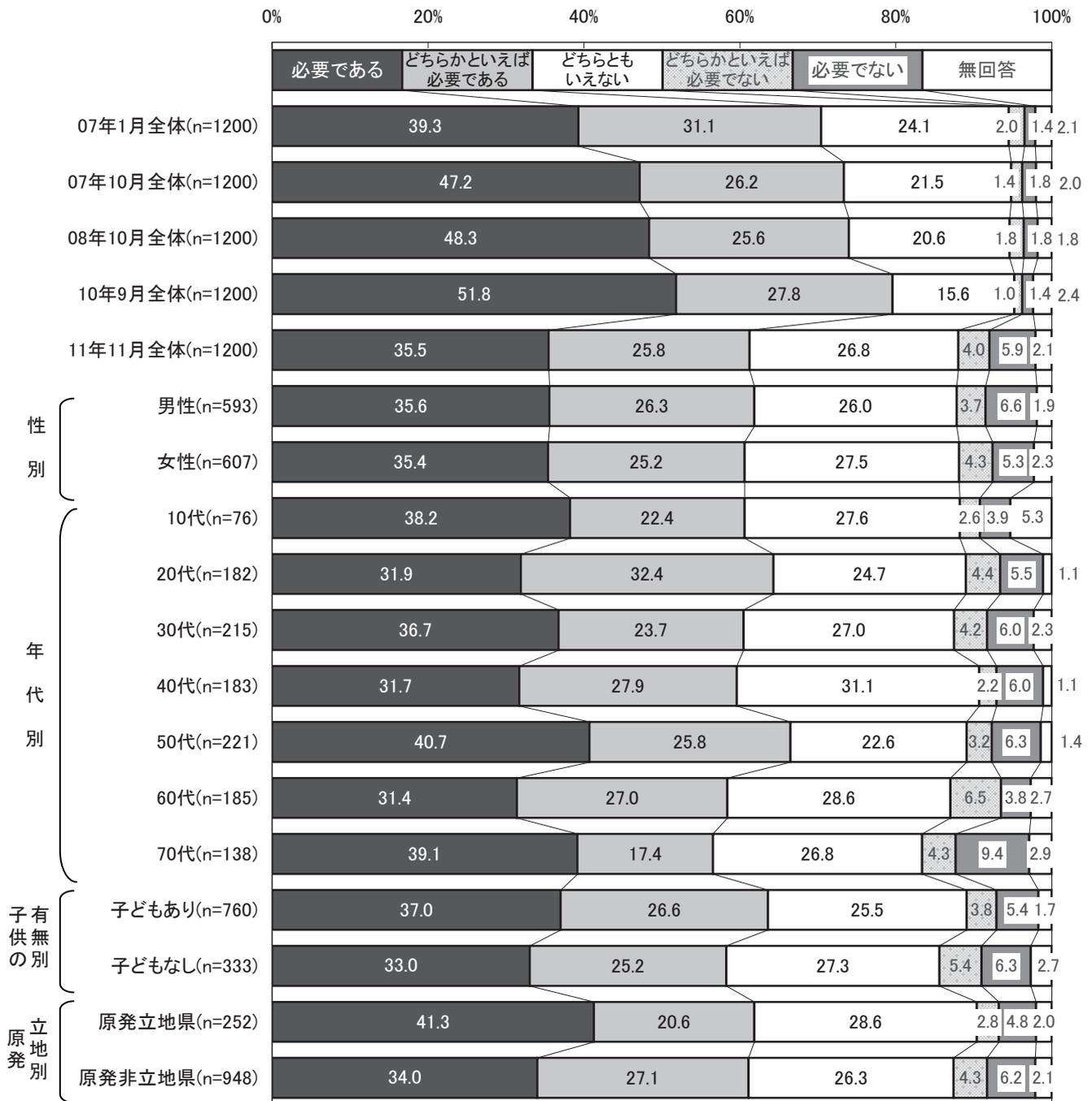
Ⅶ章 原子力に対するベネフィット認知

●原子力に対するベネフィット認知～暮らしの中で活用する原子力の平和利用

「暮らしの中で活用する原子力の平和利用」に対し、「必要である」という回答は35.5%、「どちらかといえば必要である」は25.8%。この考え方に肯定的な回答（「必要である」+「どちらかといえば必要である」）は61.3%で、前回に比べて約18ポイント減少している。
 年代別で見ると、50代では「必要である」という回答は4割を超えている。
 原発立地別では、「必要である」という回答は非立地県（34.0%）より立地県（41.3%）の方が約7ポイント高い。

問10-I. あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。
 あなたの考えに近いものをお選びください。（○はそれぞれ1つずつ）

【暮らしの中で活用する原子力の平和利用】



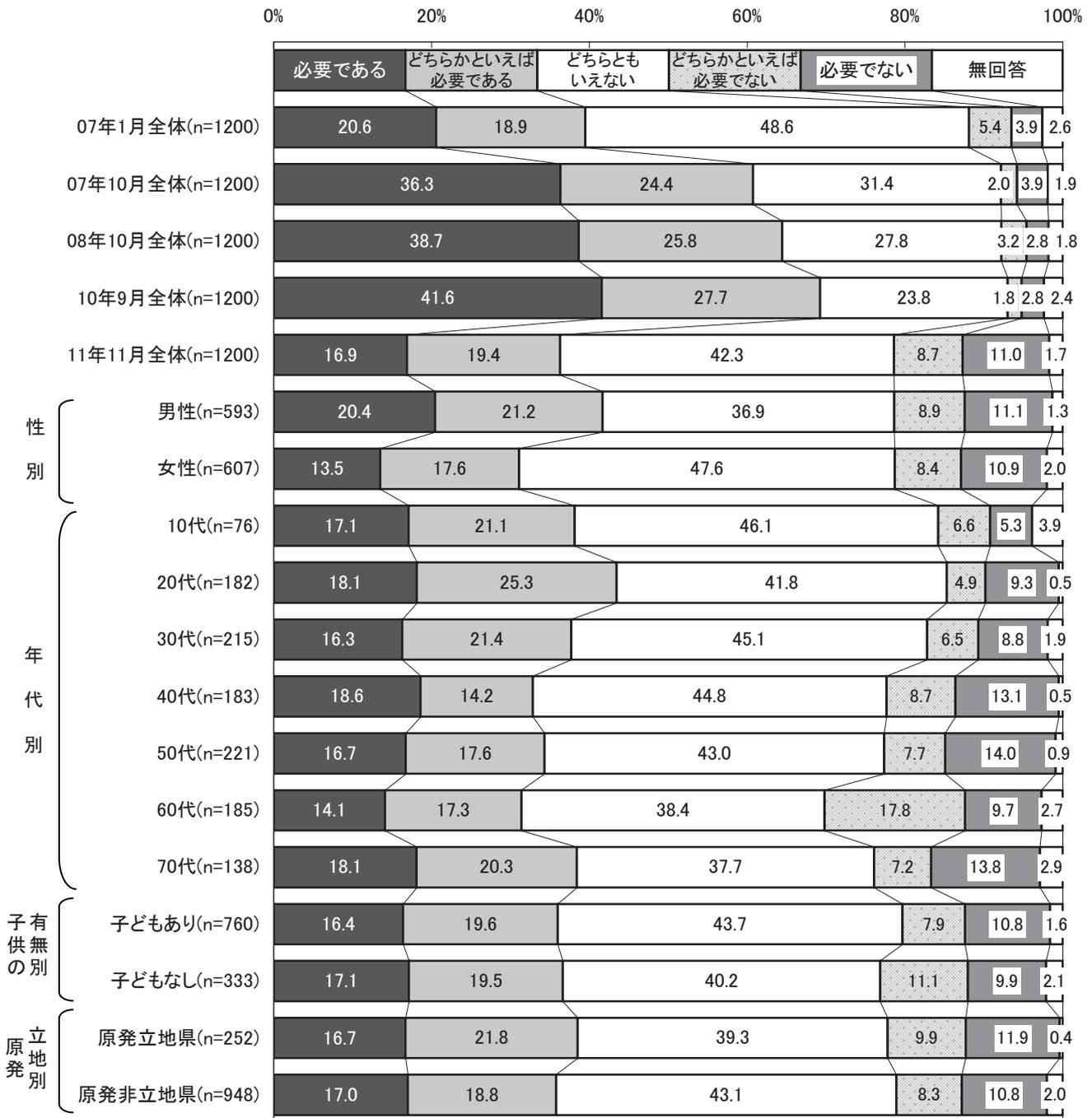
* 07年1月の選択肢は「そう思う／どちらかといえばそう思う」、07年10月は「必要である／どちらかといえば必要である」

●原子力に対するベネフィット認知～地球温暖化防止のために原子力発電を活用すること

「地球温暖化防止のために原子力発電を活用すること」に対し、「必要である」という回答は16.9%、「どちらかといえば必要である」は19.4%。この考え方に肯定的な回答(「必要である」+「どちらかといえば必要である」)は36.3%で、前回に比べて30ポイント以上減少。一方、否定的な回答(「必要でない」+「どちらかといえば必要でない」)は前回より約15ポイント増えて19.7%と、過去最多の水準。
性別では、「必要である」という回答は女性(13.5%)より男性(20.4%)で高くなっている。
年代別にみると、20代で肯定的な回答が43.4%と高くなっている。一方、60代では否定的な回答の割合が27.5%と高い。

問10-m. あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。
あなたの考えに近いものをお選びください。(○はそれぞれ1つずつ)

【地球温暖化防止のために原子力発電を活用すること】



* 07年1月の選択肢は「そう思う／どちらかといえばそう思う」、07年10月は「必要である／どちらかといえば必要である」

Ⅷ章 原子力に対する態度

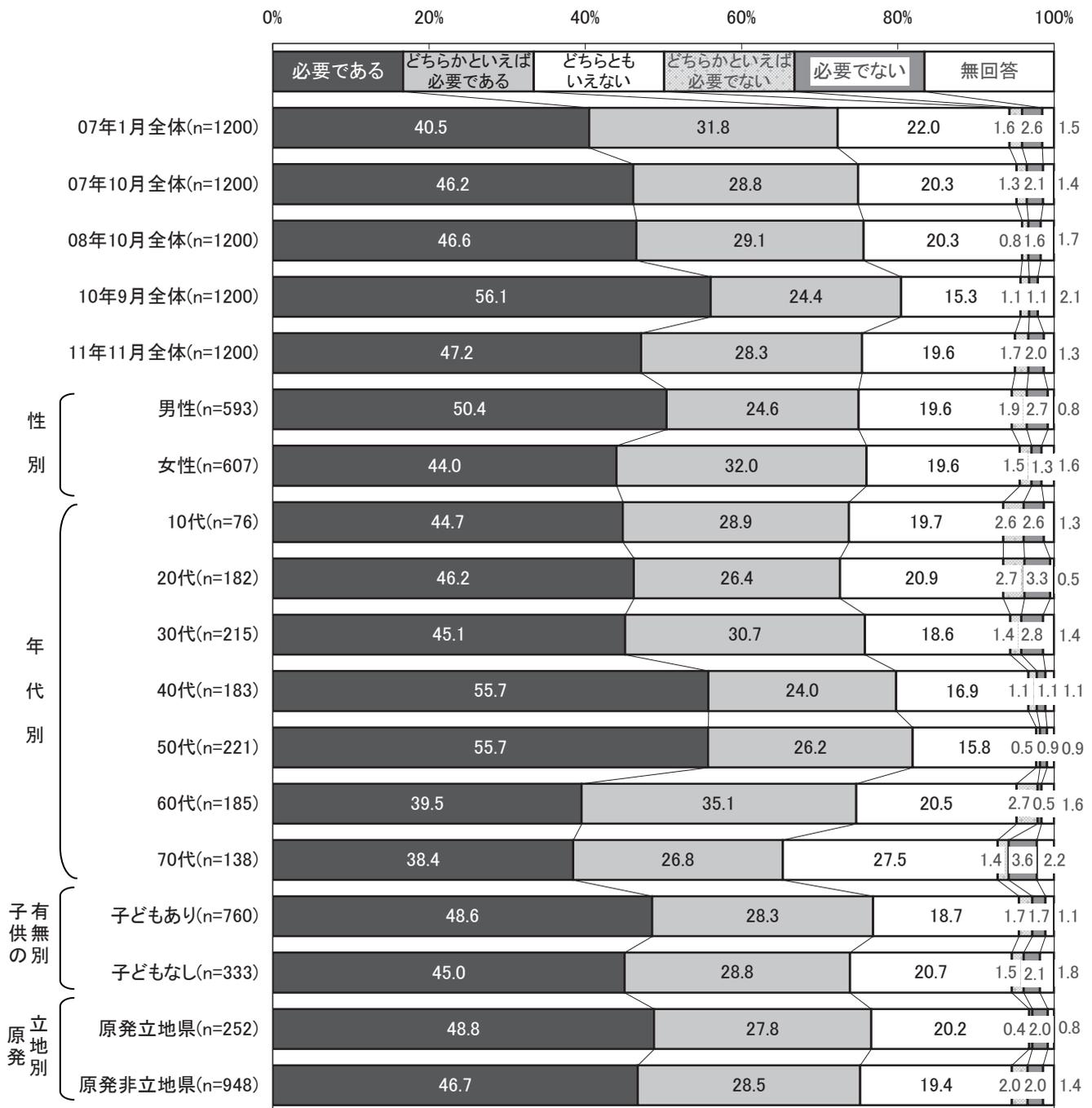
●原子力に対する態度～医療、工業、農業等における放射線利用の必要性

「医療、工業、農業等における放射線利用」に対し、「必要である」という回答は47.2%、「どちらかといえば必要である」は28.3%。この考え方に肯定的な回答（「必要である」+「どちらかといえば必要である」）は75.5%で、前回に比べて5ポイント減少。

性別で見ると、「必要である」という回答は女性（44.0%）よりも男性（50.4%）で高くなっている。
年代別で見ると、40～50代の「必要である」という回答が5割半ばと高い。

問10-a. あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。
あなたの考えに近いものをお選びください。（○はそれぞれ1つずつ）

【医療、工業、農業等における放射線利用】



* 07年1月の選択肢は「そう思う／どちらかといえばそう思う」、07年10月は「必要である／どちらかといえば必要である」

●原子力に対する態度～原子力発電の必要性①

「原子力発電」に対し、「必要である」という回答は15.7%、「どちらかといえば必要である」は22.0%。この考え方に肯定的な回答(「必要である」+「どちらかといえば必要である」)は37.7%で、前回に比べて約40ポイント低下して過去最低の水準。一方、否定的な回答(「必要でない」+「どちらかといえば必要でない」)の割合は25.2%で、前回より20ポイント以上増加。

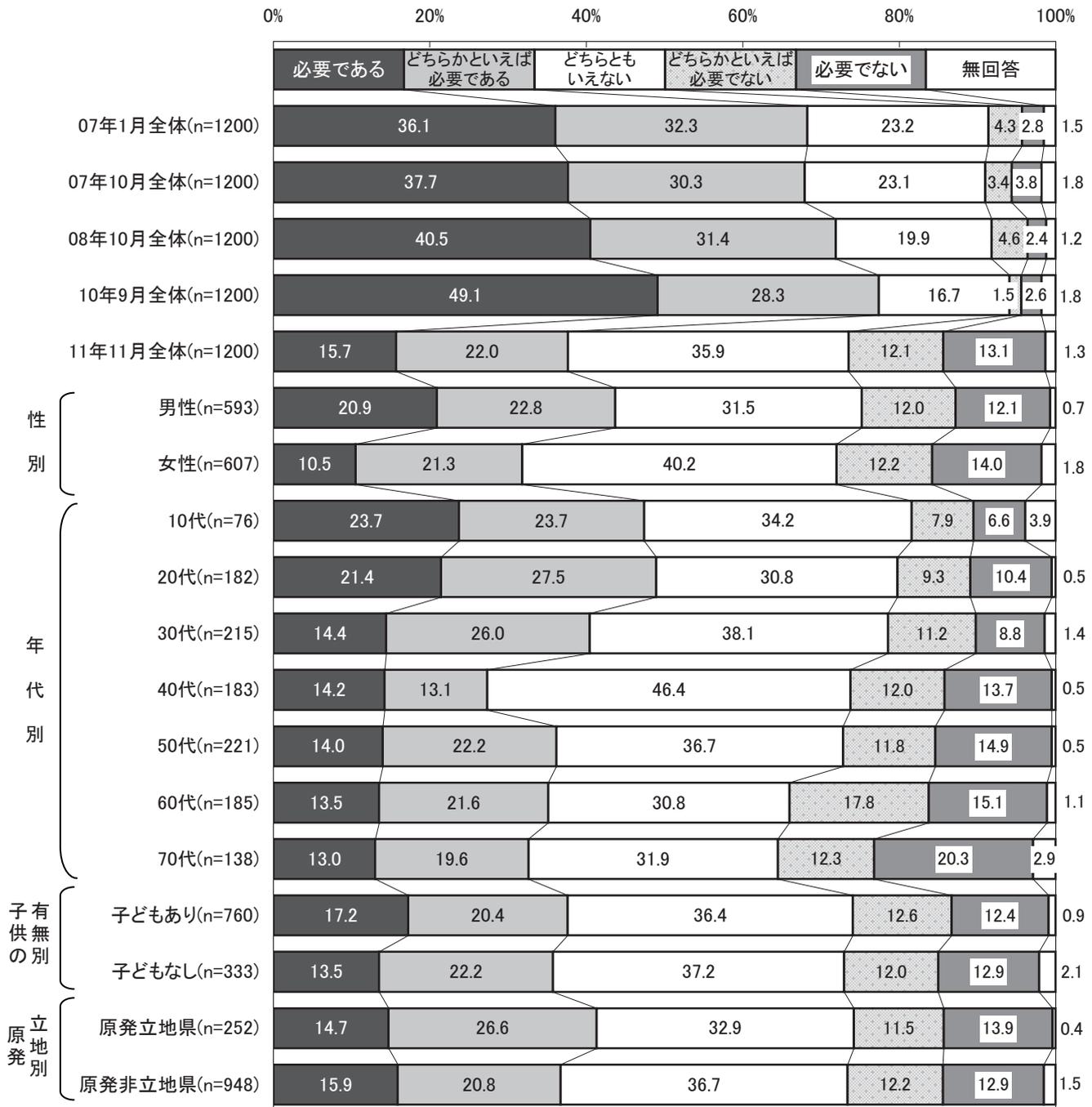
性別では、「必要である」という回答は女性(10.5%)より男性(20.9%)の方が10ポイント以上高い。

年代別にみると、年代が上がるにつれて否定的な回答の割合が高くなっていく傾向。

原発立地別でみると、立地県の方が肯定的な回答の割合が高い。

問10-b. あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。
あなたの考えに近いものをお選びください。(○はそれぞれ1つずつ)

【原子力発電】



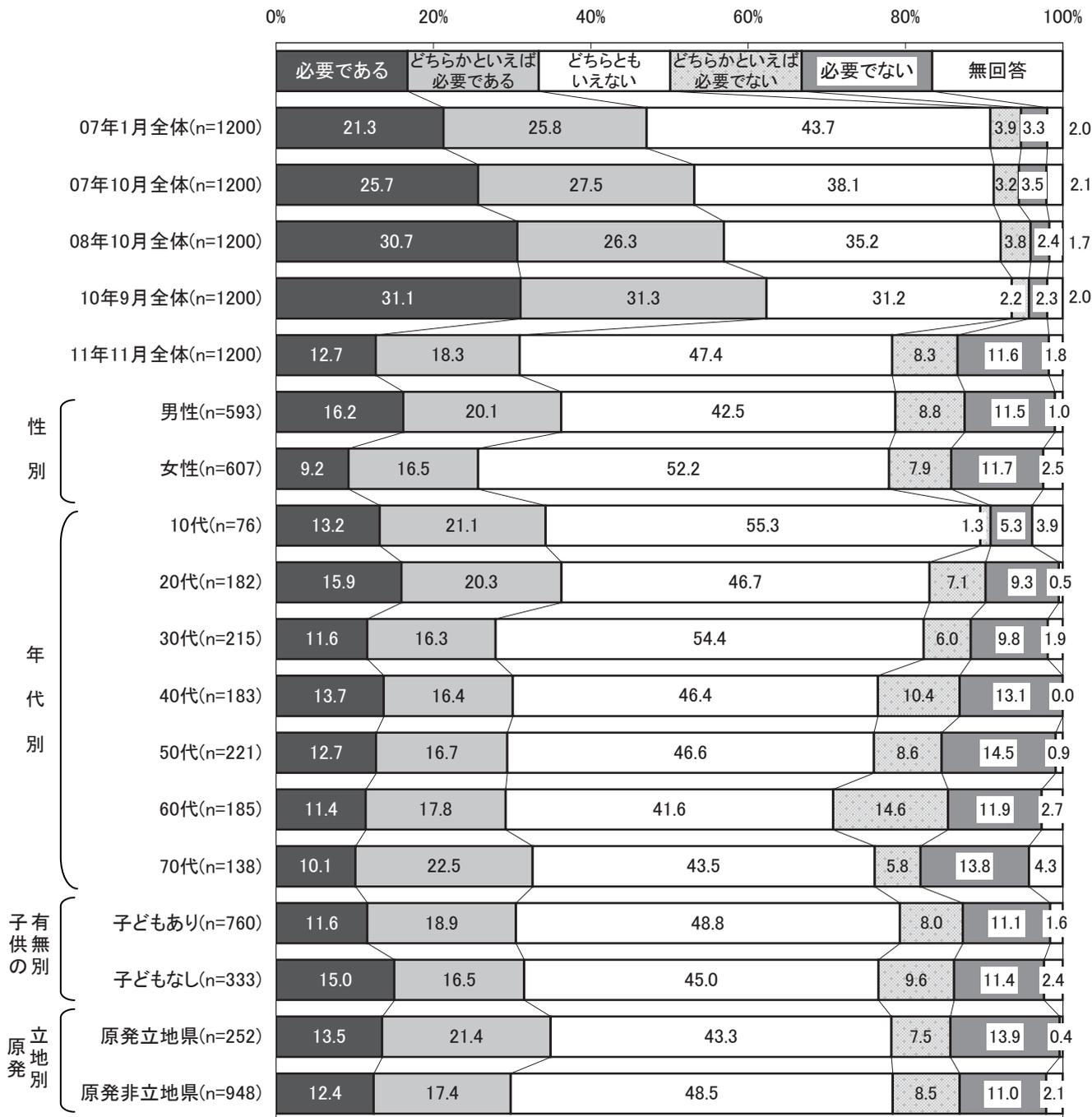
* 07年1月の選択肢は「そう思う／どちらかといえばそう思う」、07年10月は「必要である／どちらかといえば必要である」

●原子力に対する態度～原子力発電の必要性②

「化石資源を使い切ることやオイルショックに備え、原子力を活用すること」に対し、「必要である」という回答は12.7%、「どちらかといえば必要である」は18.3%で、この考え方に肯定的な回答（「必要である」+「どちらかといえば必要である」）は31.0%である。前回と比べると、肯定的な回答は30ポイント以上減少して過去最低の水準。また、否定的な回答（「必要でない」+「どちらかといえば必要でない」）の割合は19.9%で、前回より15ポイント以上増加している。
性別では、「必要である」という回答は女性（9.2%）よりも男性（16.2%）の方が7ポイント高い。
年代別でみると、否定的な回答は60代で26.5%と最も高い。
原発立地別でみると、立地県の方が肯定的な回答の割合が高い。

問10-n. あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。
あなたの考えに近いものをお選びください。（○はそれぞれ1つずつ）

【化石資源を使い切ることやオイルショックに備え、原子力を活用すること】



* 07年1月の選択肢は「そう思う／どちらかといえばそう思う」、07年10月は「必要である／どちらかといえば必要である」

●原子力に対する態度～原子力発電の必要性③

「エネルギー資源をほとんど持たない日本において原子力を活用すること」に対し、「必要である」という回答は13.1%、「どちらかといえば必要である」は19.4%で、この考え方に肯定的な回答(「必要である」+「どちらかといえば必要である」)は32.5%である。前回に比べて肯定的な回答は30ポイント以上減少。一方、否定的な回答(「必要でない」+「どちらかといえば必要でない」)は21.3%で、前回より約17ポイント増加。

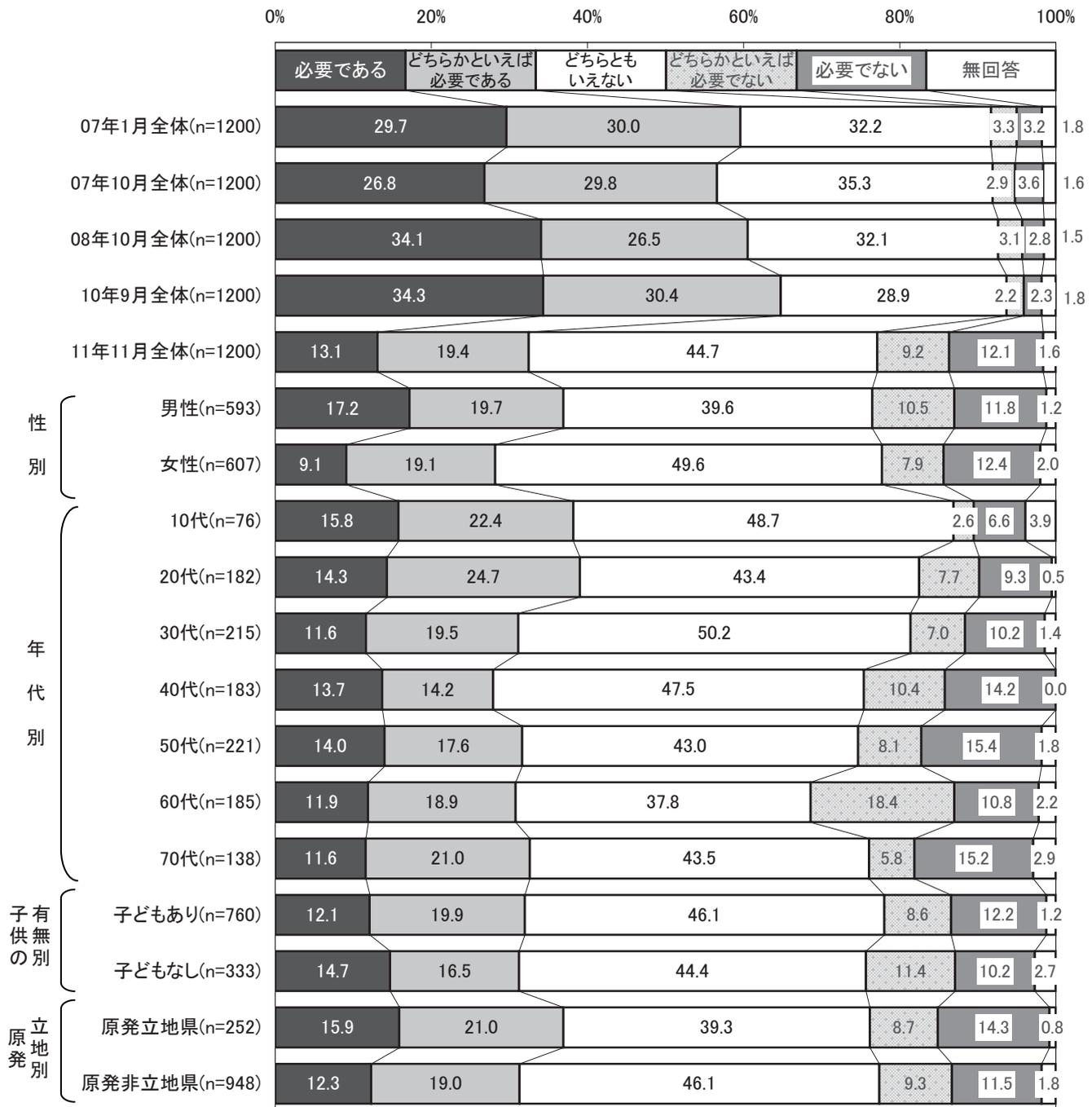
性別では、「必要である」という回答は女性(9.1%)よりも男性(17.2%)の方が高い。

年代別で見ると、10～60代までは、年代が上がるにつれて否定的な回答の割合も高くなる傾向。

原発立地別で見ると、立地県の方が肯定的な回答の割合が高い。

問10-o. あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。
あなたの考えに近いものをお選びください。(○はそれぞれ1つずつ)

【エネルギー資源をほとんど持たない日本において原子力を活用すること】



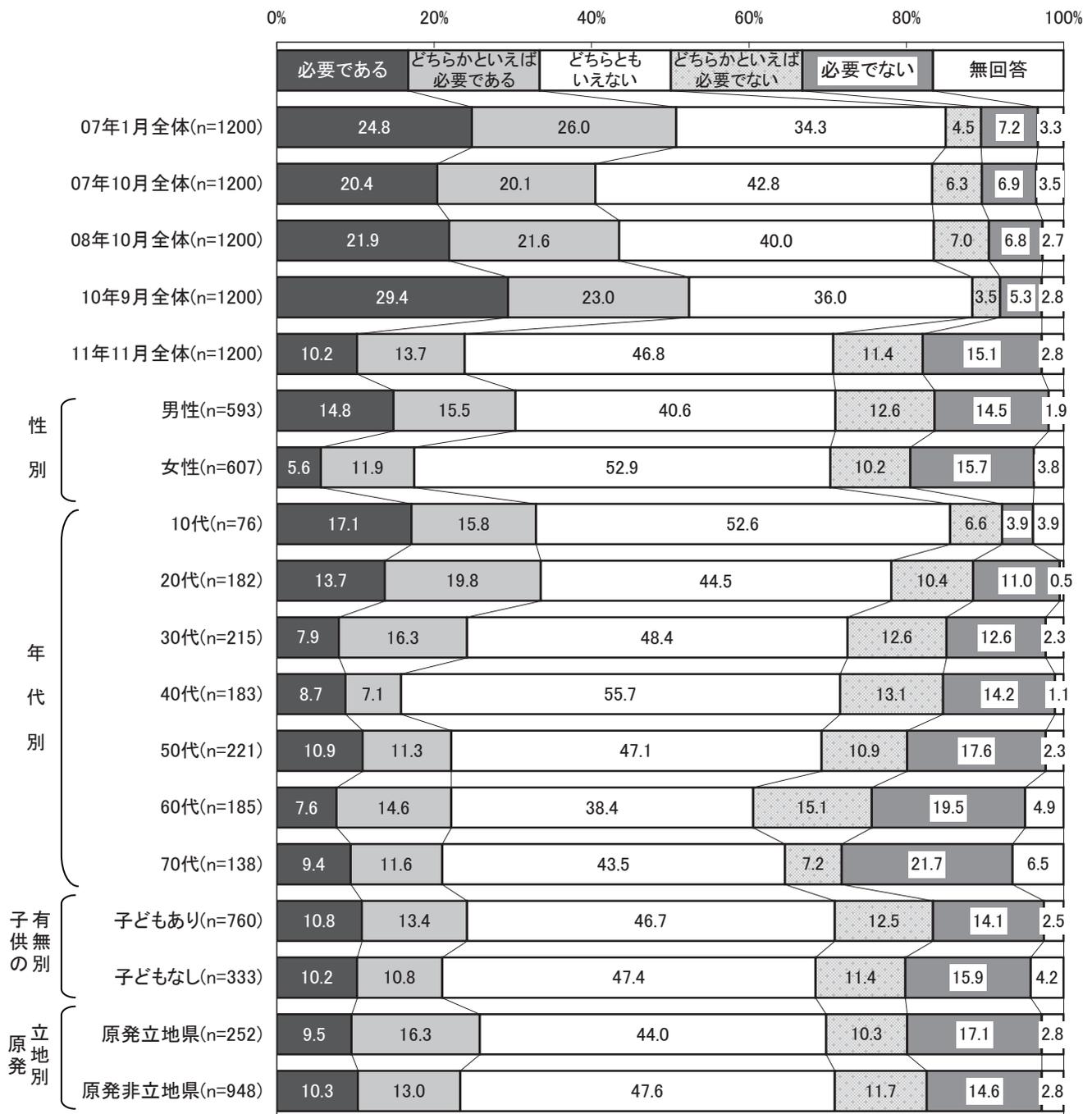
* 07年1月の選択肢は「そう思う／どちらかといえばそう思う」、07年10月は「必要である／どちらかといえば必要である」

●原子力に対する態度～核燃料サイクルの必要性

「核燃料サイクル」に対し、「必要である」という回答は10.2%、「どちらかといえば必要である」は13.7%で、この考え方に肯定的な回答（「必要である」+「どちらかといえば必要である」）は23.9%。前回に比べて肯定派は30ポイント近く減少。一方で否定的な回答（「必要でない」+「どちらかといえば必要でない」）は26.5%で、前回より約18ポイント増加。性別で見ると、「必要である」という回答は女性（5.6%）よりも男性（14.8%）の方が約9ポイント高い。年代別で見ると、10～60代までは、年代が上がるにつれて否定的な回答の割合が高くなる傾向。

問10-c. あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。
あなたの考えに近いものをお選びください。（○はそれぞれ1つずつ）

【核燃料サイクル】



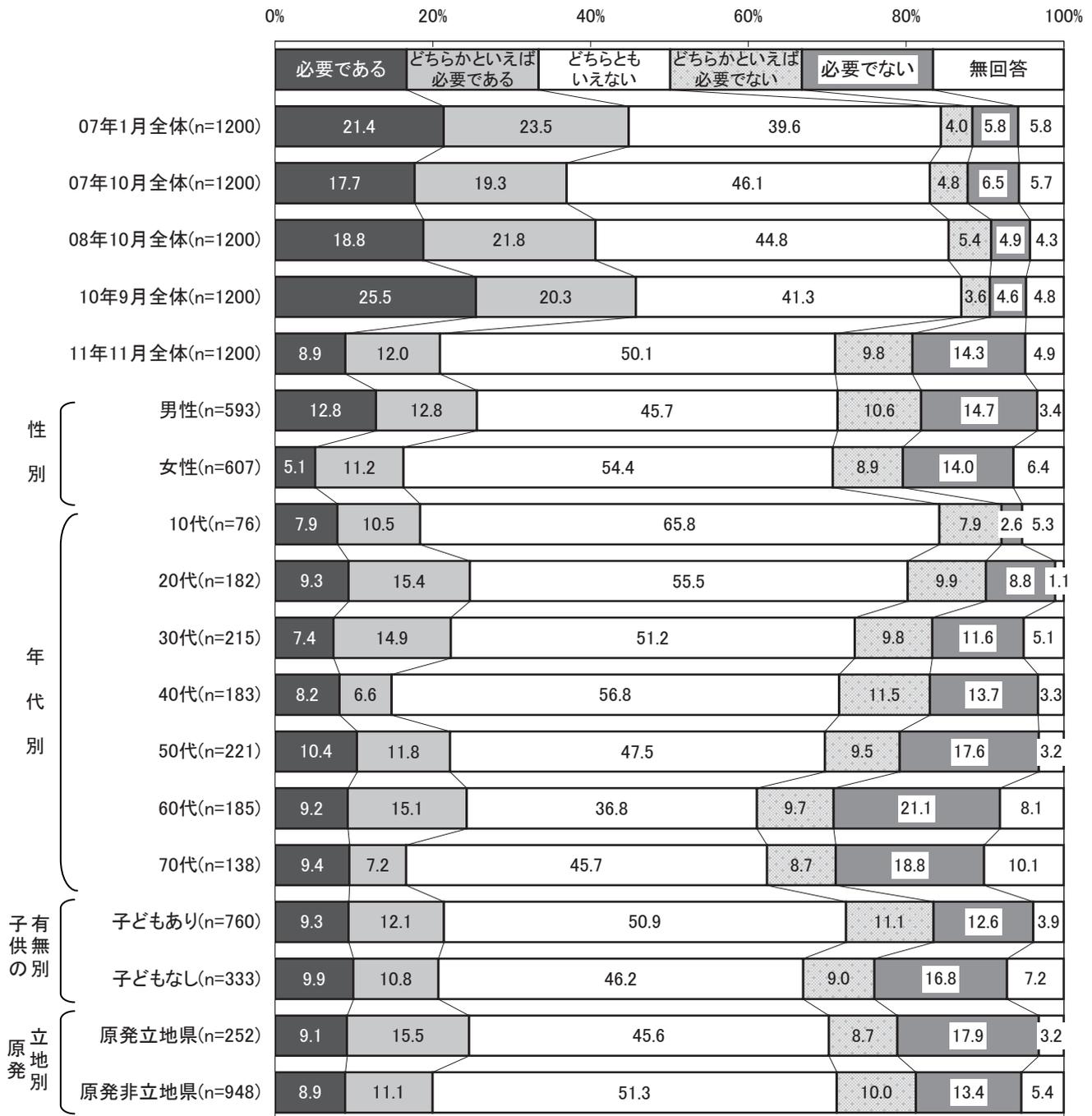
* 07年1月の選択肢は「そう思う／どちらかといえばそう思う」、07年10月は「必要である／どちらかといえば必要である」

●原子力に対する態度～プルサーマルの必要性

「プルサーマル」に対し、「必要である」という回答は8.9%、「どちらかといえば必要である」は12.0%で、この考え方に肯定的な回答（「必要である」+「どちらかといえば必要である」）は20.9%。前回に比べて肯定的な回答は約25ポイント減少。一方、否定的な回答（「必要でない」+「どちらかといえば必要でない」）は24.1%で、前回より約16ポイント増加。性別では、「必要である」という回答は女性（5.1%）よりも男性（12.8%）の方が高い。年代別にみると、10～60代までは、年代が上がるにつれて否定的な回答の割合も高くなっていく傾向。原発立地別でみると、立地県の方が肯定的な回答の割合が高い。

問10-d. あなたは、原子力に関する次の事柄について、必要性を感じますか。
あなたの考えに近いものをお選びください。（○はそれぞれ1つずつ）

【プルサーマル】

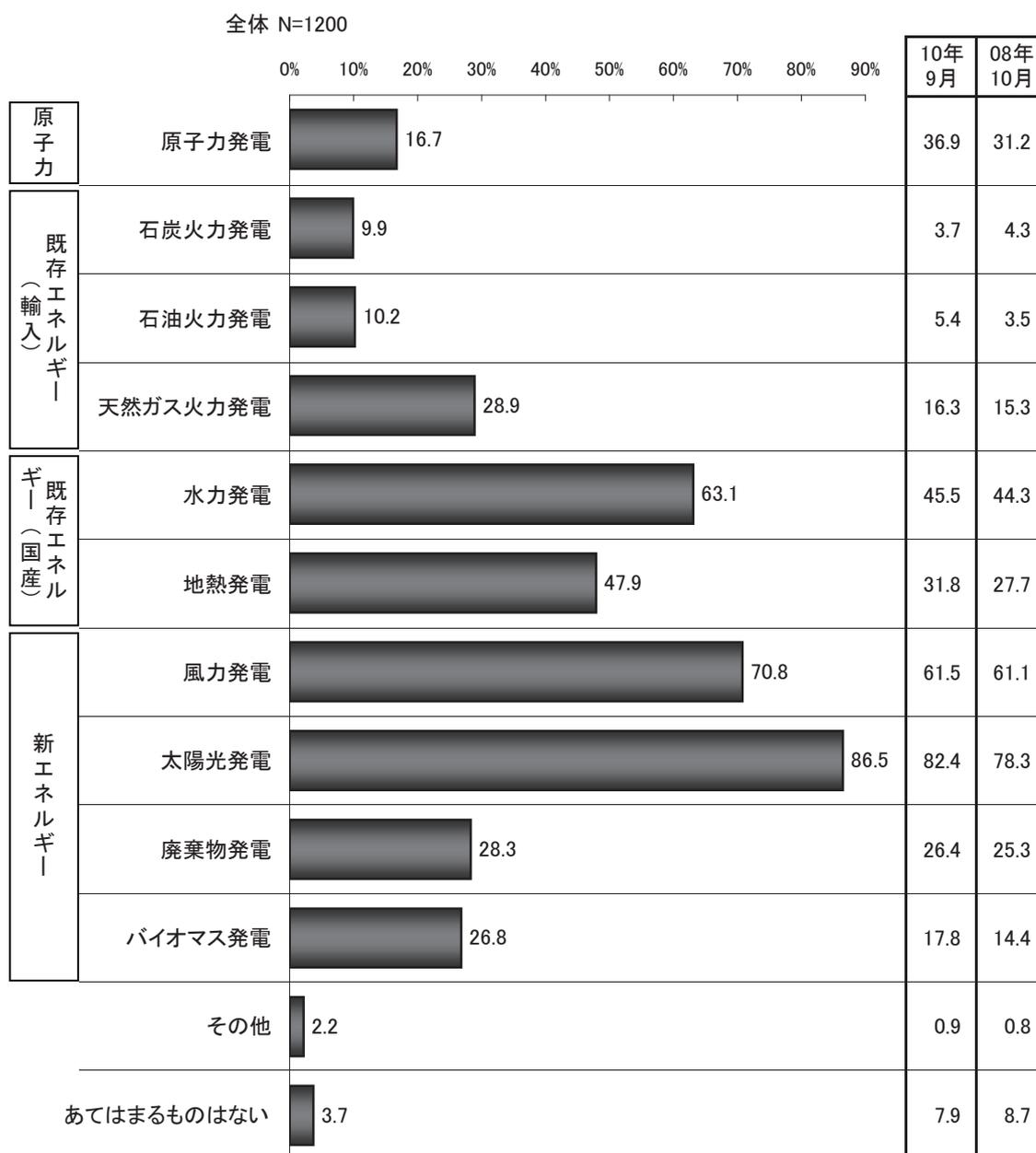


* 07年1月の選択肢は「そう思う／どちらかといえばそう思う」、07年10月は「必要である／どちらかといえば必要である」

●原子力に対する態度～今後日本が利用・活用していくべきと思うエネルギー①

今後わが国が利用・活用していくべきと思うエネルギーを尋ねたところ、5割以上の反応があったのは「太陽光発電」(86.5%)、「風力発電」(70.8%)、「水力発電」(63.1%)。前回に比べると、「原子力発電」が20ポイント以上減少。それ以外の項目はほとんどの発電方法でスコアが増加している。

問20-1. 今後日本は、どのようなエネルギーを利用・活用していけばよいと思いますか。以下にあげているエネルギーの中から、お選びください。(○はいくつでも)



* 08年10月までの質問文は「今後わが国は～」、10年9月から「今後日本は～」に変更

●原子力に対する態度～今後日本が利用・活用していくべきと思うエネルギー②

今後わが国が利用・活用していくべきと思うエネルギーを選択した理由を尋ねた。
 選択エネルギートップ3(太陽光発電、風力発電、水力発電)の理由はいずれも、「自然の力を利用すべきだから」「自然エネルギーだから」「日本にはエネルギー資源が少ないから」が上位を占める。
 また、原子力発電を選んだ理由としては、「日本にはエネルギー資源が少ないから」「エネルギーの安定供給のために多様なエネルギー源が必要だから」「化石燃料には限りがあるから」が上位に挙がる。

問20-2. あなたが問20-1でそう答えた理由は何ですか。あてはまるものをすべてお選び下さい。
 (○はいくつでも)

	全体	原子力	既存エネルギー (輸入)			既存エネ ルギー(国産)		新エネルギー				その他	10年 9月
		原子力 発電	石炭 火力 発電	石油 火力 発電	天然ガ ス火力 発電	水力 発電	地熱 発電	風力 発電	太陽光 発電	廃棄物 発電	バイオ マス 発電	その他	
N→	1200	200	119	122	347	757	575	849	1038	340	322	26	1200
エネルギーの安定供給のために多様なエネルギー源が必要だから	44.5	71.5	76.5	74.6	67.7	53.5	57.2	49.7	47.7	60.3	64.6	50.0	42.7
日本にはエネルギー資源が少ないから	51.7	73.5	61.3	61.5	59.7	56.3	58.8	54.8	54.9	61.2	62.1	53.8	52.5
化石燃料には限りがあるから	33.6	46.0	39.5	36.9	42.4	41.1	47.8	38.2	36.7	48.5	48.4	38.5	34.7
二酸化炭素を排出せず、温暖化防止に役立つから	33.5	36.5	29.4	27.9	38.3	39.2	42.8	38.3	36.4	42.9	47.8	38.5	39.4
発電価格(コスト)の面で有利だから	5.9	17.0	18.5	14.8	9.2	7.0	8.0	6.7	6.3	10.3	8.7	15.4	5.7
自然エネルギーだから	57.4	38.0	52.9	49.2	61.1	65.4	66.3	64.8	62.8	67.1	69.9	61.5	49.3
国産のエネルギーを増やすことは重要だから	21.5	28.0	31.1	32.8	31.1	26.8	30.8	25.4	23.8	35.9	38.2	46.2	20.3
安全そうだから	44.8	14.0	47.9	46.7	45.0	52.0	47.7	49.9	48.1	50.9	47.5	30.8	33.4
よく聞くから	7.7	7.0	7.6	7.4	8.1	7.9	5.7	8.1	8.6	7.9	7.1	-	8.5
自然の力を利用すべきだから	58.9	45.0	60.5	54.1	66.0	66.6	68.0	66.0	64.4	69.4	68.6	65.4	51.1
枯渇の心配がないから	16.3	15.5	21.8	20.5	21.6	20.6	23.7	18.4	17.8	25.3	31.1	42.3	13.0
その他	1.0	0.5	1.7	1.6	1.4	0.8	1.2	0.7	1.0	1.5	2.2	26.9	0.3
あてはまるものはない	5.7	2.0	4.2	3.3	1.4	1.7	1.9	1.9	1.5	1.5	1.2	3.8	9.4

(%)

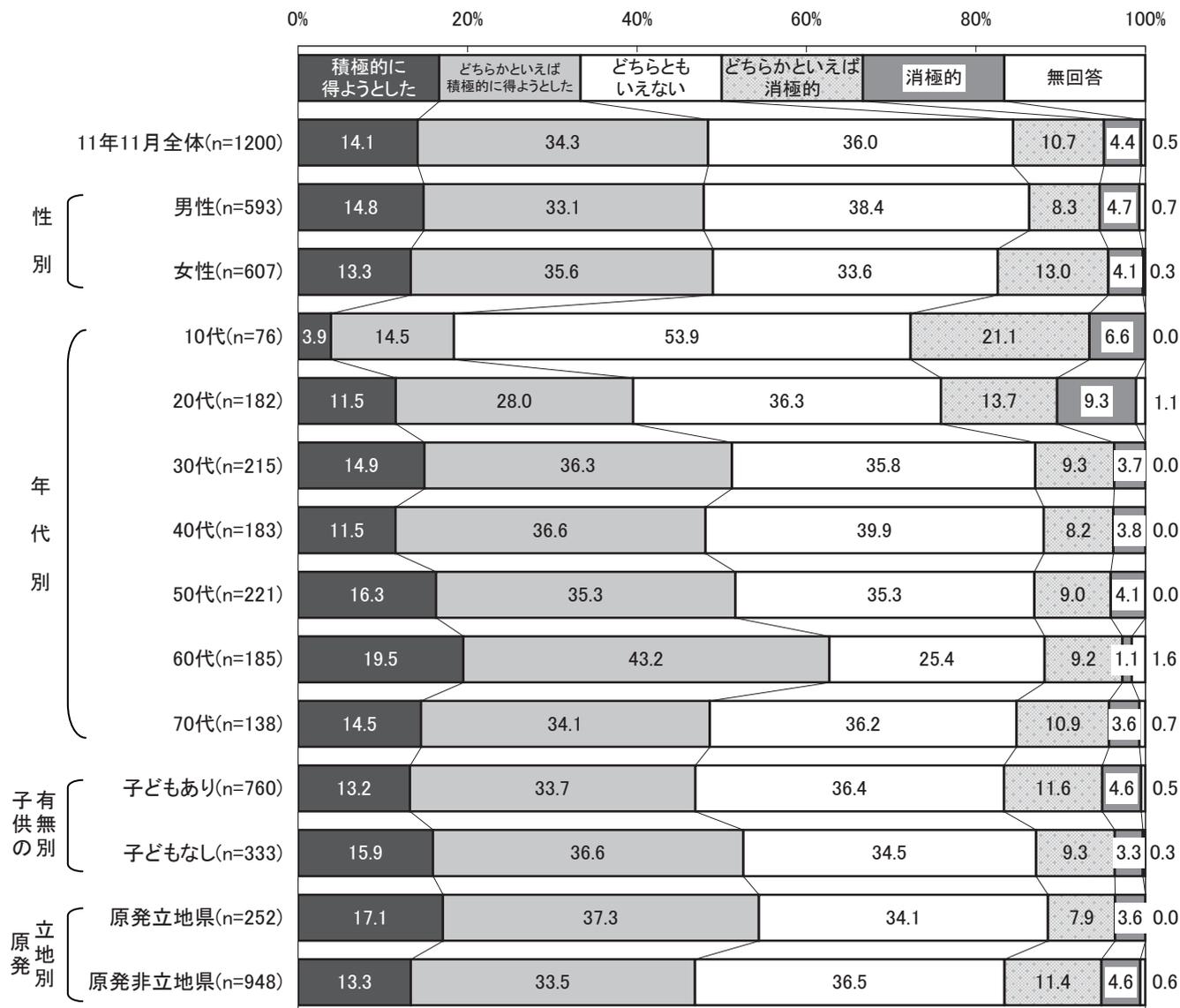
*「二酸化炭素を排出せず～」は、10年9月まで「CO2を排出せず～」で聴取

Ⅸ章 福島第一事故に関する
情報収集の積極性および不安に思う事柄

●事故や原子力・放射線についての情報収集態度

東京電力(株)・福島第一原子力発電所事故や原子力・放射線についての情報を積極的に得ようとしたかを尋ねた。「積極的に得ようとした」という回答は14.1%、「どちらかといえば積極的に得ようとした」は34.3%で、積極的な回答(「積極的に得ようとした」+「どちらかといえば積極的に得ようとした」)は48.4%。
年代別では、60代で積極的な回答が62.7%と最も高い。
原発立地別でみると、積極的な回答は非立地県(46.8%)よりも立地県(54.4%)で高い割合。

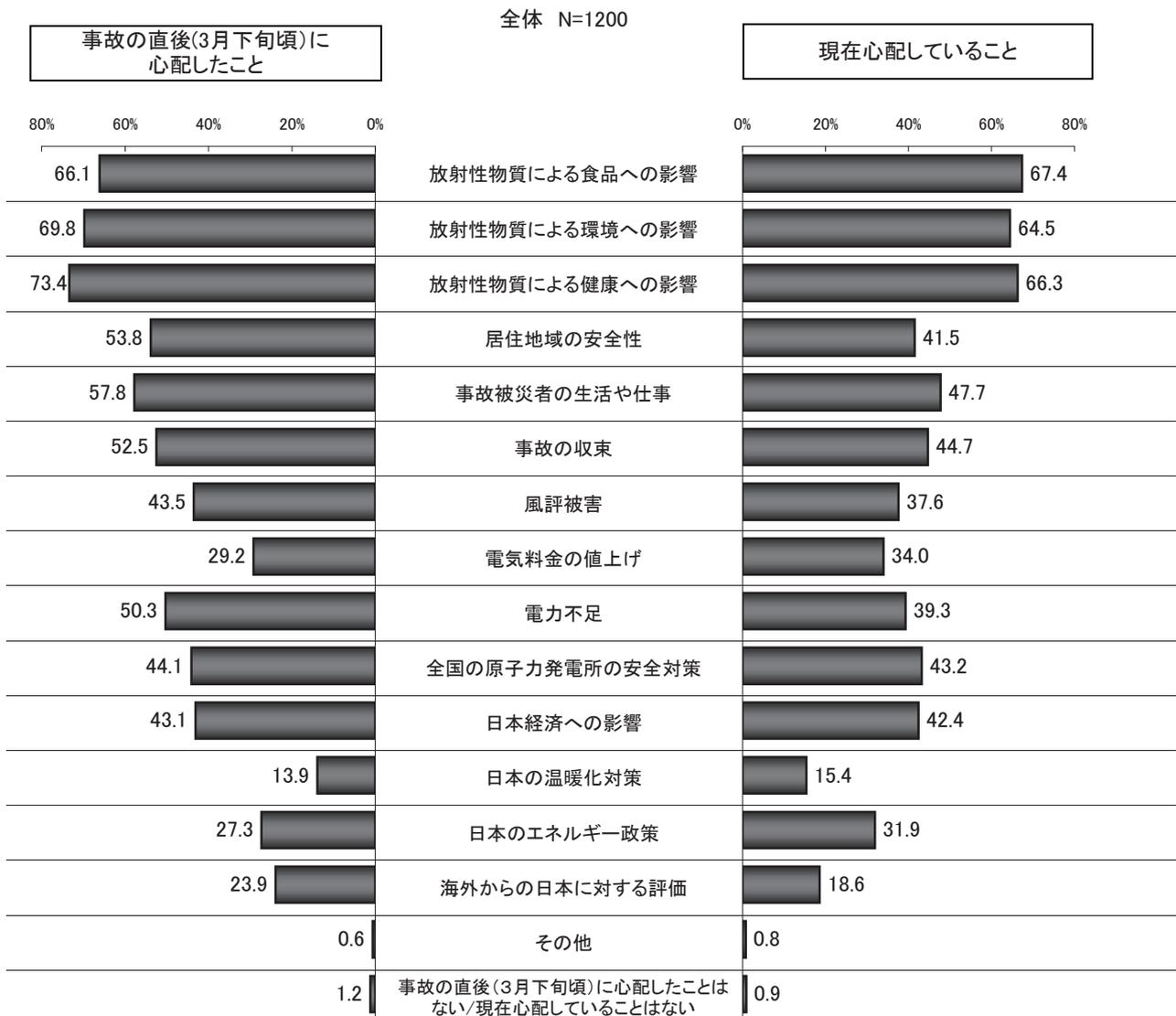
問22. あなたは、東京電力(株)・福島第一原子力発電所事故や原子力・放射線についての情報を積極的に得ようとしたか。(○は1つだけ)



● 事故の直後(3月下旬頃)に心配したこと・現在心配していること

事故に関連して心配したこと、心配していることを、事故直後(3月下旬頃)と現在とに分けて尋ねた。事故直後、現在のいずれも「放射性物質による食品への影響」「放射性物質による環境への影響」「放射性物質による健康への影響」といった、放射性物質に関する項目が上位に挙がる。現在に比べて事故直後の方が高い項目が多く、中でも「居住地域の安全性」「電力不足」「事故被災者の生活や仕事」は10ポイント以上の差がみられる。一方、「電気料金の値上げ」「日本のエネルギー政策」は現在の方が約5ポイント高い。

問23. 東京電力(株)・福島第一原子力発電所事故に関連して心配したこと、心配していることは何ですか。事故の直後(3月下旬頃)と現在で、あてはまるものをすべてお選び下さい。(〇はいくつでも)

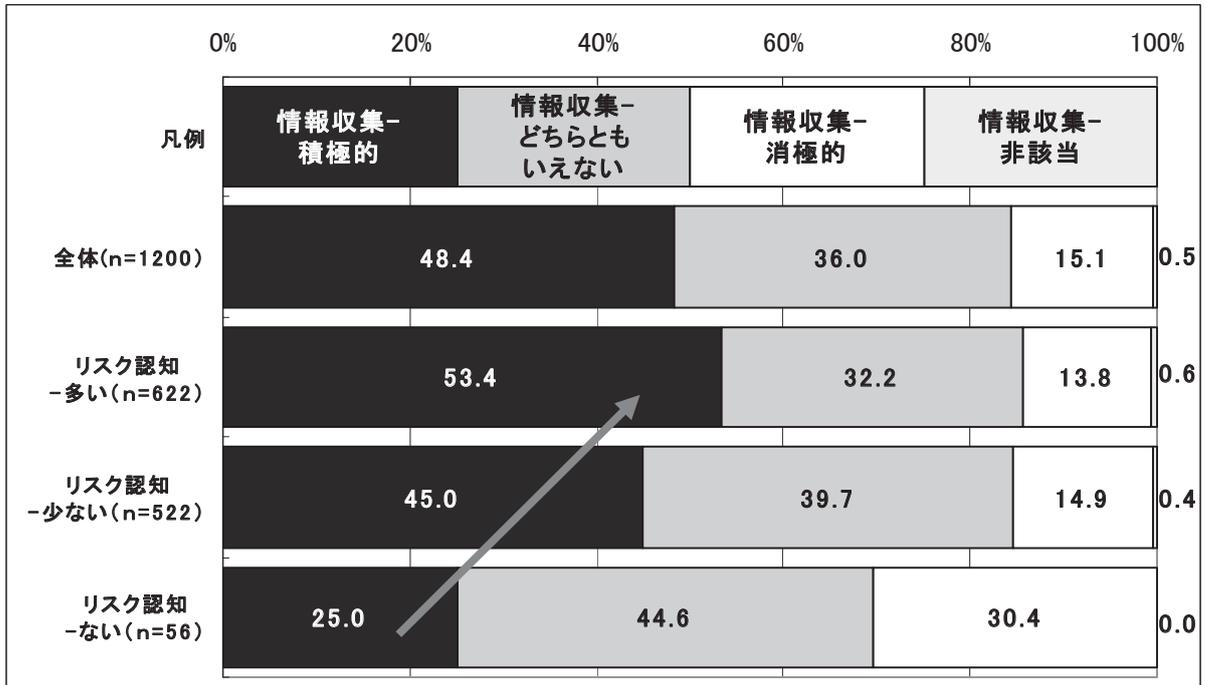


Ⅹ章 情報収集の積極性に着目した
「原子力に対する態度」や「原子力のリスク認知」、
「原子力のベネフィット認知」にいたる経緯の分析

1. 「原子力のリスク認知」「原子力のベネフィット認知」「原子力に対する態度」の形成について

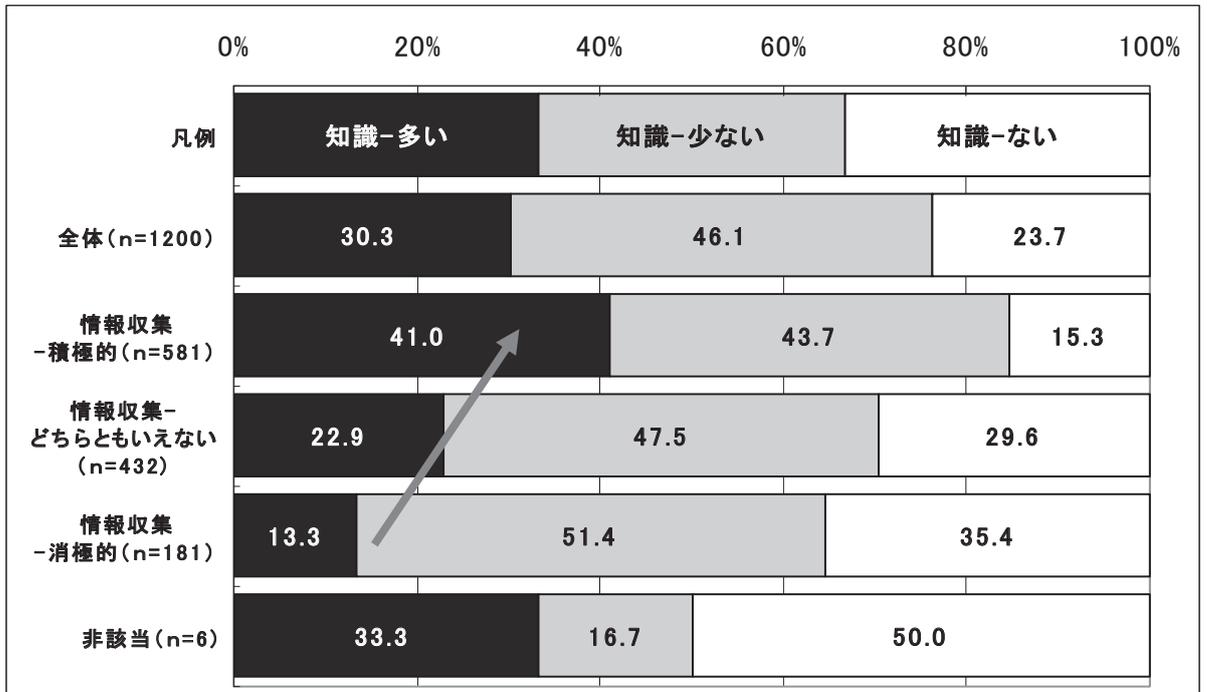
【図表 1】放射線に対するリスク認知の多さ別 情報収集の積極性(問16×問22)

「放射線に対するリスク認知」の多い層ほど「情報収集の積極性」が高い人の割合が高い



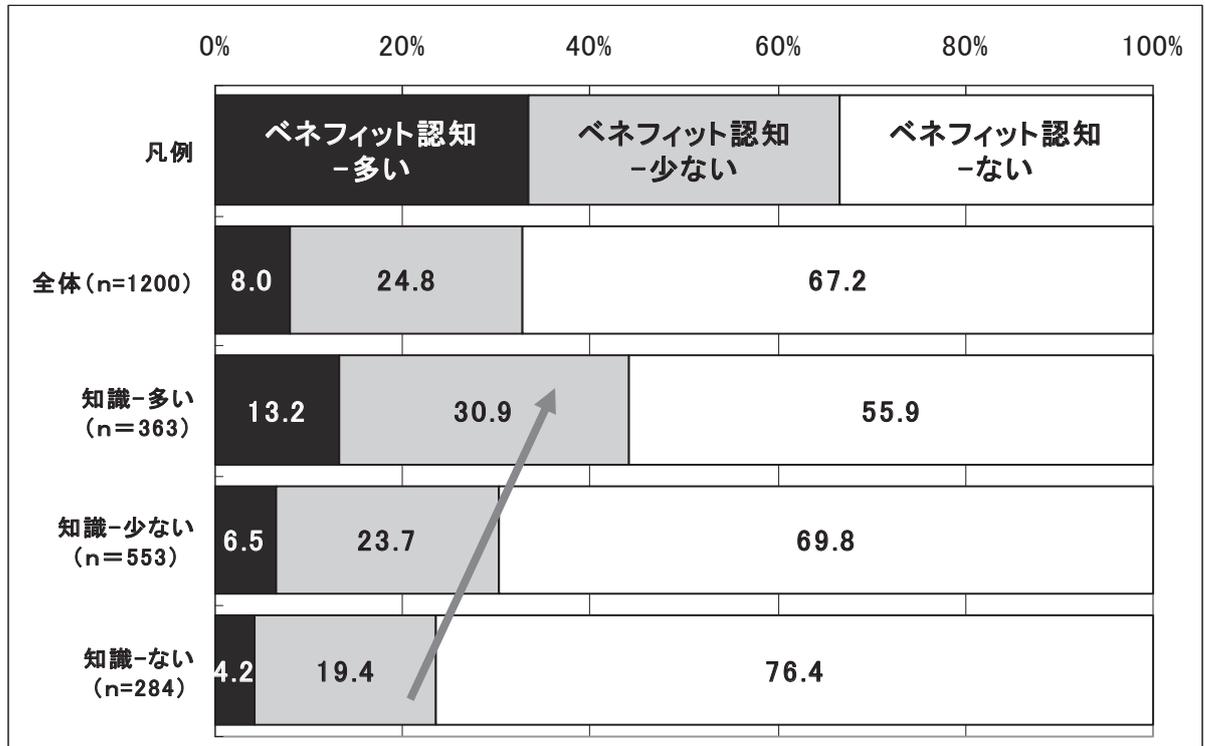
【図表 2】情報収集の積極性別 放射線に関する知識の多さ(問22×問6)

「情報収集の積極性」の高い層ほど「放射線に関する知識」が多い人の割合が高い



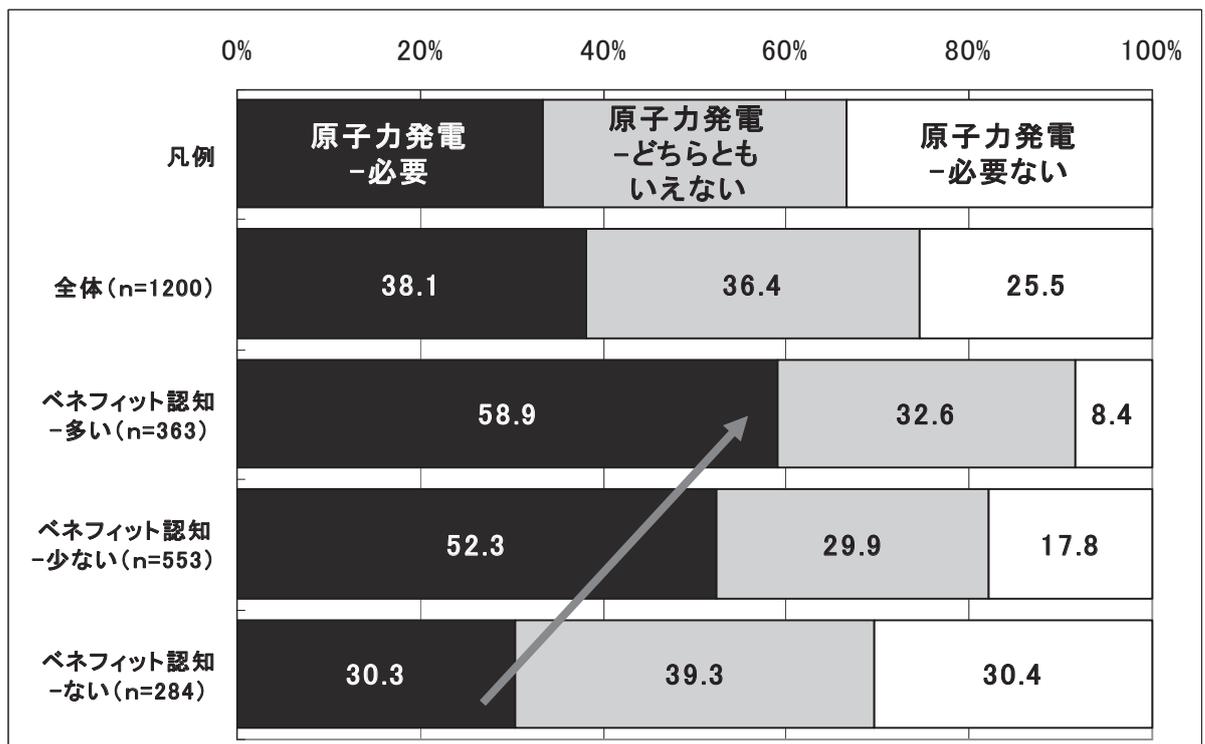
【図表3】放射線に関する知識の多さ別 ベネフィット認知の多さ(問6×問4・問5役に立つ)

「放射線に関する知識」が多い層になるほど「原子力や放射線に関するベネフィット認知」が多い人の割合が高い

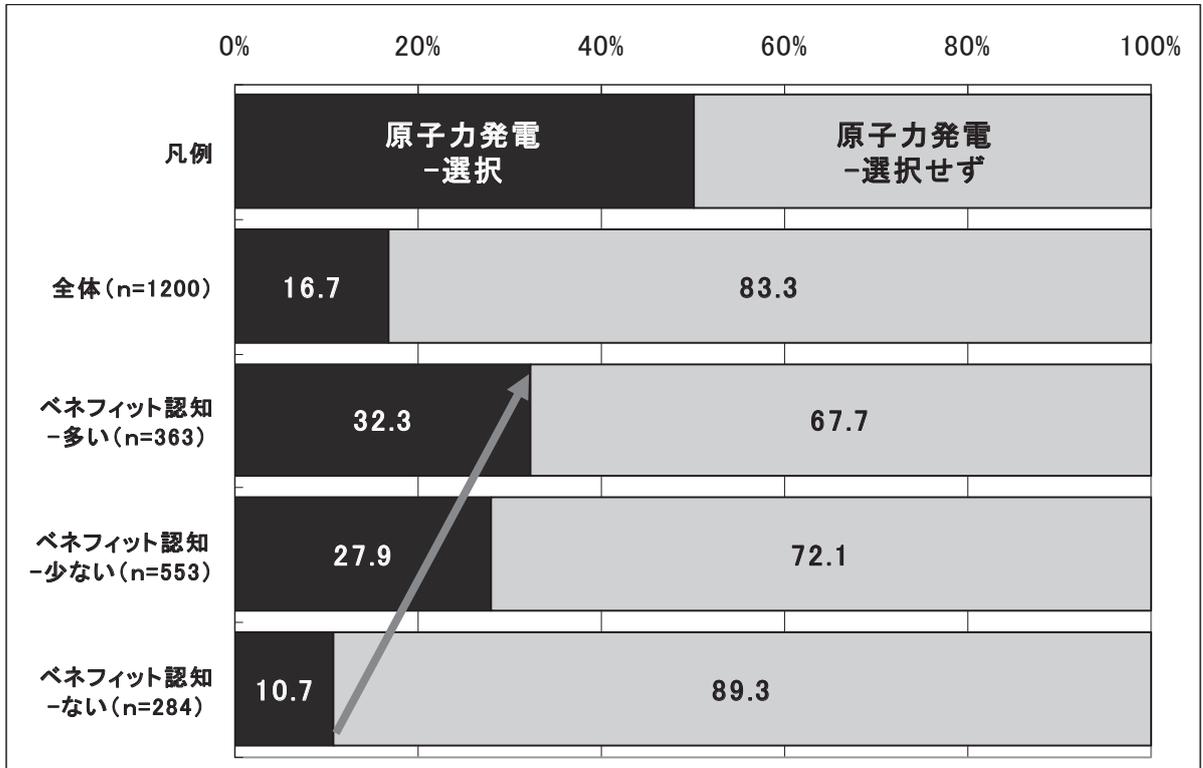


【図表4】ベネフィット認知の有無別 原子力発電の必要性(問6×問10-b)

「原子力や放射線に対するベネフィット認知」の多い層になるほど、「原子力発電が必要である」と回答する人の割合が高い



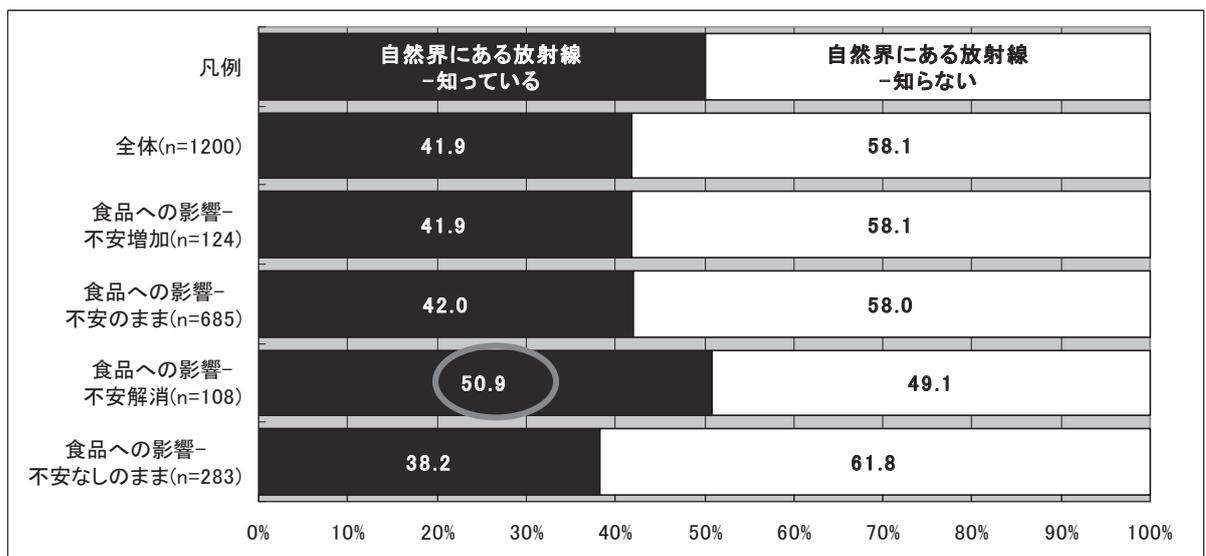
【図表5】ベネフィット認知の有無別 今後活用すべきエネルギー源(問6×問20原子力発電)
 「原子力や放射線に対するベネフィット認知」の多い層になるほど、今後活用すべきエネルギー源で「原子力発電」を選択した人の割合が高い



2. 不安の変化別の放射線に関する知識について

【図表6】食品への影響に対する不安の変化別 「自然界にある放射線」の知識
 (問23・食品×問6・自然界にある放射線)

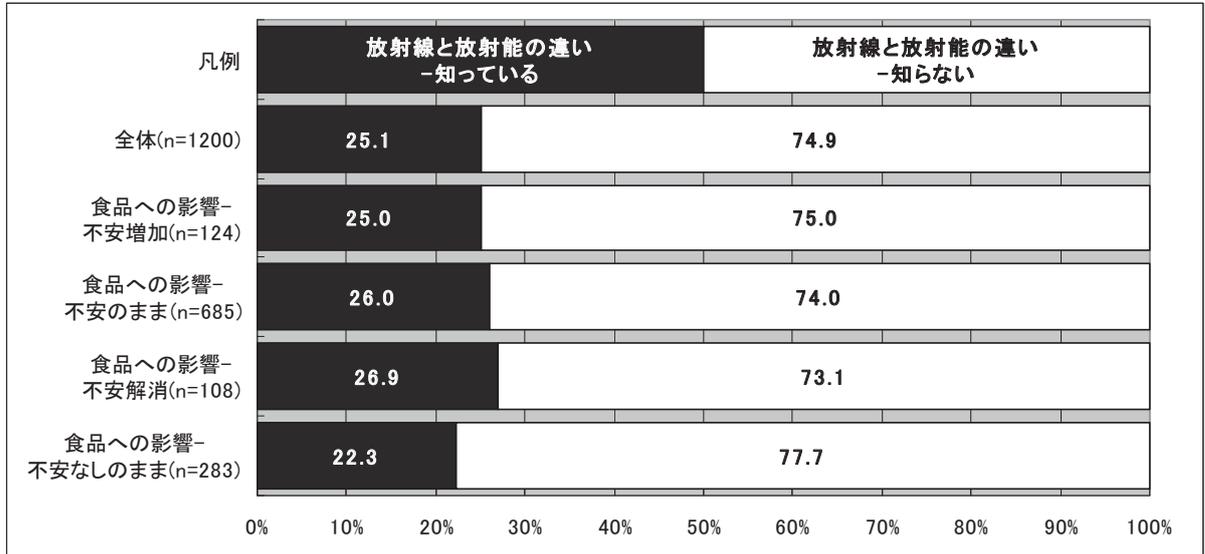
「食品への影響に対する不安が解消された層」は「自然界にある放射線」について知っている人の割合が高い



【図表7】食品への影響に対する不安の変化別「放射線と放射能の違い」の知識

(問23・食品×問6・放射線と放射能の違い)

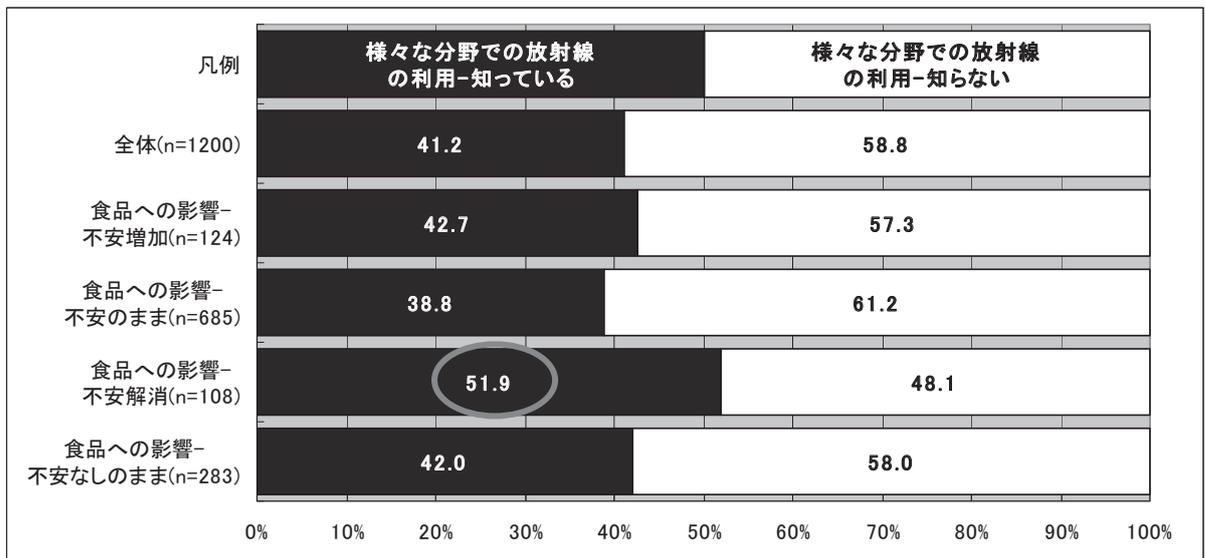
食品への影響に対する不安の変化は「放射線と放射能の違い」について知っている人と知らない人の割合に差がない



【図表8】食品への影響に対する不安の変化別「様々な分野での放射線利用」の知識

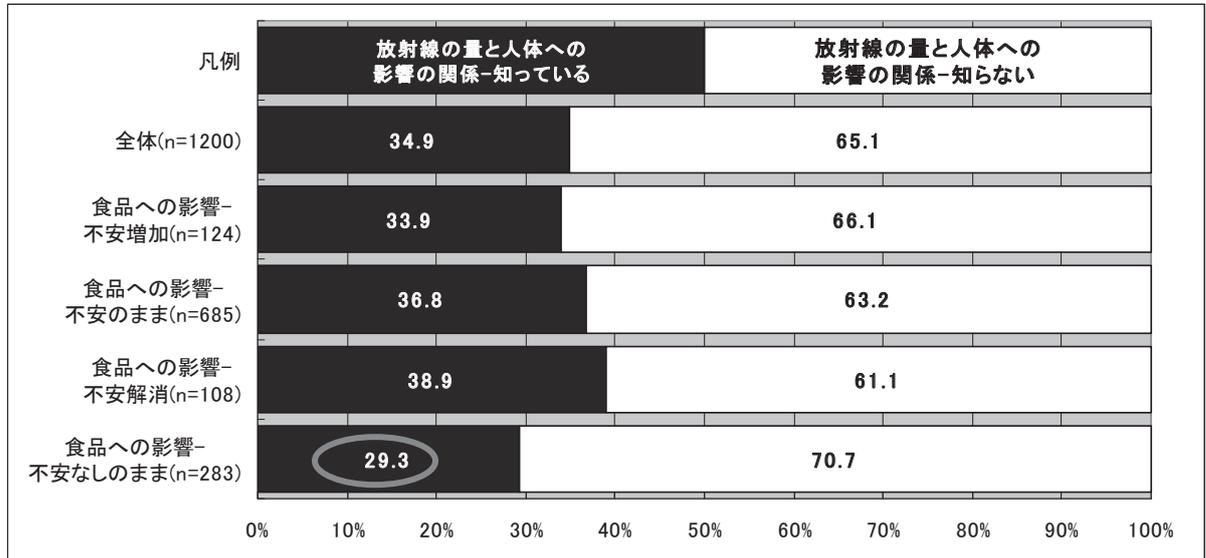
(問23・食品×問6・様々な分野での放射線利用)

「食品への影響に対する不安が解消された層」は「様々な分野での放射線利用」について知っている人の割合が高い



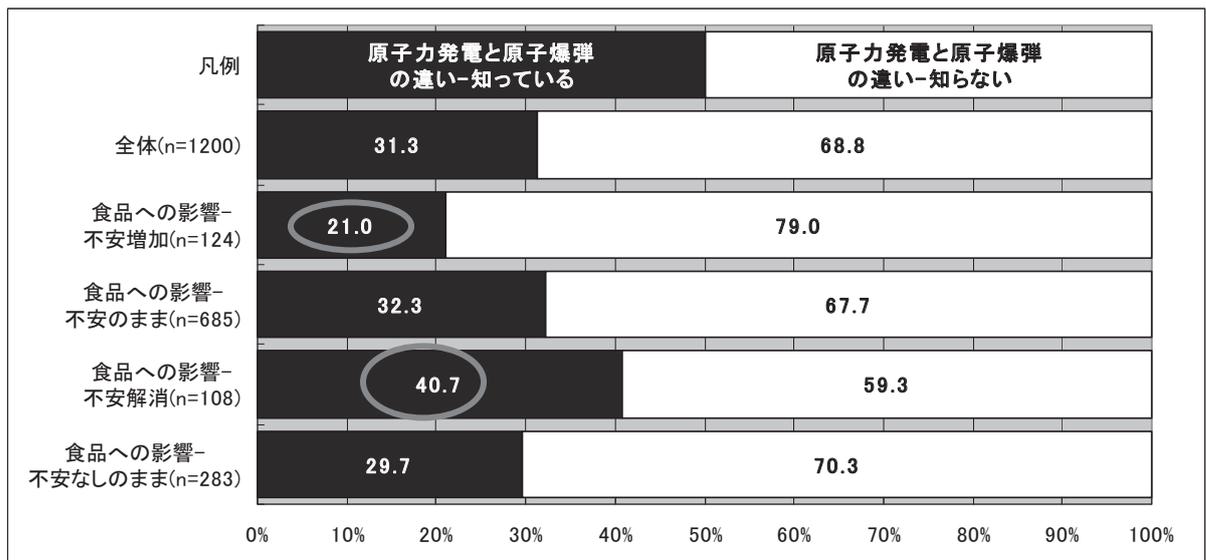
【図表9】食品への影響に対する不安の変化別「放射線の量と人体への影響の関係」の知識
 (問23・食品×問6・放射線の量と人体への影響の関係)

「食品への影響に対する不安がないままの層」は「放射線の量と人体への影響の関係」について知っている人の割合が低い



【図表10】食品への影響に対する不安の変化別「原子力発電と原子爆弾の違い」の知識
 (問23・食品×問6・原子力発電と原子爆弾の違い)

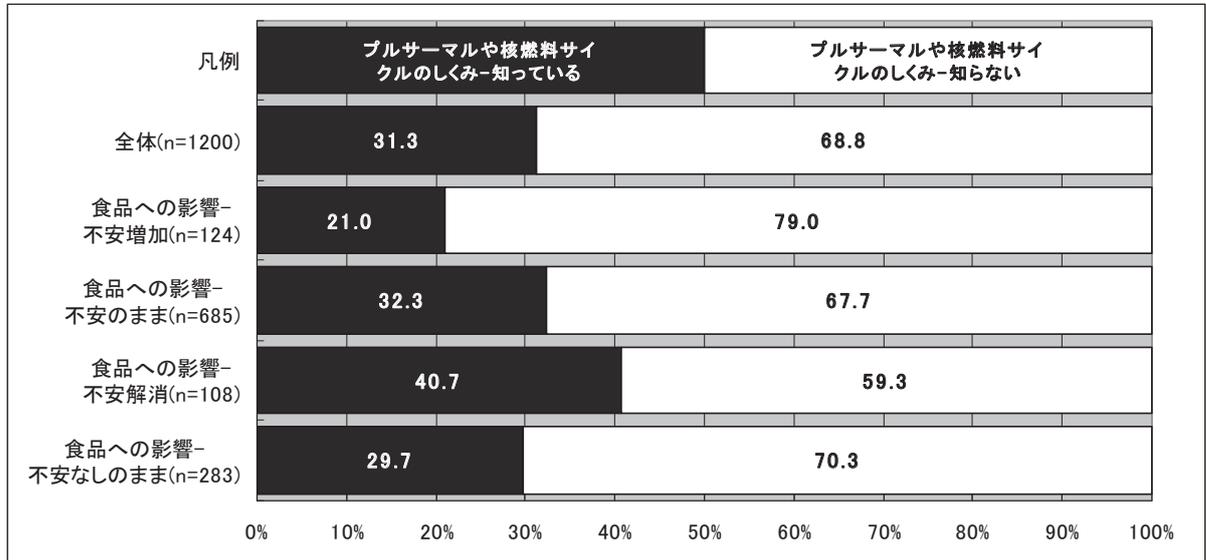
「食品への影響に対する不安が増加した層」は「原子力発電と原子爆弾の違い」について知っている人の割合が低く、「食品への影響に対する不安が解消された層」は「原子力発電と原子爆弾の違い」について知っている人の割合が高い



【図表11】食品への影響に対する不安の変化別「プルサーマルや核燃料サイクルのしくみ」の知識

(問23・食品×問6・プルサーマルや核燃料サイクルのしくみ)

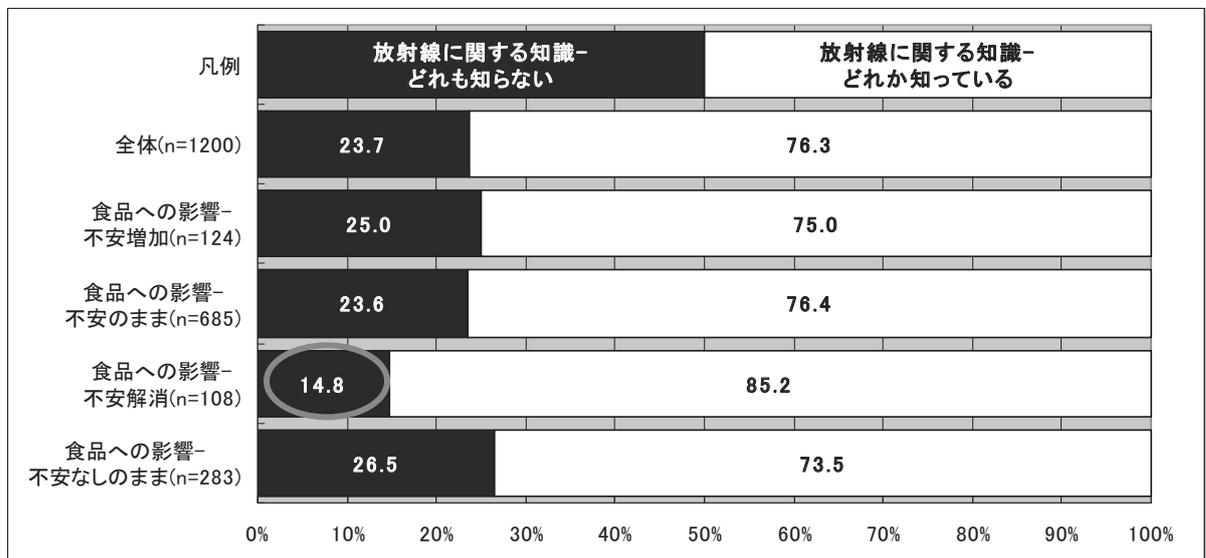
食品への影響に対する不安の変化は「プルサーマルや核燃料サイクルのしくみ」について知っている人と知らない人の割合に差がない



【図表12】食品への影響に対する不安の変化別「どれも知らない」

(問23・食品×問6・どれも知らない)

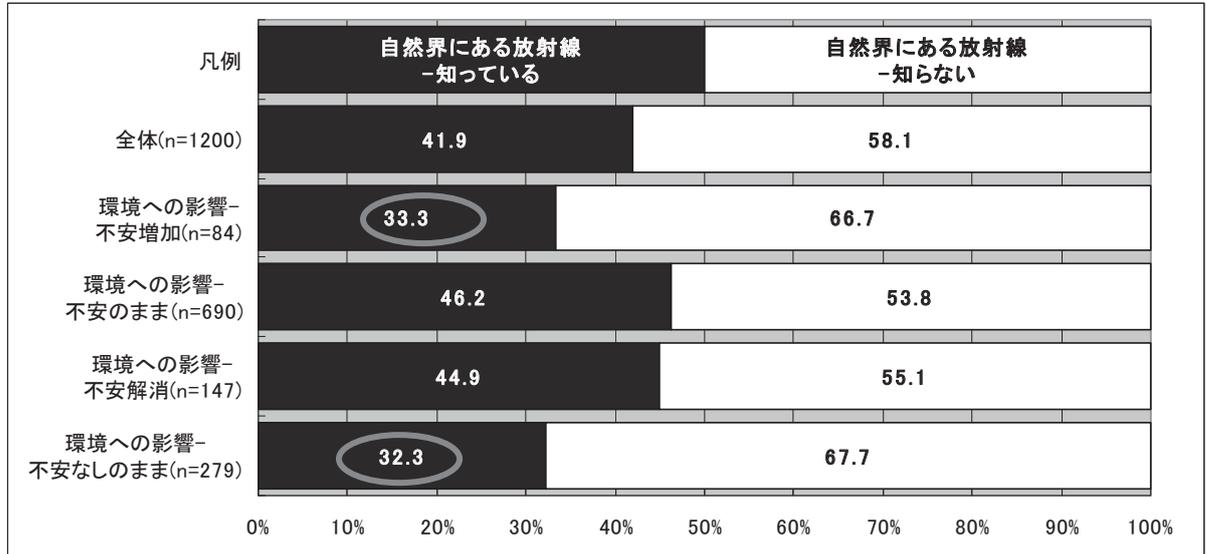
「食品への影響に対する不安が解消された層」は「どれも知らない」人の割合が低い



【図表13】環境への影響に対する不安の変化別「自然界にある放射線」の知識

(問23・環境×問6・自然界にある放射線)

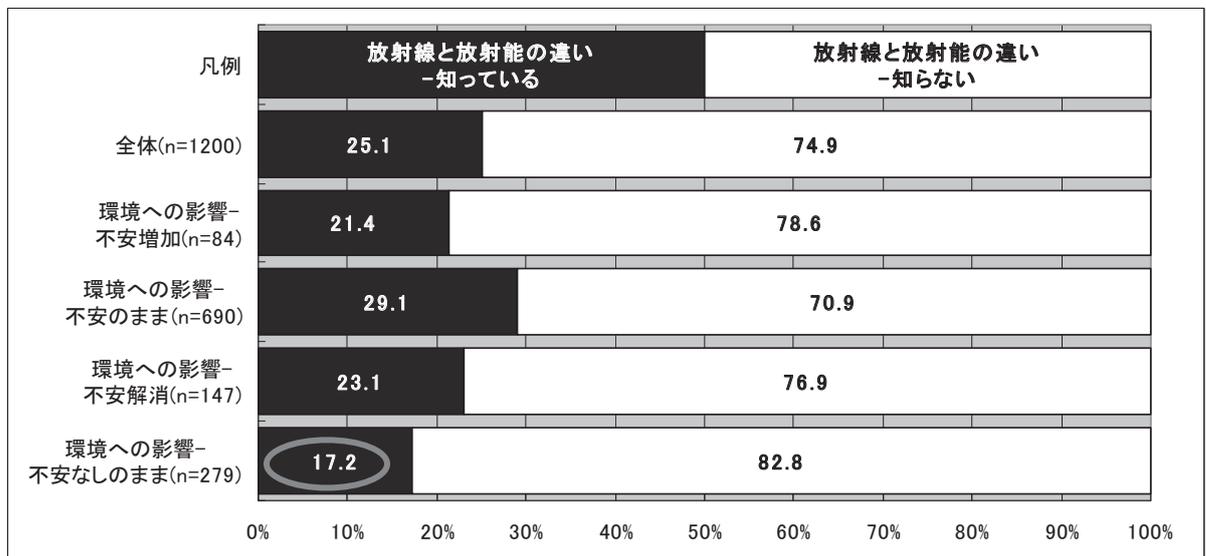
「環境への影響に対する不安が増加した層」と「環境への影響に対する不安ないままの層」は「自然界にある放射線」について知っている人の割合が低い



【図表14】環境への影響に対する不安の変化別「放射線と放射能の違い」の知識

(問23・環境×問6・放射線と放射能の違い)

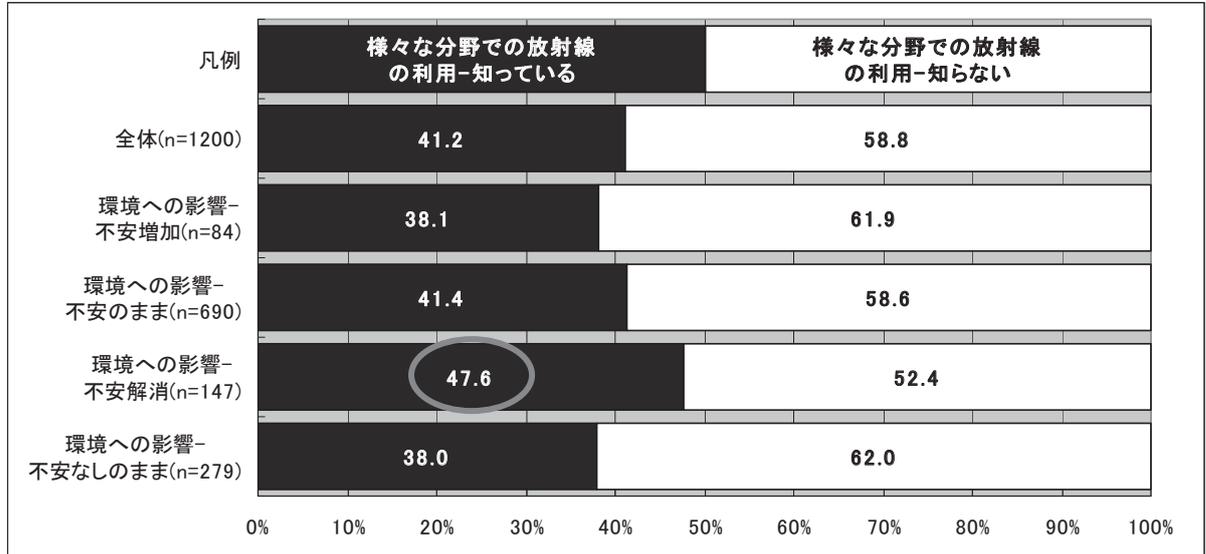
「環境への影響に対する不安ないままの層」は「放射線と放射能の違い」について知っている人の割合が低い



【図表15】環境への影響に対する不安の変化別「様々な分野での放射線利用」の知識

(問23・環境×問6・様々な分野での放射線利用)

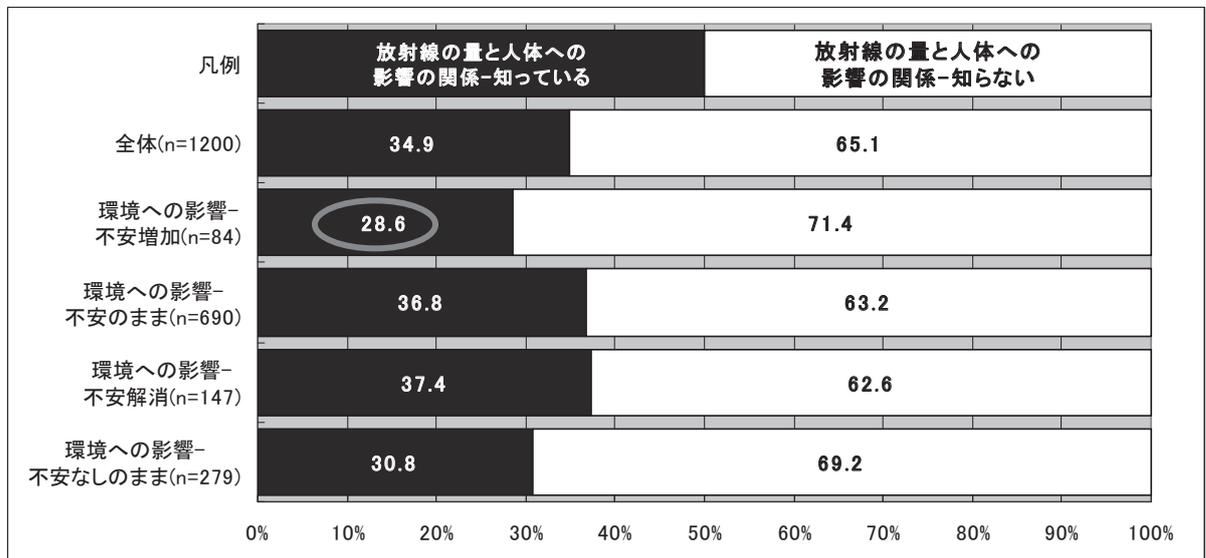
「環境への影響に対する不安が解消された層」は「様々な分野での放射線利用」について知っている人の割合が高い



【図表16】環境への影響に対する不安の変化別「放射線の量と人体への影響の関係」の知識

(問23・環境×問6・放射線の量と人体への影響の関係)

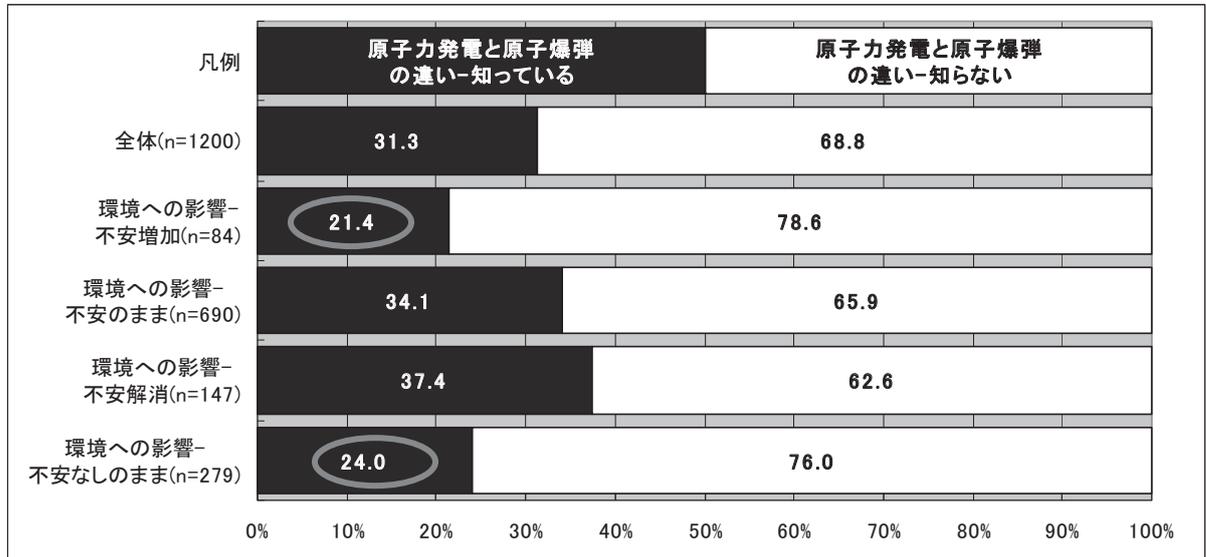
「環境への影響に対する不安が増加した層」は「放射線の量と人体への影響の関係」について知っている人の割合が低い



【図表17】環境への影響に対する不安の変化別「原子力発電と原子爆弾の違い」の知識

(問23・環境×問6・原子力発電と原子爆弾の違い)

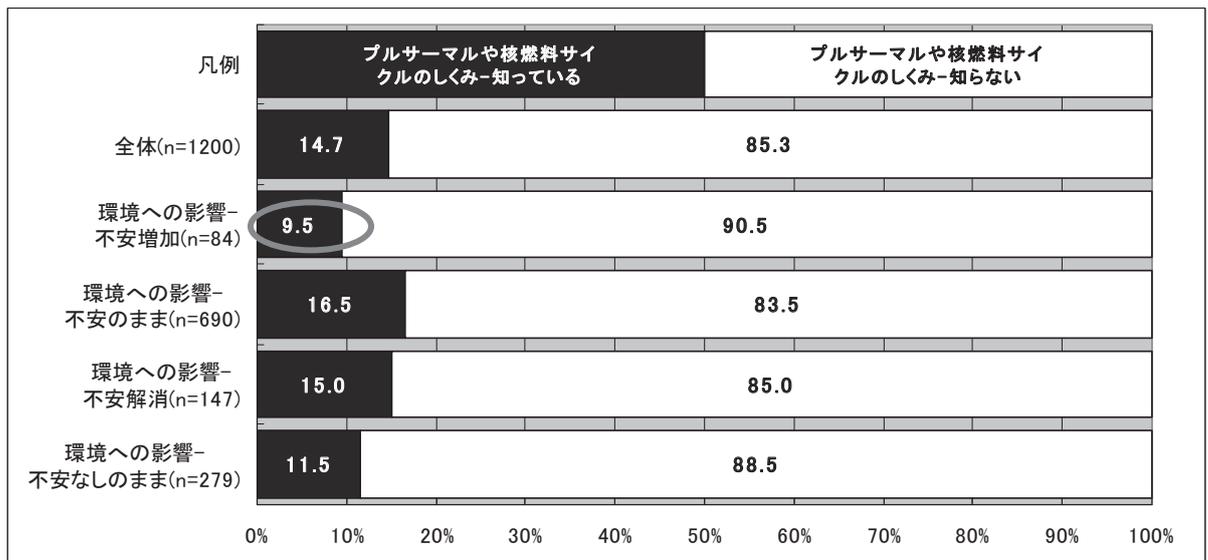
「環境への影響に対する不安が増加した層」と「環境への影響に対する不安がないままの層」は「原子力発電と原子爆弾の違い」について知っている人の割合が低い



【図表18】環境への影響に対する不安の変化別「プルサーマルや核燃料サイクルのしくみ」の知識

(問23・環境×問6・プルサーマルや核燃料サイクルのしくみ)

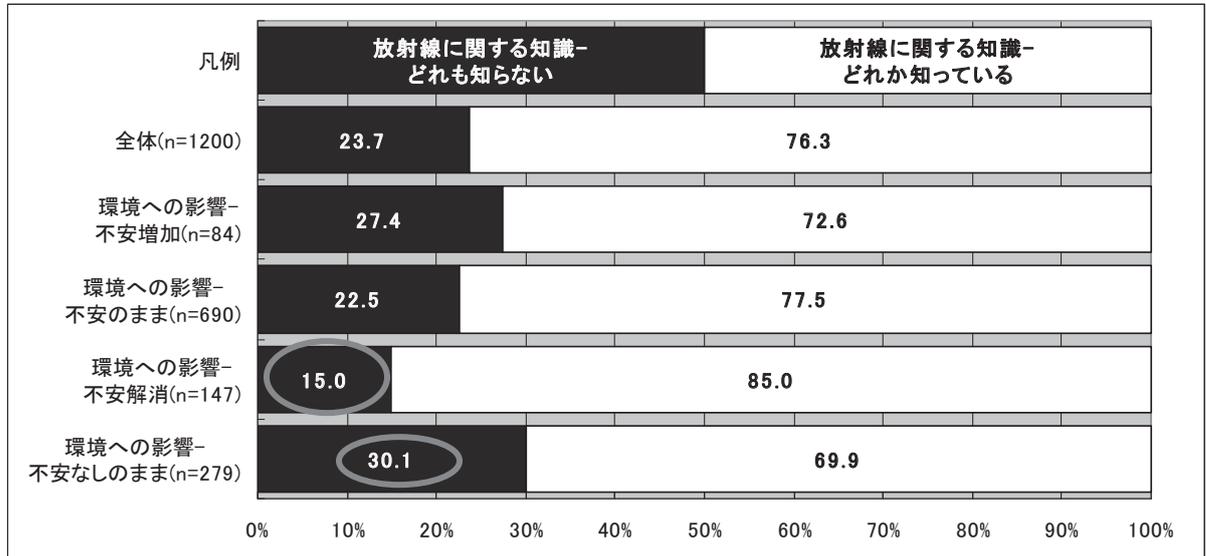
「環境への影響に対する不安が増加した層」は「プルサーマルや核燃料サイクルのしくみ」について知っている人の割合が低い



【図表19】環境への影響に対する不安の変化別 「どれも知らない」

(問23・環境×問6・どれも知らない)

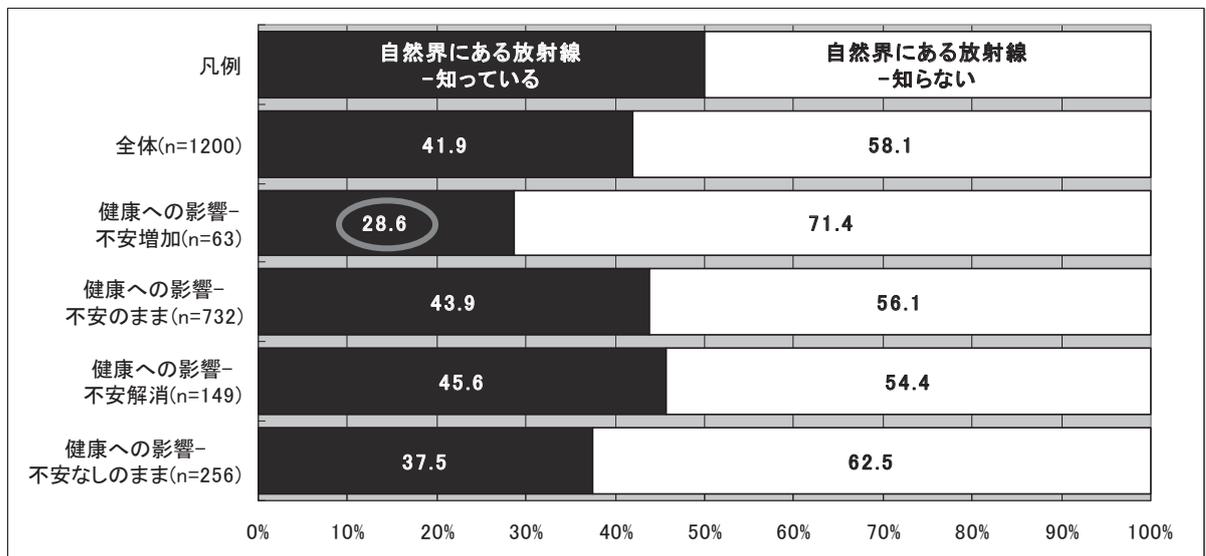
「環境への影響に対する不安が解消した層」は「どれも知らない」人の割合が低く、「環境への影響に対する不安がないままの層」は、「どれも知らない」人の割合が高い。



【図表20】健康への影響に対する不安の変化別 「自然界にある放射線」の知識

(問23・健康×問6・自然界にある放射線)

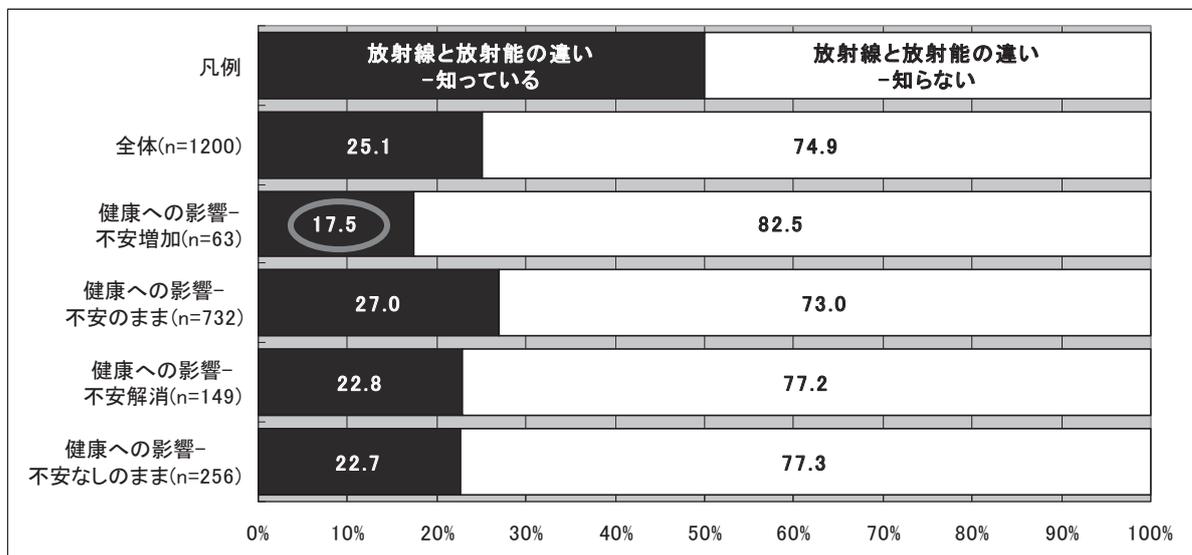
「健康への影響に対する不安が増加した層」は「自然界にある放射線」について知っている人の割合が低い



【図表21】健康への影響に対する不安の変化別「放射線と放射能の違い」の知識

(問23・健康×問6・放射線と放射能の違い)

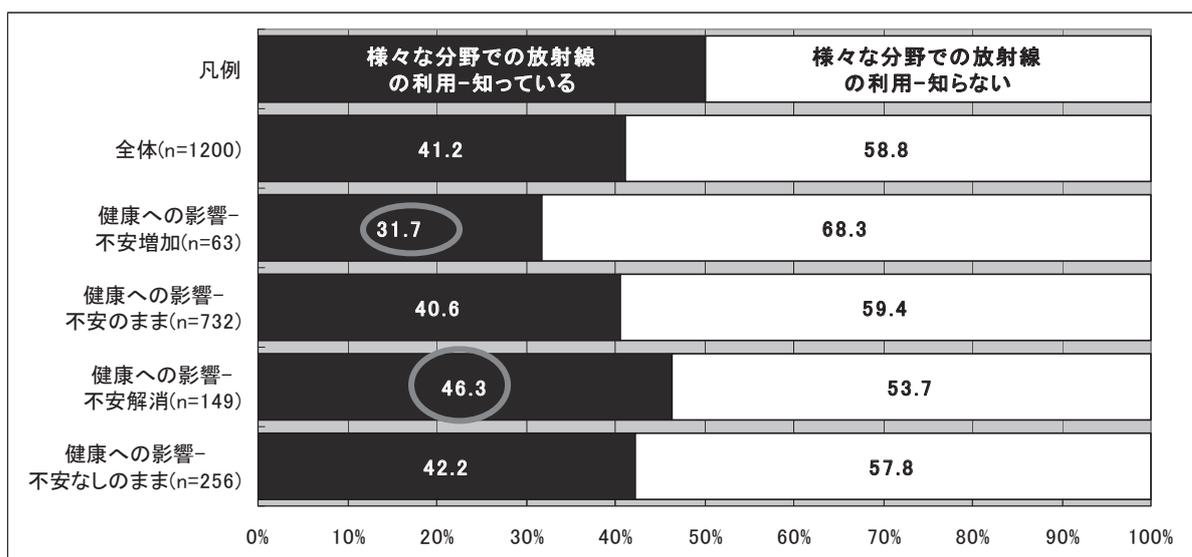
「健康への影響に対する不安が増加した層」は「放射線と放射能の違い」について知っている人の割合が低い



【図表22】健康への影響に対する不安の変化別「様々な分野での放射線利用」の知識

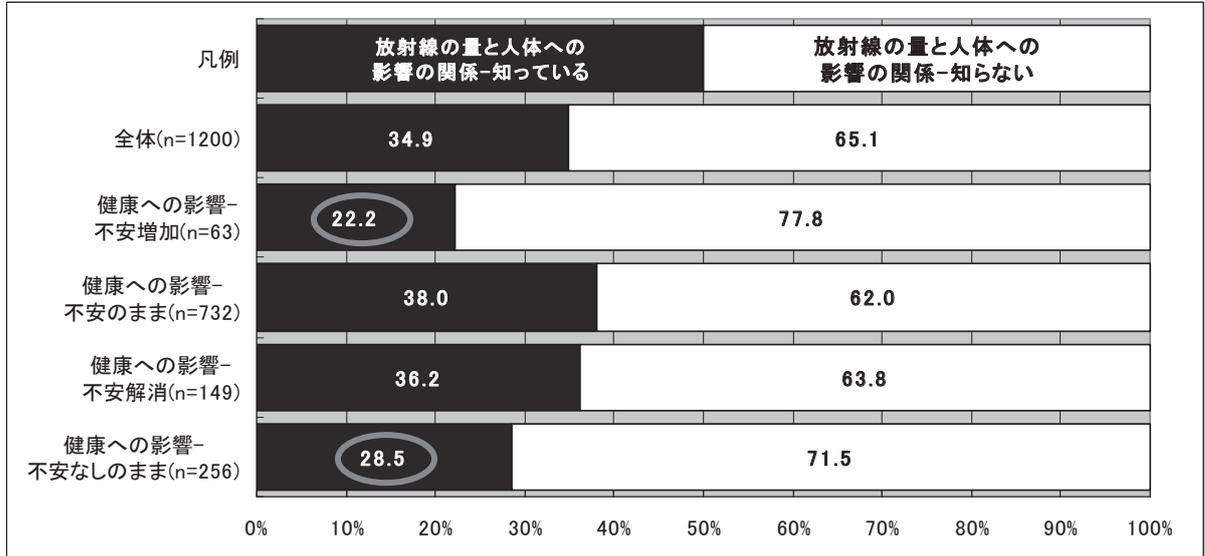
(問23・健康×問6・様々な分野での放射線利用)

「健康への影響に対する不安が増加した層」は「様々な分野での放射線利用」について知っている人の割合が低く、「健康への影響に対する不安が解消した層」は「様々な分野での放射線利用」について知っている人の割合が高い



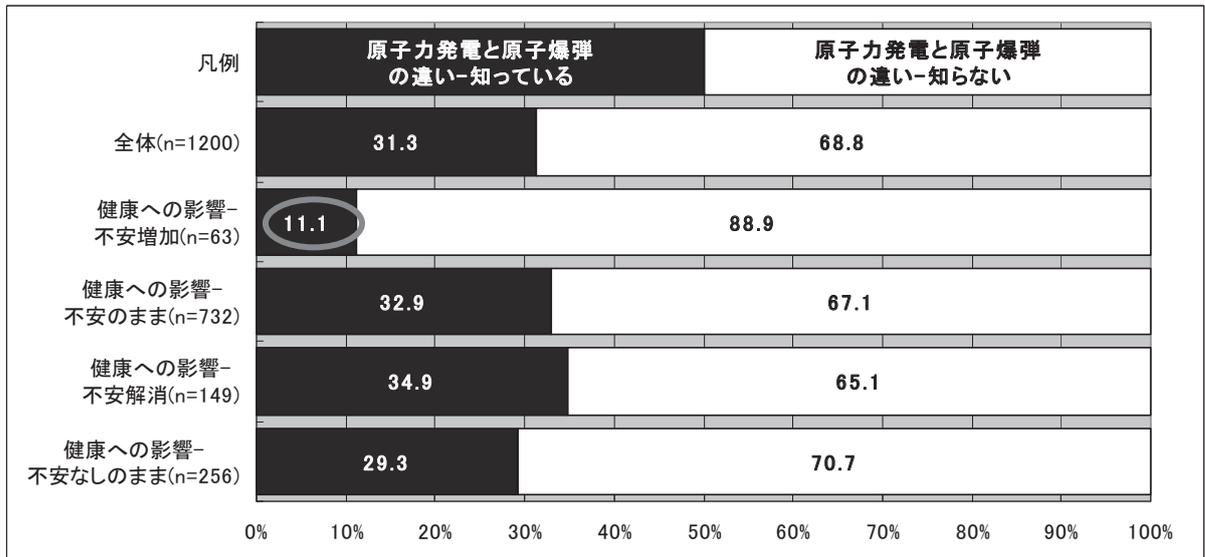
【図表23】健康への影響に対する不安の変化別 「放射線の量と人体への影響の関係」の知識
 (問23・健康×問6・放射線の量と人体への影響の関係)

「健康への影響に対する不安が増加した層」と「健康への影響に対する不安がないままの層」は「放射線の量と人体への影響の関係」について知っている人の割合が低い



【図表24】健康への影響に対する不安の変化別 「原子力発電と原子爆弾の違い」の知識
 (問23・健康×問6・原子力発電と原子爆弾の違い)

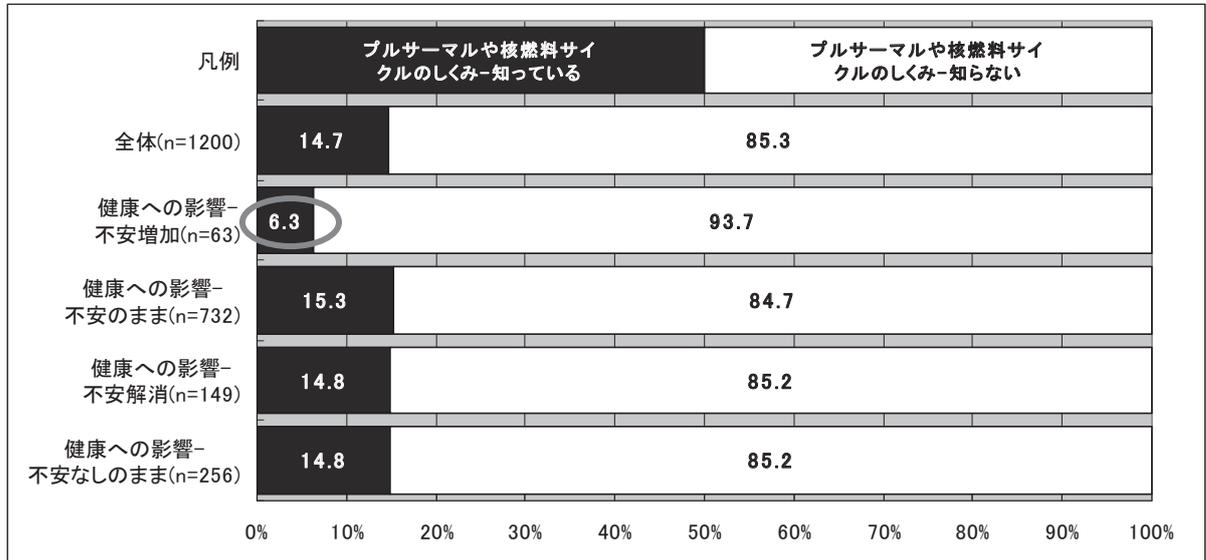
「健康への影響に対する不安が増加した層」は「原子力発電と原子爆弾の違い」について知っている人の割合が低い



【図表25】健康への影響に対する不安の変化別「プルサーマルや核燃料サイクルのしくみ」の知識

(問23・健康×問6・プルサーマルや核燃料サイクルのしくみ)

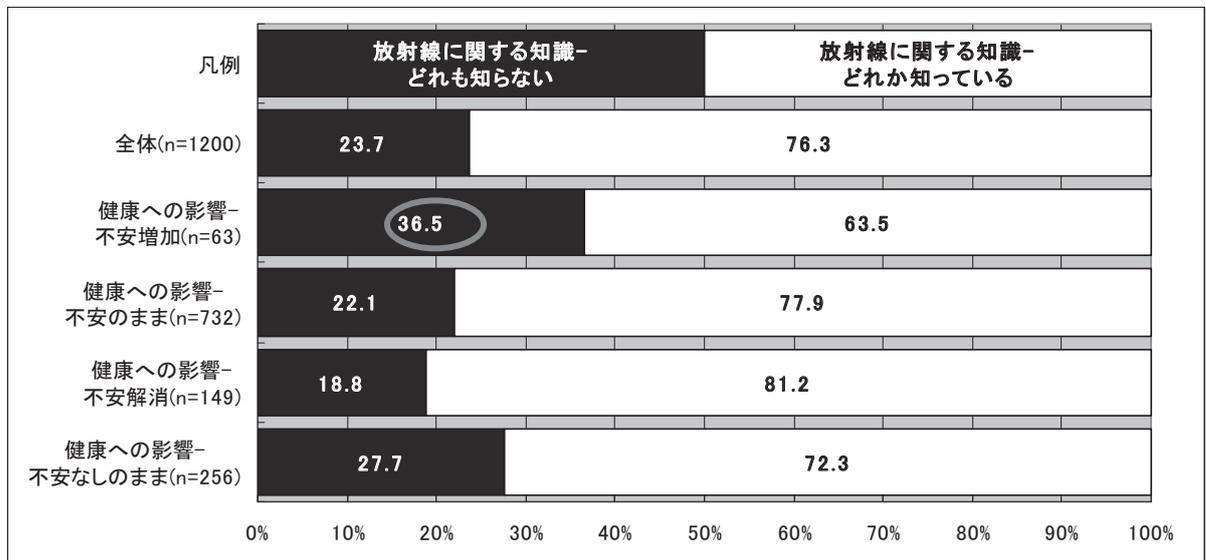
「健康への影響に対する不安が増加した層」は「プルサーマルや核燃料サイクルのしくみ」について知っている人の割合が低い



【図表26】健康への影響に対する不安の変化別「どれも知らない」

(問23・健康×問6・どれも知らない)

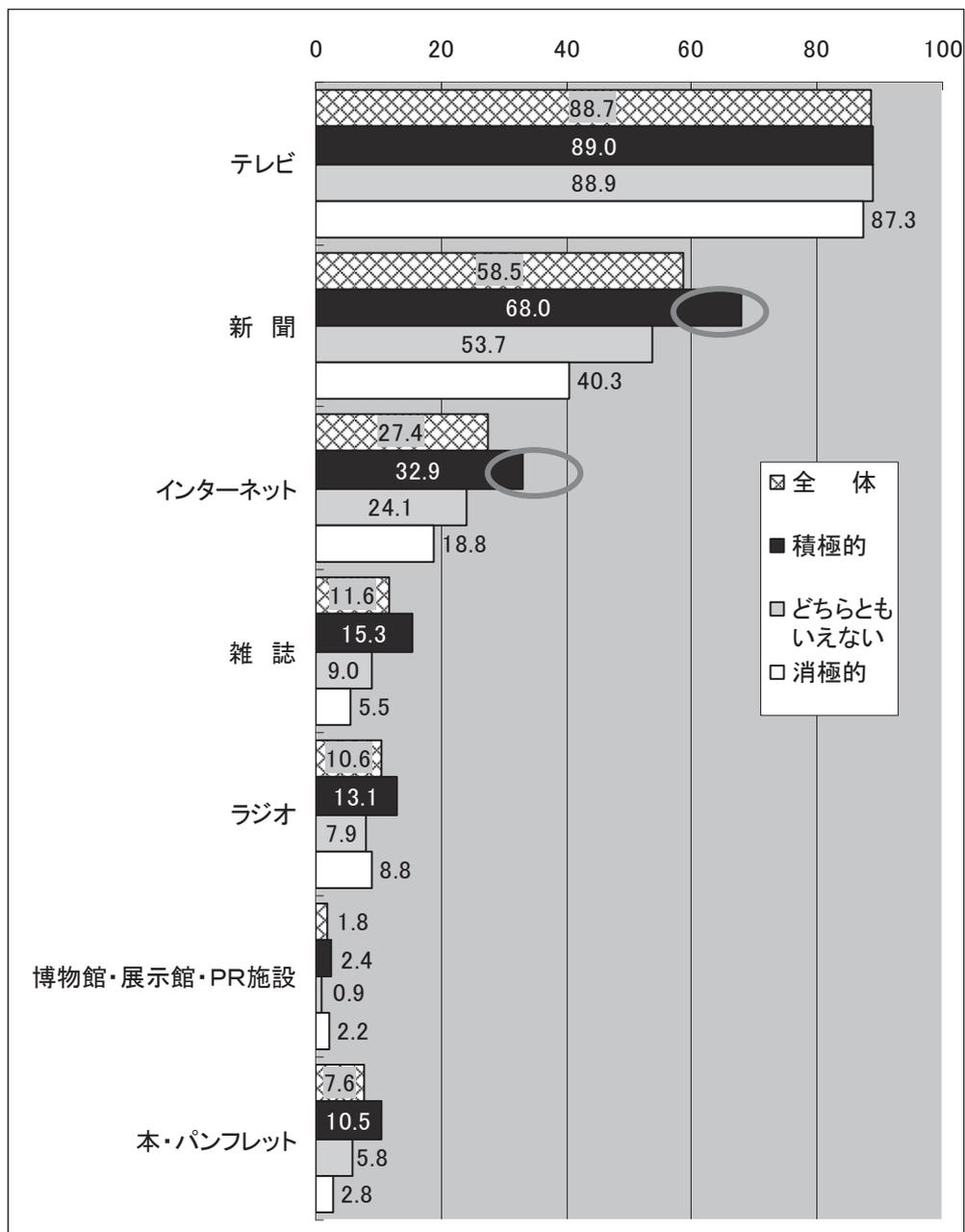
「健康への影響に対する不安が増加した層」は「どれも知らない」人の割合が高い



3. 原子力やエネルギーに関する情報入手経路について

【図表27】情報収集の積極性別 情報入手経路（問22×問8-1）

「情報収集に積極的な層」では、テレビ以外に新聞・インターネットを情報源とする人の割合が高い



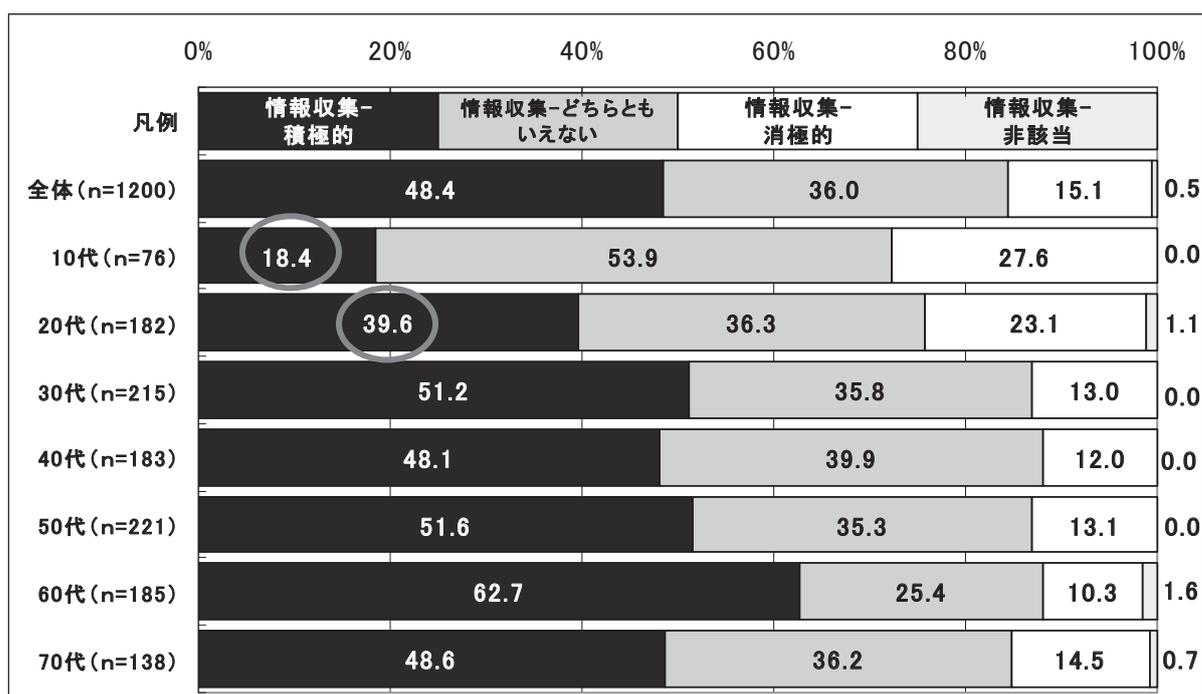
【図表28】年代別 理解に役立つ情報源(問9-1)

理解に役立つ情報源としては、10代はテレビよりもインターネットが高く、20代から40代まではインターネットがテレビと同程度、50代と60代では新聞がテレビと同程度である。

	全体	書籍	パンフレット	ビデオ・DVD	メール配信	インターネット	新聞広告・記事	テレビCM・番組	ラジオCM・番組	学校の授業	その他	あてはまるものはない	無回答
全体	1200 100	328 27.3	161 13.4	193 16.1	30 2.5	388 32.3	424 35.3	534 44.5	85 7.1	116 9.7	8 0.7	179 14.9	0 -
10代	76 100	17 22.4	20 26.3	9 11.8	2 2.6	34 44.7	10 13.2	23 30.3	3 3.9	18 23.7	0 -	11 14.5	0 -
20代	182 100	46 25.3	25 13.7	31 17	9 4.9	90 49.5	44 24.2	87 47.8	7 3.8	29 15.9	0 -	23 12.6	0 -
30代	215 100	65 30.2	26 12.1	26 12.1	5 2.3	92 42.8	65 30.2	93 43.3	14 6.5	23 10.7	0 -	29 13.5	0 -
40代	183 100	56 30.6	23 12.6	40 21.9	6 3.3	74 40.4	72 39.3	77 42.1	12 6.6	16 8.7	0 -	24 13.1	0 -
50代	221 100	63 28.5	33 14.9	46 20.8	4 1.8	67 30.3	98 44.3	107 48.4	20 9	15 6.8	3 1.4	18 8.1	0 -
60代	185 100	44 23.8	21 11.4	26 14.1	3 1.6	24 13	83 44.9	87 47	16 8.6	12 6.5	2 1.1	38 20.5	0 -
70代	138 100	37 26.8	13 9.4	15 10.9	1 0.7	7 5.1	52 37.7	60 43.5	13 9.4	3 2.2	1 0.7	36 26.1	0 -

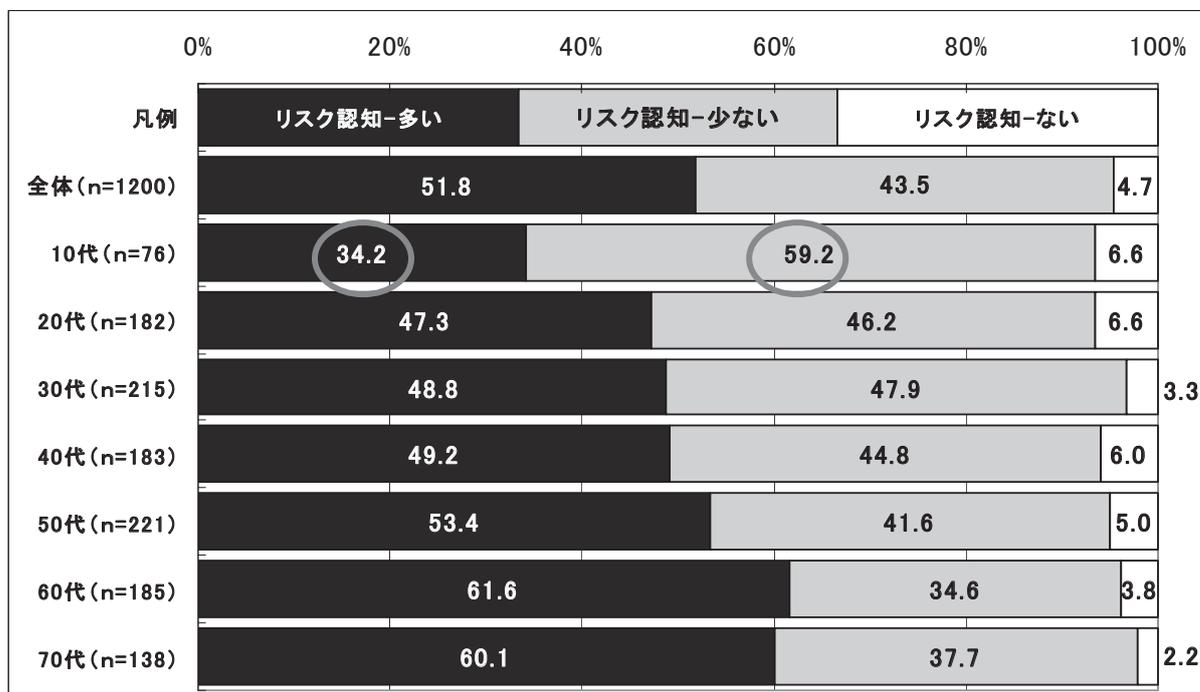
【図表29】年代別 情報収集の積極性(問22)

10代、20代で情報収集に積極的な層が少ない



【図表30】年代別 放射線に対するリスク認知(問16)

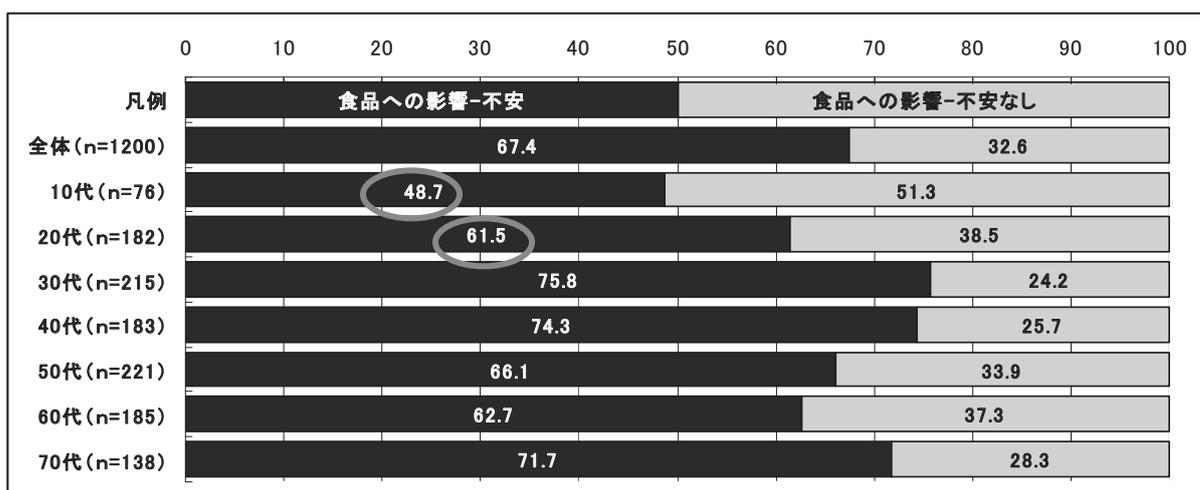
10代は「放射線に対するリスク認知」が多い人の割合が低く、「リスク認知が少ない人」の割合が多い



※ 四捨五入の都合により合計が100%にならない場合がある

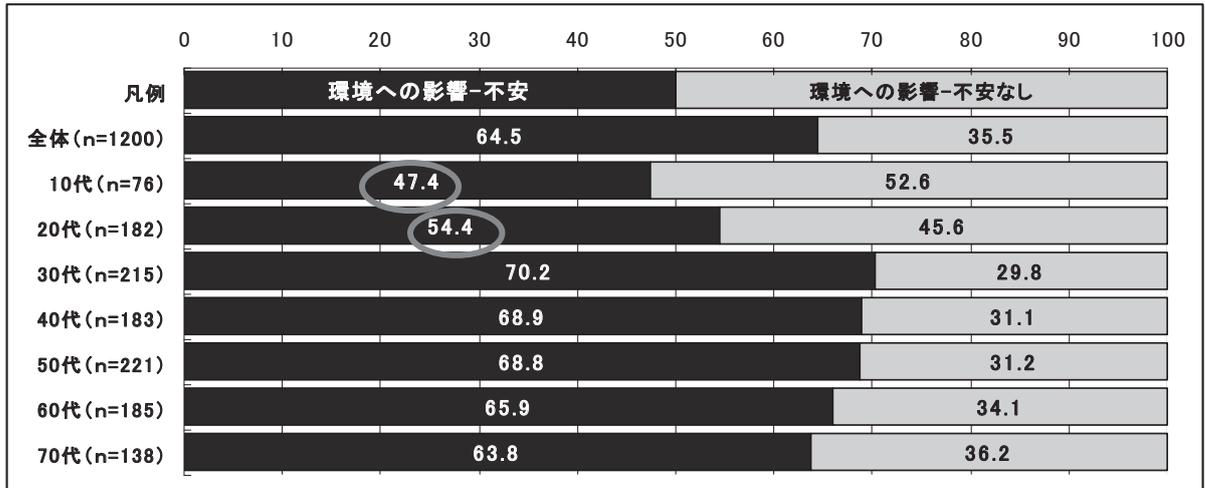
【図表31】年代別 福島第一事故に関する不安(問23・食品)

10代、20代は現在(11月)「食品への影響に対する不安」を感じる人の割合が低い



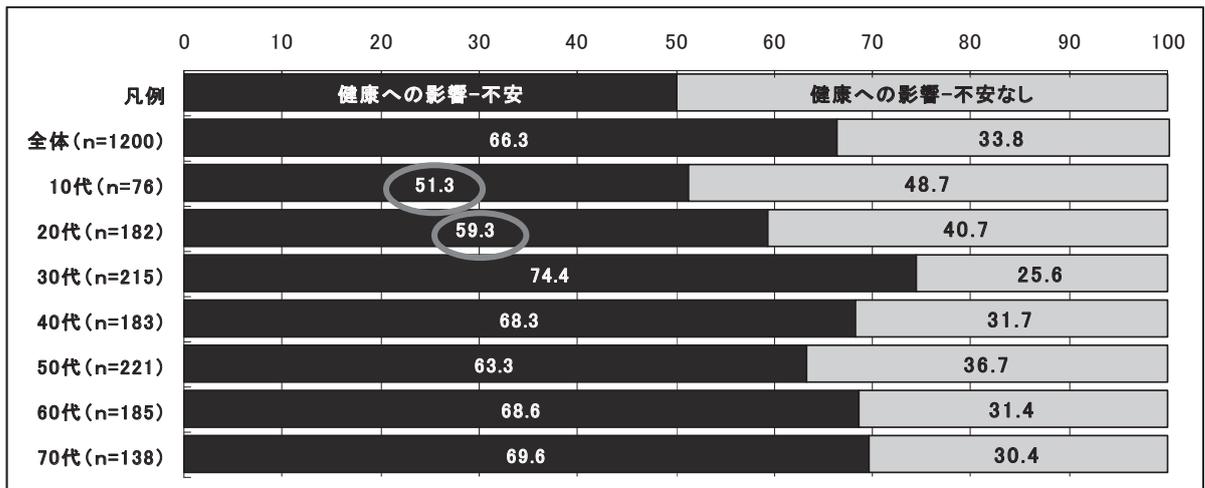
【図表32】年代別 福島第一事故に関する不安(問23・環境)

10代、20代は現在(11月)「環境への影響に対する不安」を感じる人の割合が低い



【図表33】年代別 福島第一事故に関する不安(問23・健康)

10代、20代は現在(11月)「健康への影響に対する不安」を感じる人の割合が低い

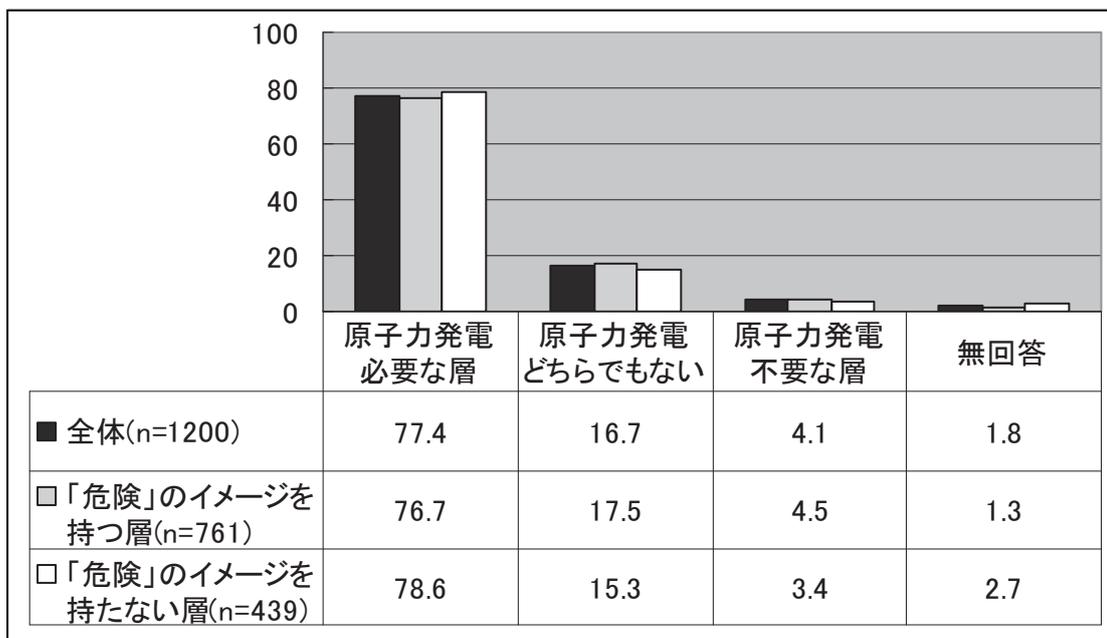


追加クロス集計

①原子力のイメージ(問4)「危険」と回答した層の「原子力発電」に対する態度

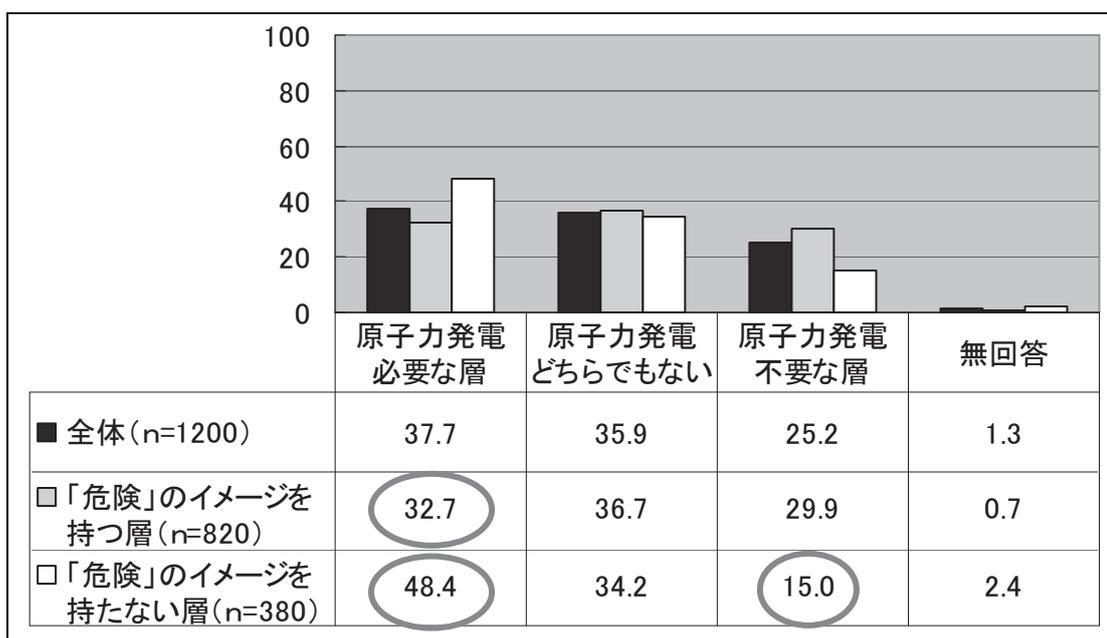
【図表1】2010年9月調査

原子力に対して「危険」のイメージを持つ層と「危険」のイメージを持たない層で、原子力発電を必要と考える層の割合や、どちらともいえないと考える層の割合、原子力発電を必要でないとする層の割合に差がない。



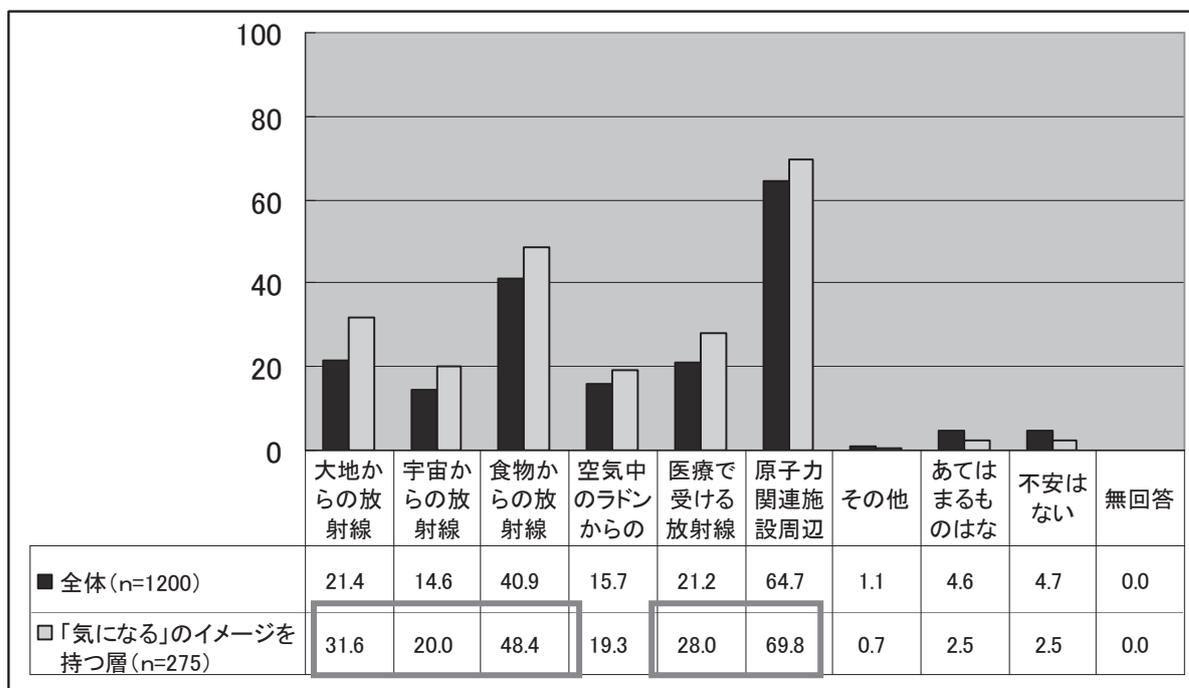
【図表2】2011年11月調査

原子力に対して「危険」のイメージを持つ層では原子力発電を必要と考える層の割合が低く、原子力に対して「危険」のイメージを持たない層では、原子力発電を必要と考える層の割合が高く、原子力発電を必要でないとする層の割合が低い。

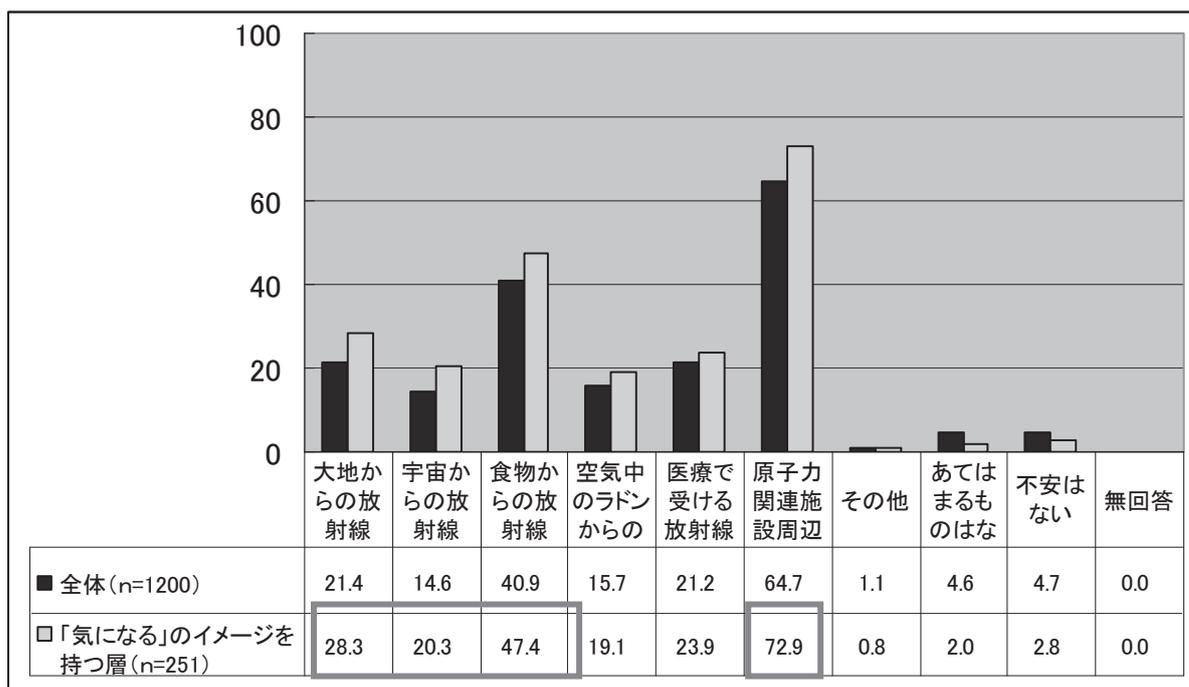


②原子力のイメージ(問4)、放射線のイメージ(問5)で「気になる」を選択した層の分析

【図表3】原子力「気になる」というイメージを持つ層の放射線に対する不安(問4・気になる×問16)
 原子力に対するイメージで「気になる」と回答した層は「大地からの放射線」「宇宙からの放射線」
 「食物からの放射線」「医療で受ける放射線」「原子力関連施設周辺の放射線」に対して「不安」と感
 じる層の割合が高い。



【図表4】放射線「気になる」というイメージを持つ層の放射線に対する不安(問5・気になる×問16)
 放射線に対するイメージで「気になる」と回答した層は「大地からの放射線」「宇宙からの放射線」
 「食物からの放射線」「原子力関連施設周辺の放射線」に対して「不安」と感じる層の割合が高い。

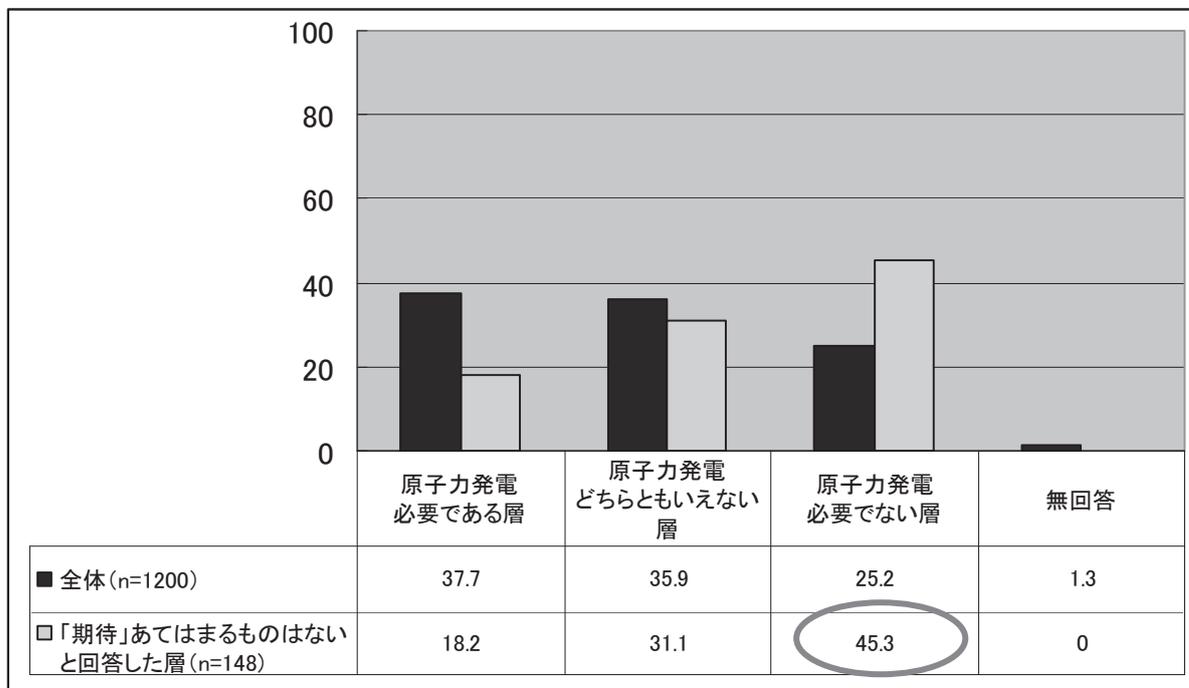


③期待する人に「あてはまるものはない」層の分析

【図表5】期待する人に「あてはまるものはない」層の「原子力発電の必要性」

(問12・あてはまるものはない×問10・原子力発電)

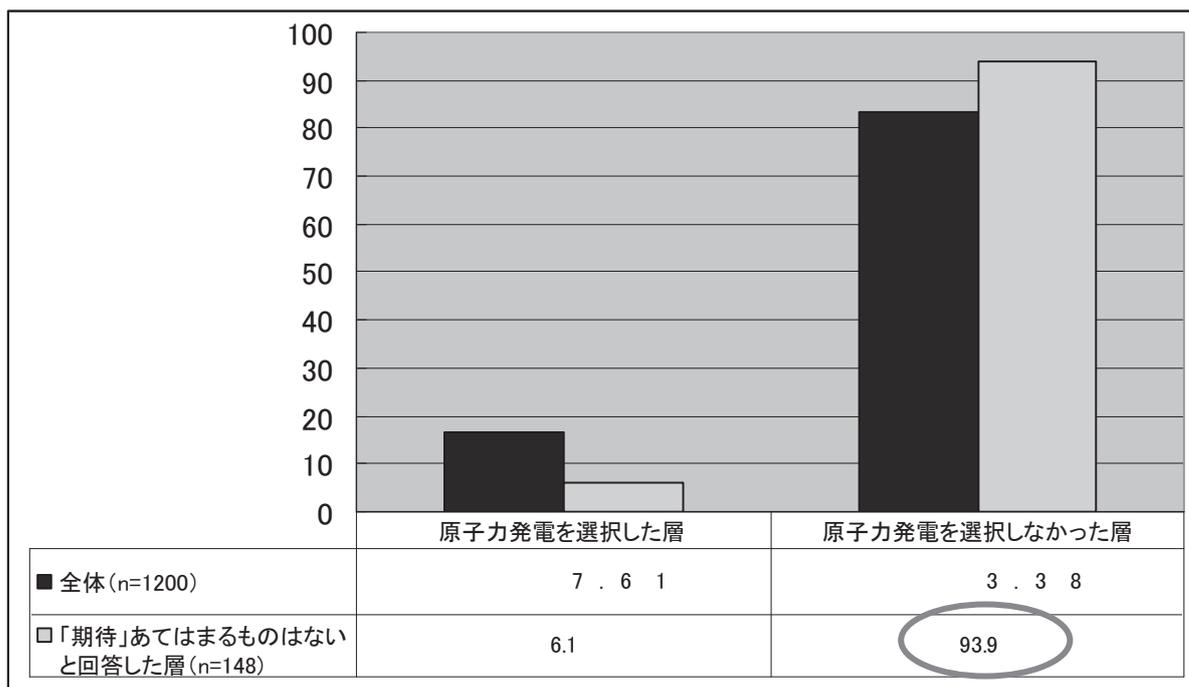
「あてはまるものはない」と回答した層は「原子力発電が必要でない」層の割合が高い



【図表6】期待する人に「あてはまるものはない」層の「今後活用すべきエネルギー源」

(問12・あてはまるものはない×問20-1・原子力発電)

「あてはまるものはない」と回答した層は「今後活用すべきエネルギー源」で「原子力発電」を選択しなかった層の割合が高い

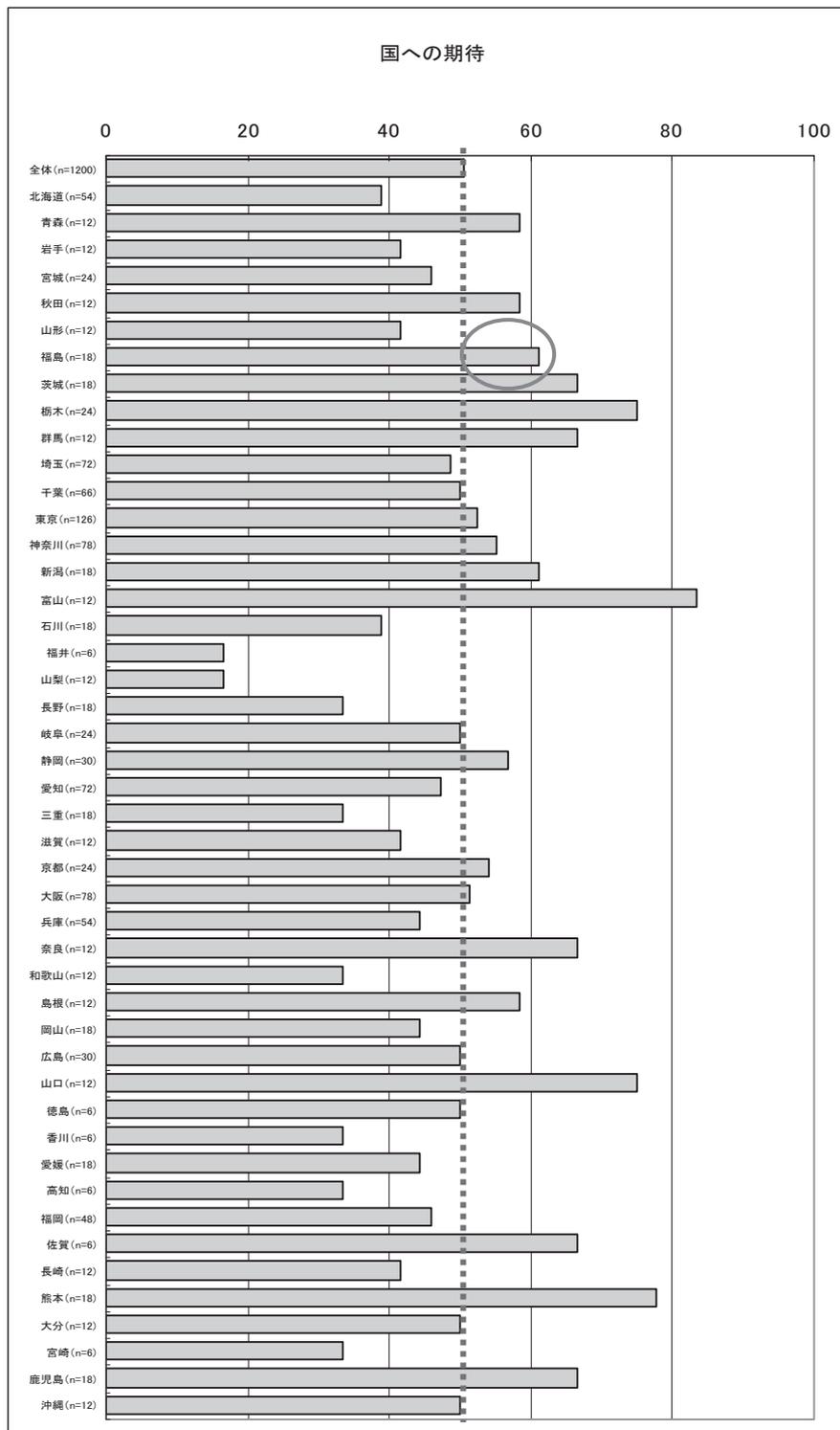


④県別に見た期待する人(「国」「自治体」「事業者」)の分析

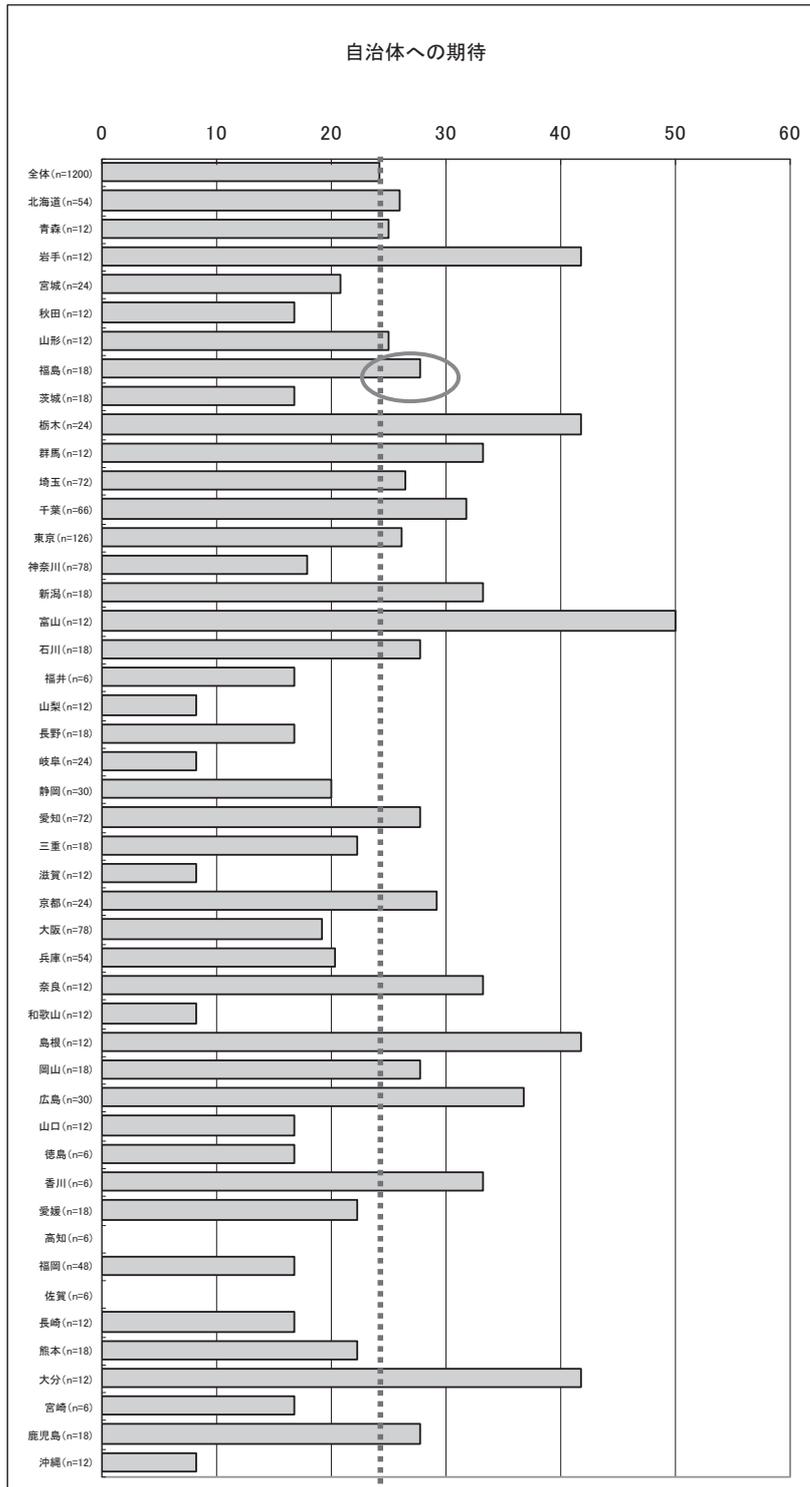
(属性・県×問12「国」「自治体」「事業者」)

福島県は「国」と「自治体」に対する期待が全体より高く、「事業者」に対する期待は全体より低い

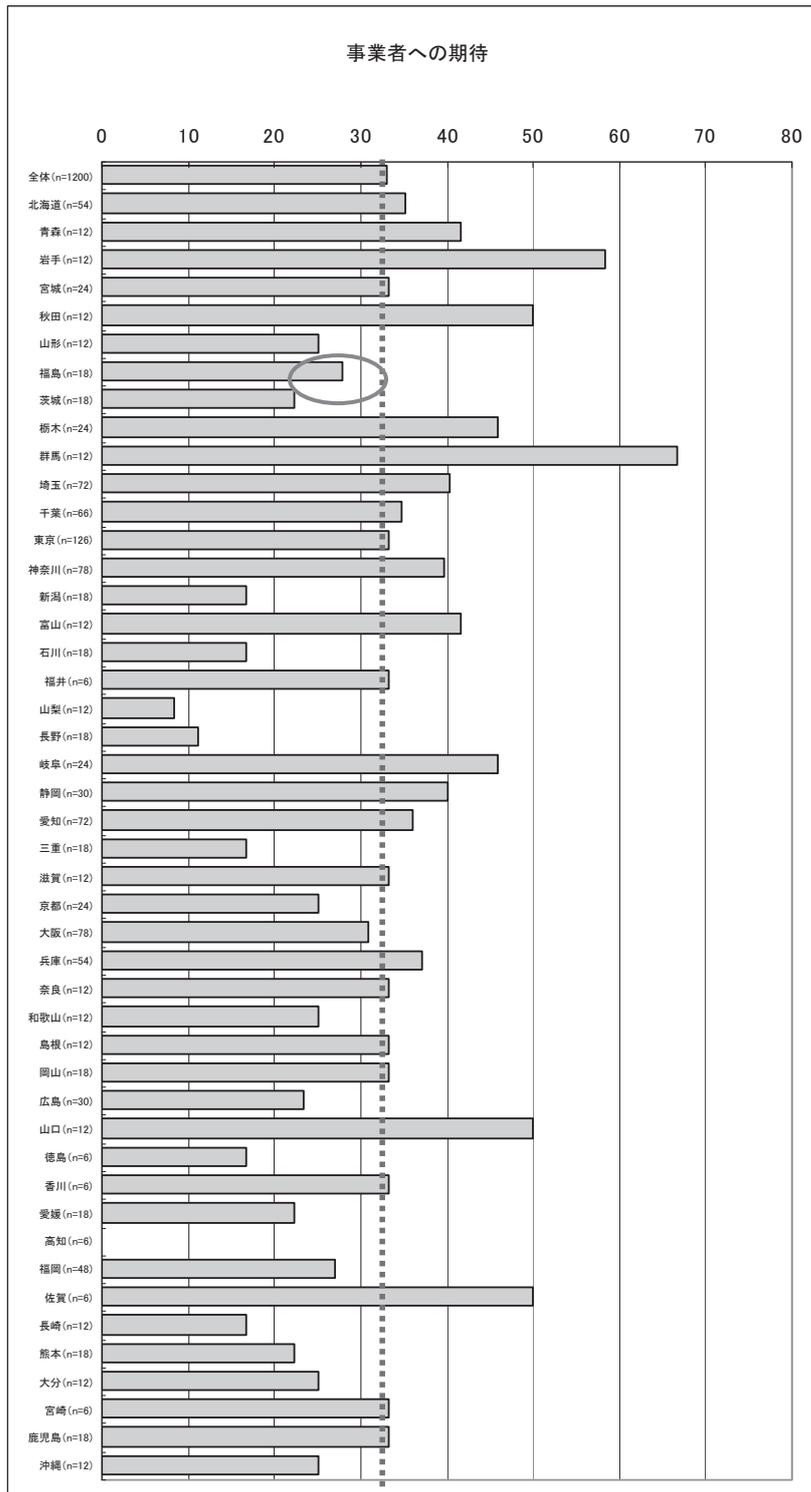
【図表7】県別に見た「国」への期待



【図表8】県別に見た「自治体」への期待



【図表9】県別に見た「事業者」への期待



3. 6 世論調査自由回答

問4 「原子力」のイメージ(その他)

性	年齢	内 容	都道府県
1	22	必要悪	広 島
1	25	天下り	千 葉
1	31	矛盾の象徴。	静 岡
1	33	化学	神奈川
1	35	科学	奈 良
1	35	廃棄物処理はどうなの？	静 岡
1	36	不安定	栃 木
1	38	強い	岐 阜
1	41	防災能力が甘い。	岩 手
1	50	利権	和歌山
1	51	不幸	宮 城
1	51	利権	岩 手
1	51	使用する人間に左右される。	高 知
1	54	制御不能	千 葉
1	54	爆弾	北海道
1	63	安全な利用法を見つけてエネルギー源として使用できるといい。	栃 木
1	76	安全性を十分考え、利用すること。	愛 知
2	23	科学	長 野
2	24	使いようだと思います。	埼 玉
2	28	原爆	徳 島
2	29	システムが昔のままで古い。	北海道
2	30	カッコいい	三 重
2	31	技術	埼 玉
2	36	今までは考えたことがない。	東 京
2	41	ないと困るもの。	神奈川
2	42	金がかかる。	埼 玉
2	44	アトム	埼 玉
2	46	使い方次第。	大 阪
2	63	安全に稼動する必要がある。	群 馬
2	68	広島生れで原爆の印象があまりに強い。	奈 良
2	72	震災があってから思うようになった。	愛 知

問5 「放射線」のイメージ(その他)

性	年齢	内 容	都道府県
1	16	がん	福 岡
1	23	危険だが対処はできる。あまり神経質になりすぎない。	山 口
1	25	政治家のごうまん	千 葉
1	31	死に至る不治の病。	静 岡
1	32	気にしても意味ない。	神奈川
1	34	目で見えない。	東 京
1	35	汚染物を結局どうするの？	静 岡
1	36	使い方次第。	栃 木
1	38	怖い	岐 阜
1	41	使用法による。	岩 手
1	51	認識すること。	宮 城
1	51	どこにでも日常的にある。	高 知
1	53	ガン治療	長 野
1	54	レントゲン	北海道
1	59	病院	福 島
1	66	開示不足	埼 玉
1	70	正しく付き合えば問題ない。	神奈川
1	74	なるようにしかならない。	埼 玉
1	76	安全性の確認をして、利用する。	愛 知
2	15	レントゲン	京 都
2	23	レントゲン	大 阪
2	23	レントゲン	長 野
2	32	レントゲン MRI	東 京
2	37	ガンの治療。	福 井
2	39	博士 (おじが)	山 形
2	39	レントゲン	岩 手
2	40	破壊	大 阪
2	41	取扱いによっては、役にも立ち、凶器にもなる。	神奈川
2	41	使用する量によって見方がかわる。	奈 良
2	41	こわい	愛 知
2	41	ガンになる。	兵 庫
2	42	恐ろしい。	埼 玉
2	45	怖い	福 岡
2	46	使い方次第。	大 阪
2	46	レントゲン	島 根
2	53	キュリー婦人	東 京
2	59	広島の前爆。	石 川
2	62	レントゲン	北海道
2	67	レントゲン	兵 庫
2	68	レントゲン、病の折必要。	東 京
2	71	レントゲン	北海道
2	72	治療	宮 城

問7-1 原子力やエネルギーの分野で関心のあること(その他)

性	年齢	内 容	都道府県
1	35	原子力発電所停止に伴う電力不足。	静 岡
1	36	自然エネルギーの活用。	栃 木
1	37	オーランチオキトリウム	大 阪
1	54	自家発電	千 葉
1	70	海底にメタンガス。	神奈川
2	20	波力発電	大 阪
2	40	高火力発電	北海道
2	44	地熱発電	埼 玉
2	50	新しいエネルギー、自然エネルギーの開発状況	新 潟

問7-2 放射線利用の分野で関心のあること(その他)

性	年齢	内 容	都道府県
1	23	食事療法	山 口
1	41	すべて放射能利用か？	岩 手
1	53	還元物質の照射。	愛 知
1	61	宇宙開発	福 井
2	53	デメリット	東 京

問8-1 原子力やエネルギーに関する情報入手経路(その他)

性	年齢	内 容	都道府県
1	17	学校	北海道
1	18	学校	京 都
1	20	大学での授業	大 阪
1	22	友人	大 阪
1	43	人から聞く。	埼 玉
2	16	父	福 岡
2	17	学校の授業。	東 京
2	24	会社の人、友人	北海道
2	28	人から	千 葉
2	34	フリーペーパー	長 崎
2	35	講演会	神奈川
2	39	おじから聞きます。	山 形
2	50	研究開発している方の講演会、セミナー	新 潟
2	55	家族	神奈川
2	59	共産党の勉強会。	石 川
2	59	友人	埼 玉
2	62	あらゆる情報から得られます。	北海道
2	70	友人から届く特集記事。	広 島

問8-2 この1年間に原子力に関する有益な情報を得た人(その他)

性	年齢	内 容	都道府県
1	31	インターネットのブログ。	静 岡
1	36	原子力に対して平等性のある立場の人。	栃 木
1	41	wikipedia書き込み者。	岩 手
2	20	インターネット	埼 玉
2	36	インターネットのQ&Aに答える人。	兵 庫

問8-3 この1年間に原子力に関する事故等の情報を得た人(その他)

性	年齢	内 容	都道府県
1	31	インターネット上のニュース。	静 岡
1	36	原子力に対して平等性のある立場の人。	栃 木
1	51	インターネット	岩 手
1	53	ニュース (普通は)	愛 知
1	66	テレビ各局の関連番組及びインターネット。	埼 玉
2	36	インターネット	京 都
2	36	インターネットで当事者の話。	兵 庫

問9-1 参加してみたい「原子力等に関するイベント」(その他)

性	年齢	内 容	都道府県
1	36	反対、賛成両方の立場の人がキチンと話合うことのできる場所での 討論会。	栃 木
2	50	友人からの情報	新 潟
2	68	詳しい知識を持った人との直接対話。	神奈川

問9-2 原子力やエネルギーに関する理解に役立つサイト(その他)

性	年齢	Q9-1	内 容	都道府県
1	29	09, 13, 14, 15	解説サイト等、研究者、専門家の個人サイト。	神奈川
1	41	02, 04, 06, 13	wikipedia	岩 手
2	36	02, 04, 09, 10, 13, 15, 17	無料小説の体験談。	兵 庫
2	44	02, 07, 09, 10, 11, 13, 14, 15	海外の政府系サイト。	福 島

問11-2 原子力に携わる専門家、関係者の信頼度理由(その他)

性	年齢	Q11-1	内 容	都道府県
1	36	1	想定を大幅に超えていたのは、仕方ない。	大 阪
1	38	1	プロのコメントを否定する理由を持ってはいない。	東 京
1	47	2	信頼せざるをえない。	新 潟
1	22	3	なんとなく。	宮 城
1	31	3	中立な立場で意見をいえないから、100%信用できない。	静 岡
1	32	3	何をもって信頼？	神奈川
1	32	3	興味がない。	茨 城
1	35	3	無駄にマスコミが少しのことで騒ぎたて不安を増長している。そのため無難なコメントが多い気がするし、話半分にしか信じない。	静 岡
1	37	3	安全性が確保されていないのに推進している人がいるから	千 葉
1	40	3	こちら側に知識が少ないため	東 京
1	44	3	人によって違うから。	佐 賀
1	45	3	その人の思想にもよるので。	新 潟
1	51	3	本音を話してもらいたい。	宮 城
1	66	3	事故対策、処理方法が不充分。	茨 城
2	22	3	色々な意見が飛び交うから。	静 岡
2	23	3	興味がないから。	長 野
2	26	3	専門家といえど、個人的な観点からの発言があるだろうから。	岐 阜
2	29	3	専門家によって、見解が異なるから。	千 葉
2	37	3	よくわかりません。	千 葉
2	39	3	本当かどうか言っていることが信じられない。	岩 手
2	39	3	テレビなどで話せる範囲が制限されていそうでよくわからない。	岩 手
2	44	3	信頼できる人と、できない人がいる。	福 島
2	46	3	専門家は正しいとしても、それが正しく使用（報告）されているとは限らないから。	大 阪
2	71	3	考えたことがなかった。	北海道
2	72	3	人によって言うことが違う時があるから。	茨 城
1	36	4	安全なら家の下に原子炉を作りなさい。	栃 木
1	37	4	その時によって言い方が変わるから。	大 阪
1	46	4	専門家を称しながら原発事故終息に失敗し続けているから。	神奈川
1	57	4	その人の人間性を知らないから。	岡 山
1	70	4	お金をエサに原子力推進賛成派の専門家や関係者で固め、危険性等都合の悪いことは隠し続けた組織・団体であるから。	東 京
2	21	4	ウソの情報が多過ぎた。	兵 庫
2	48	4	専門家でもコントロールできないことがある、特に原子力の威力に対して。	愛 知
2	55	4	原子力ムラの人が多い。	東 京
2	67	4	都合の悪いことは隠す。	兵 庫
2	79	4	どこかで事実が歪められ悪用される恐れがある。	岩 手
1	30	5	ウソついたから。	愛 媛
1	30	5	政府と何らかの絡みがあるから。	北海道
1	37	5	都合の悪い事は隠すから。	北海道
1	41	5	本当にわかっている人がいるのか？	奈 良
1	41	5	不備な法律で充足させるためである。	岩 手
1	44	5	利権が絡んでいるように感じる。	広 島
1	47	5	利益が絡んでいるから。	愛 知
1	57	5	利益優先の判断となっていると思われるから。	東 京
1	72	5	保身の為に、本当のことを隠している。	兵 庫
1	77	5	嘘をついているから。	岩 手
2	28	5	安全基準が明確でない。	徳 島
2	34	5	原子力の利用者自体に反対の為。	長 崎
2	44	5	研究者のスポンサーが電力会社だから。	埼 玉
2	50	5	自分たちの利権のために原子力を進めてきているから。	新 潟
2	75	5	それぞれの立場の人が、言いたいことを言っていると思う。	福 岡

問12 原子力の安全利用を続けるために活躍を期待する人(その他)

性	年齢	内 容	都道府県
1	31	経済界	静 岡
1	32	どのレベルの人が公平に判断できるかが不明→公平であれば良いという訳でもない。	神奈川
1	35	第三者による電力会社の安全及び経営チェック。	静 岡
1	36	頭が良く、周りが見れる人。	大 阪
1	36	次のエネルギーを開発する人。	栃 木
1	37	やや原発反対派の人。	北海道
1	40	国民全体	東 京
1	41	メーカー	岩 手
1	47	民間企業	愛 知
1	53	国内外の有識者、専門家。	愛 知
1	66	天下り、利権を得ない立場の専門家・研究所。	埼 玉
1	66	実施工に関わった人たちに聴く。	茨 城
2	26	国民一人一人	岐 阜
2	44	医療関係の方。	福 島
2	44	原子力以外のエネルギーの科学者。	埼 玉
2	50	民間で活動している方たちNGO	新 潟
2	68	もしもの場合を常に想定出来る人。	神奈川

問13-2 原子力安全管理における国や自治体の信頼度理由(その他)

性	年齢	Q13-1	内 容	都道府県
1	31	2	安全管理を怠れば、国、自治体も不利益を被るから。	静 岡
1	38	2	それを仕事としている以上、否定する理由を持たない。	東 京
1	47	2	信頼せざるをえない。	新 潟
2	21	2	他の国より日本は安全だと思い込んでいるから。	東 京
1	22	3	なんとなく。	宮 城
1	32	3	何をもって信頼？	神奈川
1	32	3	情報化社会では、情報は都合の良い側によって簡単に操作される事を知っているから。	茨 城
1	37	3	責任の所在を明確にしない。	千 葉
1	45	3	政党の思想によっても左右されるから。	新 潟
1	66	3	信頼をできる人に参加させていない。	茨 城
1	77	3	津波に対し昔の災害を無視している。	岐 阜
2	18	3	よくわからないから。	京 都
2	29	3	情報が遅く、後手後手に処理される事が多いから。	北海道
2	61	3	何かがあった時でも、責任感が感じられない。	大 阪
2	67	3	情報を正確に伝えないことがあるから。	千 葉
1	36	4	次のエネルギーへのつなぎのはずが、すっかり定着しているのが怖い。	栃 木
1	39	4	自然災害は、人間の力では防げない。原子力は、全てをコントロールできない。	愛 知
1	55	4	専門的な能力少ない、他人事である。	広 島
1	57	4	担当者が保身に走ることが多い。	岡 山
1	66	4	票や利権優先に発言する政治家が多すぎる。	埼 玉
2	38	4	原子力を十分に理解し管理徹底を行うというよりは、個人的な利益の道具にしているようにしか感じないから。	石 川
1	39	5	いらぬ。	北海道
1	41	5	すべて手順書によるもので自分の判断による行動ができないこと。	岩 手
1	51	5	みんなグル。	岩 手
2	24	5	国は嘘をついているように見えるから。	岩 手
2	44	5	選挙で有利な方に動く。	埼 玉
2	63	5	自然界のものではないから。	長 崎
2	67	5	会社の都合の悪いこと、自分達の管理の不十分なことは報道しない体質がある。	兵 庫

問14 原子力安全管理を国に任せるために配慮されるべき点(その他)

性	年齢	内 容	都道府県
1	31	責任者の処罰。	静 岡
1	35	第三者によるチェック。	静 岡
1	36	次のエネルギー開発。	栃 木
1	39	原子力の廃止。	愛 知
1	39	できればいらない。	北海道
1	45	原子力に対する立場を明確にする。	新 潟
1	46	罰則の設定。	神奈川
1	47	電力会社の民営化。	愛 知
1	49	最新情報の収集と分析。	愛 媛
1	51	交付金の廃止。	岩 手
1	53	既に無理だから、代替エネルギーに移行しつつ縮小。	愛 知
1	57	第3者の監査。	東 京
1	59	不必要だから。	福 岡
1	59	原子力を国でもっと勉強研究せよ。	沖 縄
1	64	原子力に反対なので、必要ない。	埼 玉
1	66	今回の事故は人災要素が大。	埼 玉
1	66	想定範囲を拡大。	茨 城
1	69	「安心して任せる」が問題なのだ。	福 岡
1	72	科学技術の進歩。	兵 庫
2	21	事前の説明。	東 京
2	26	もう完全に安心することはできないと思う。	岐 阜
2	36	事故後の対応。汚染された物の処理。危険性の開示。	兵 庫
2	39	国際機関に入ってもらおう。	山 形
2	42	廃止	埼 玉
2	44	いい加減他のエネルギーに移行すべき。	埼 玉
2	50	外部に第三者機関の設置。	新 潟
2	51	監査体制	愛 知
2	62	この設問は、“発電における原子力”が、対象になっているのでは？ であるなら、原発の安全管理があり得るのかどうかをまず、問うべき。	兵 庫

問15 信頼している日本の原子力技術(その他)

性	年齢	内 容	都道府県
1	49	化学分析	愛 媛

問16 放射線に対し不安を感じるもの(その他)

性	年齢	内 容	都道府県
1	36	日常生活にあるもの。	大 阪
1	36	野放しな管理。	栃 木
2	26	魚類	愛 知
2	29	住んでいる地域の放射線量。	千 葉
2	42	原子力事故による放射線。	埼 玉
2	44	原発事故による放射線。	福 島
2	50	事故後影響があると思われるものからの放射線。	新 潟

問18 科学技術、環境に対する考え(その他)

性	年齢	内 容	都道府県
1	36	足らずを知れ。	栃 木
2	36	発展より大切なものはある。	兵 庫
2	50	便利さの追求のため科学技術で作ることに重点を置いてきたが、廃棄物の処分も考えたエネルギーの循環を考えた。	新 潟
2	55	人類が生きていくためには自然をそのままにしておくことは難しい。	神奈川

問20-1 今後、利用・活用すべきエネルギー(その他)

性	年齢	内 容	都道府県
1	31	海洋エネルギー	静 岡
1	31	離島等では波力発電。	静 岡
1	32	技術革新による。	神奈川
1	35	メタンハイドレートや波。	静 岡
1	40	メタンハイドレートによる発電。	大 阪
1	43	圧電	滋 賀
1	47	ミドリムシ	東 京
1	53	振動発電など他の発電方法をもっと研究するべき。	長 野
1	66	海水利用研究が望まれる。	埼 玉
1	66	潮力、波力等、自然界のものを利用。	茨 城
1	70	波力発電	東 京
1	70	海洋発電	兵 庫
2	18	害のないものなら、なんでもいいと思う。	京 都
2	20	波力発電	大 阪
2	29	海洋発電	岡 山
2	34	潮の満ち引きによるああ発電？（現在開発中？）。藻からの発電。水や酸素と言った、自然物からの発電。	長 崎
2	42	原子力発電以外。	埼 玉
2	44	波の発電。	神奈川
2	52	原子力皆無となれば必然的に他のエネルギー確保の方法を考えざるをえなくなる。	京 都

問20-2 今後、利用・活用すべきエネルギー選択理由(その他)

性	年齢	Q20-1	内 容	都道府県
2	44	01, 02, 03, 05, 06, 07, 08, 09, 10	原発以外で、安全なものを利用すべきだから。	福 島
1	36	01, 03, 05, 06, 07, 08, 09, 10, 11	多種多様だと一つがダメでも他で備えるから。	栃 木
2	28	02, 03, 04, 05, 08, 09, 10	今の電力使用料を加味すると、利用せざるを得ないから。	徳 島
2	34	03, 05, 06, 07, 08, 10, 11	人や動物の命や、生活を奪うものであってはいけないから。	長 崎
1	35	03, 08, 11	自国のみで確保して欲しい。	静 岡
1	44	05, 06, 07, 08	人間も自然と共に生きるべき。	愛 知
2	50	05, 06, 07, 08, 10, 11	未来に廃棄物処方をまかせないから。	新 潟
1	46	06, 08, 10, 11	少なくとも、原子力のようにコントロール不可能にはならないから。	神奈川
2	37	08, 09, 10	原子力よりはいい。	愛 知

問23 福島第一原発事故に関して事故の直後(3月下旬頃)に心配したこと(その他)

性	年齢	内 容	都道府県
1	44	地球の温暖化	神奈川
2	22	ペット等の動物達。	宮 崎
2	34	事故被害者の精神的苦痛。	長 崎
2	55	原子炉内部の様子。	神奈川
2	58	原子力で働いている人たちのこと (東電の人) 。	福 岡
2	75	仮設住宅の方の暮らし。	福 岡

問23 福島第一原発事故に関して現在心配していること(その他)

性	年齢	内 容	都道府県
1	36	政府の政策の遅れ。	栃 木
1	41	政治家判断によることが危険。	岩 手
1	44	地球の温暖化。	神奈川
1	53	海外からの観光客の減少など地域経済への影響。	長 野
1	66	いまだに子供、孫等が心配です。	茨 城
1	72	日本の原子力神話の崩壊。	石 川
2	22	ペット等の動物達。	宮 崎
2	68	発表されていることが真実かどうか。	神奈川